

令和4年度（2022年度）

シ ラ バ ス

－入学生用－



学校法人昭徳学園 九州動物学院

シラバスについて

シラバスは各学科で行なわれる授業科目の内容を科目担当講師の先生が、授業概要、成績評価の方法、教材、さらに授業内容の進め方についてまとめられたものを集大成したものです。順序とか内容について説明の不足する部分については担当教科の授業中に講師の先生方から補足されます。シラバスは全ての科目について準備されなければなりませんが、特別講義では講師の都合により昨年度の内容実績、また海外研修では近年のコロナ禍もあり、研修方法の策定から再構築している最中でシラバスが立案できていません。

さて、このシラバスを理解し利用することは、学生諸君にとって

- (1) 各教科で、どんなことを、何時頃学ぶのか
- (2) そのためにどんな準備をして講義、実習に望むべきか
- (3) 学習に対し、予習して、準備することが可能である
- (4) 学習の前後の関係が判り、復習が容易となる
- (5) 参考書も検討できる

などの利点があります。また講師の先生方にも授業をしっかりと計画していただくための基本ともなります。

シラバスは科目ごとに授業の内容が重複しないように配慮していますが、重要な科目や要点などは意識的に重複しているところがあります。また、必ずしも十分に重複に配慮できていないところもあると思いますが、そのような点についてはいずれ修正していくつもりでおります。

学生諸君には、自分達の学ぶ科目とその内容についてあらかじめ理解し、より深く、より充実した学習を受けられるよう期待しています。

理事長 徳田 竜之介

カリキュラム

1 動物看護学科

分野	履修科目	合計		1年次		2年次		3年次	
		履修時間	単位	授業時間	単位	授業時間	単位	授業時間	単位
基礎動物学	生命倫理・動物福祉	30	1	30	1				
	動物形態機能学	120	4	60	2	60	2		
	動物繁殖学	30	1					30	1
	動物行動学	30	1	30	1				
	動物栄養学	60	2	30	1	30	1		
	比較動物学	60	2			30	1	30	1
	動物看護関連法規	30	1			30	1		
	動物愛護・適正飼養関連法規	30	1			30	1		
基礎動物看護学	動物看護学概論	30	1	30	1				
	動物病理学	30	1					30	1
	動物薬理学	60	2			30	1	30	1
	動物感染症学	90	3	30	1	60	2		
	公衆衛生学	60	2			30	1	30	1
臨床動物看護学	動物内科看護学	90	3	30	1	60	2		
	動物外科看護学	60	2	60	2				
	動物臨床看護学総論	30	1	30	1				
	動物臨床看護学各論	150	5	30	1	30	1	90	3
	動物臨床検査学	30	1	30	1				
	動物医療コミュニケーション	30	1			30	1		
愛護適正飼養学	愛玩動物学	60	2	30	1	30	1		
	人と動物の関係学	30	1			30	1		
	適正飼養指導論	60	2			60	2		
	動物生活環境学	30	1	30	1				
	ペット産業概論	30	1	30	1				
実習	動物形態機能学実習	30	1	30	1				
	動物内科看護学実習	120	4	120	4				
	動物臨床検査学実習	60	2			60	2		
	動物外科看護学実習	240	8	60	2	60	2	120	4
	動物臨床看護学実習	60	2			60	2		
	動物愛護・適正飼養実習	60	2					60	2
	動物看護総合実習	180	6			60	2	120	4
その他	グリーフケア概論	30	1					30	1
	動物介在活動	30	1					30	1
	訓練学	120	4	30	1	30	1	60	2
	動物理学療法学	60	2			30	1	30	1
	動物理学療法学実習	60	2					60	2
	動物の疼痛と福祉	30	1					30	1
	幼齢動物看護学	30	1					30	1
	高齢動物看護学	30	1					30	1
	動物皮膚病学	30	1	30	1				
	動物歯科学	30	1	30	1				
	愛玩動物飼養管理学/海外研修	15	1	15	1				
	ペットアロママッサージ	60	2	30	1	30	1		
	分子遺伝学入門	30		30	1				
	掃除学	15	1	15	1				
	特別講義	30	1			30	1		
	飼育実習	150	5	150	5				
	牧場実習	120	4					120	4
	英会話	15	1	15	1				
	パソコン	15	1	15	1				
	プレゼンテーションスキル	30	1					30	1
	コミュニケーショントレーニング	30	1					30	1
	ビジネスマナー	75	3	15	1	30	1	30	1
	ライセンス対策	75	3	15	1	30	1	30	1
	トリミング	480	16	120	4	240	8	120	4
(a)	授業時間および単位数 小計	3600	122	1200	43	1200	40	1200	40
演習	海外研修	64	2	64	2				
	プレインターンシップ	32	1	32	1				
	インターンシップ	200	5						
	校外学習	32	1						
	社会活動		1						
(b)	演習時間および単位数 小計	328	10	96	3				
卒業に必要な時間数および単位数 合計 (a+b)		3928	132	1296	46	1200	40	1200	40

2 動物管理学科管理コース

分野	履修科目	合計		1年次		2年次	
		履修時間	単位	授業時間	単位	授業時間	単位
基礎動物学	生命倫理・動物福祉	30	1	30	1		
	動物形態機能学	120	4	60	2	60	2
	動物行動学	30	1	30	1		
	動物栄養学	60	2	30	1	30	1
	比較動物学	30	1			30	1
基礎動物看護学	動物看護学概論	30	1	30	1		
	動物感染症学	90	3	30	1	60	2
	公衆衛生学	30	1			30	1
臨床動物看護学	動物内科看護学	90	3	30	1	60	2
	動物外科看護学	60	2	60	2		
	動物臨床看護学総論	30	1	30	1		
	動物臨床看護学各論	60	2	30	1	30	1
	動物臨床検査学	30	1	30	1		
愛護適正飼養学	愛玩動物学	60	2	30	1	30	1
	人と動物の関係学	30	1			30	1
	動物生活環境学	30	1	30	1		
	ペット産業概論	30	1	30	1		
実習	動物形態機能学実習	30	1	30	1		
	動物内科看護学実習	120	4	120	4		
	動物外科看護学実習	60	2	60	2		
その他	訓練学	210	7	30	1	180	6
	動物理学療法学	30	1			30	1
	販売学	30	1			30	1
	動物皮膚病学	30	1	30	1		
	動物歯科学	30	1	30	1		
	愛玩動物飼養管理学/海外研修	15	1	15	1		
	ペットアロママッサージ	60	2	30	1	30	1
	分子遺伝学入門	30	1	30	1		
	掃除学	15	1	15	1		
	特別講義	30	1			30	1
	飼育実習	150	5	150	5		
	英会話	15	1	15	1		
	パソコン	15	1	15	1		
	ビジネスマナー	15	1	15	1	30	1
	ライセンス対策	15	1	15	1		
	就職支援	30	1			30	1
	トリミング	480	16	120	4	360	12
	動物園等実習	120	4			120	4
(a) 授業時間および単位数 小計		2400	83	1200	43	1200	40
演習	海外研修	64	2	64	2		
	プレインターンシップ	32	1	32	1		
	インターンシップ	200	5				
	校外学習	32	1				
	社会活動		1				
(b) 演習時間および単位数 小計		328	10	96	3		
卒業に必要な時間数および単位数 合計 (a+b)		2728	93	1296	46	1200	40

3 動物管理学科トリマーコース

分野	履修科目	合計		1年次		2年次	
		履修時間	単位	授業時間	単位	授業時間	単位
基礎動物学	生命倫理・動物福祉	30	1	30	1		
	動物形態機能学	120	4	60	2	60	2
	動物行動学	30	1	30	1		
	動物栄養学	60	2	30	1	30	1
	比較動物学	30	1			30	1
基礎動物看護学	動物看護学概論	30	1	30	1		
	動物感染症学	60	2	30	1	30	1
臨床動物看護学	動物内科看護学	90	3	30	1	60	2
	動物外科看護学	60	2	60	2		
	動物臨床看護学総論	30	1	30	1		
	動物臨床看護学各論	60	2	30	1	30	1
	動物臨床検査学	30	1	30	1		
愛護適正飼養学	愛玩動物学	60	2	30	1	30	1
	人と動物の関係学	30	1			30	1
	動物生活環境学	30	1	30	1		
	ペット産業概論	30	1	30	1		
実習	動物形態機能学実習	30	1	30	1		
	動物内科看護学実習	120	4	120	4		
	動物外科看護学実習	60	2	60	2		
その他	訓練学	90	3	30	1	60	2
	動物理学療法学	30	1			30	1
	販売学	30	1			30	1
	動物皮膚病学	30	1	30	1		
	動物歯科学	30	1	30	1		
	愛玩動物飼養管理学/海外研修	15	1	15	1		
	ペットアロママッサージ	30	1	30	1		
	分子遺伝学入門	30	1	30	1		
	掃除学	15	1	15	1		
	特別講義	30	1			30	1
	飼育実習	150	5	150	5		
	英会話	15	1	15	1		
	パソコン	15	1	15	1		
	ビジネスマナー	15	1	15	1		
	ライセンス対策	15	1	15	1		
	就職支援	30	1			30	1
	トリミング	840	28	120	4	720	24
(a)	授業時間および単位数 小計	2400	83	1200	43	1200	40
演習	海外研修	64	2	64	2		
	プレインターンシップ	32	1	32	1		
	インターンシップ	200	5				
	校外学習	32	1				
	社会活動		1				
(b)	演習時間および単位数 小計	328	10	96	3		
卒業に必要な時間数および単位数 合計 (a+b)		2728	93	1296	46	1200	40

目次

シラバスについて.....	1	動物愛護・適正飼養関連法規.....	50
カリキュラム.....	1	動物薬理学Ⅰ.....	51
一年次科目.....	6	動物感染症学Ⅱ.....	52
ー全学科共通ー.....	6	動物感染症学Ⅲ.....	53
生命倫理・動物福祉.....	7	公衆衛生学Ⅰ.....	54
動物形態機能学Ⅰ.....	8	動物内科看護学Ⅱ.....	55
動物形態機能学Ⅱ.....	9	動物内科看護学Ⅲ.....	56
動物行動学.....	10	動物臨床看護学各論Ⅱ.....	57
動物臨床栄養学Ⅰ.....	11	動物医療コミュニケーション.....	58
動物看護学概論.....	12	愛玩動物学Ⅱ.....	59
動物感染症学Ⅰ.....	13	人と動物の関係学.....	60
動物内科看護学Ⅰ.....	14	適正飼養指導論Ⅰ.....	61
動物外科看護学Ⅰ.....	15	適正飼養指導論Ⅱ.....	62
動物外科看護学Ⅱ.....	16	動物臨床検査学実習Ⅰ.....	63
動物臨床看護学総論.....	17	動物臨床検査学実習Ⅱ.....	64
動物臨床看護学各論Ⅰ.....	18	動物外科看護学実習Ⅲ.....	65
動物臨床検査学.....	19	動物外科看護学実習Ⅳ.....	66
愛玩動物学Ⅰ.....	20	動物臨床看護学実習Ⅰ－①.....	67
動物生活環境学.....	21	動物臨床看護学実習Ⅰ－②.....	68
ペット産業概論.....	22	動物臨床看護学実習Ⅱ－①.....	69
動物形態機能学実習.....	23	動物臨床看護学実習Ⅱ－②.....	70
動物内科看護学実習Ⅰ.....	24	動物看護総合実習Ⅰ－①.....	71
動物内科看護学実習Ⅱ.....	25	動物看護総合実習Ⅰ－②.....	72
動物外科看護学実習Ⅰ.....	26	動物看護総合実習Ⅱ－①.....	73
動物外科看護学実習Ⅱ.....	27	動物看護総合実習Ⅱ－②.....	74
訓練学Ⅰ.....	28	訓練学Ⅱ.....	75
動物皮膚病学.....	29	動物理学療法学Ⅰ.....	76
動物歯科学.....	30	ペットアロママッサージⅡ.....	77
愛玩動物飼養管理学.....	31	特別講義.....	78
海外研修.....	32	ビジネスマナーⅡ.....	79
ペットアロママッサージⅠ.....	33	ライセンス対策Ⅱ.....	80
分子遺伝学入門.....	34	トリミング実習Ⅲ.....	81
掃除学.....	35	トリミング実習Ⅳ.....	82
飼育実習Ⅰ.....	36	ー動物管理学科（管理コース）ー.....	83
飼育実習Ⅱ.....	37	動物形態機能学Ⅲ.....	84
英会話.....	38	動物形態機能学Ⅳ.....	85
パソコン.....	39	動物臨床栄養学Ⅱ.....	86
ビジネスマナーⅠ.....	40	比較動物学Ⅰ.....	87
ライセンス対策Ⅰ.....	41	動物感染症学Ⅱ.....	88
トリミング実習Ⅰ.....	42	動物感染症学Ⅲ.....	89
トリミング実習Ⅱ.....	43	公衆衛生学Ⅰ.....	90
二年次科目.....	44	動物内科看護学Ⅱ.....	91
ー動物看護学科ー.....	44	動物内科看護学Ⅲ.....	92
動物形態機能学Ⅲ.....	45	動物臨床看護学各論Ⅱ.....	93
動物形態機能学Ⅳ.....	46	愛玩動物学Ⅱ.....	94
動物臨床栄養学Ⅱ.....	47	人と動物の関係学.....	95
比較動物学Ⅰ.....	48	訓練学Ⅱ.....	96
動物看護関連法規.....	49	訓練学Ⅲ.....	97

訓練学Ⅳ	98	訓練学Ⅵ.....	146
訓練学Ⅴ	99	訓練学Ⅶ.....	147
販売学.....	100	動物物理学療法学Ⅱ	148
動物物理学療法学Ⅰ	101	動物物理学療法学実習Ⅰ	149
ペットアロママッサージⅡ	102	動物物理学療法学実習Ⅱ	150
特別講義.....	103	動物の疼痛と福祉.....	151
ビジネスマナーⅡ	104	幼齢動物看護学.....	152
就職支援.....	105	高齢動物看護学.....	153
トリミング実習Ⅴ	106	牧場実習Ⅰ	154
トリミング実習Ⅵ	107	牧場実習Ⅱ	155
動物園等実習.....	108	プレゼンテーションスキル.....	156
—動物管理学科（トリマーコース）—	109	コミュニケーショントレーニング.....	157
動物形態機能学Ⅲ	110	ビジネスマナーⅢ	158
動物形態機能学Ⅳ	111	ライセンス対策Ⅲ	159
動物臨床栄養学Ⅱ	112	トリミング実習Ⅸ.....	160
比較動物学Ⅰ	113	トリミング実習Ⅹ	161
動物感染症学Ⅲ	114		
動物内科看護学Ⅱ	115		
動物内科看護学Ⅲ	116		
動物臨床看護学各論Ⅱ	117		
愛玩動物学Ⅱ	118		
人と動物の関係学	119		
訓練学Ⅱ	120		
訓練学Ⅲ	121		
販売学.....	122		
動物物理学療法学Ⅰ	123		
特別講義.....	124		
就職支援.....	125		
トリミング実習Ⅶ	126		
トリミング実習Ⅷ	127		
三年次科目.....	128		
—動物看護学科—.....	128		
動物繁殖学	129		
比較動物学Ⅱ	130		
動物病理学	131		
動物薬理学Ⅱ	132		
公衆衛生学Ⅱ	133		
動物臨床看護学各論Ⅲ	134		
動物臨床看護学各論Ⅳ	135		
動物臨床看護学各論Ⅴ	136		
動物外科看護学実習Ⅴ	137		
動物外科看護学実習Ⅵ	138		
動物外科看護学実習Ⅶ	139		
動物愛護・適正飼養実習Ⅰ	140		
動物愛護・適正飼養実習Ⅱ	141		
動物看護総合実習Ⅲ	142		
動物看護総合実習Ⅳ	143		
グリーフケア概論	144		
動物介在活動.....	145		

一年次科目

—全学科共通—

科 目		担 当	実務経験					
生命倫理・動物福祉		本田公三 (獣医師)	有	本学院副学院長 大学卒業後地方自治体において動物園、公衆衛生分野に勤務				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
1 年	全学科共通		前期	講義	必修	30	1	
授業目標	・生命倫理を基本に人と動物が共存するために必要なものは何かを理解する。							
授業概要	・動物の権利、福祉の理念、保護・福祉制度の歴史を学び、産業動物、実験動物、野生動物、展示動物、伴侶動物を対象に福祉の問題点をさぐる。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・動物看護コアテキスト第3版 第1巻 基礎動物学Ⅰ（ファームプレス） ・愛玩動物看護師の教科書 第1巻 基礎動物学（緑書房） ・動物看護学（総論）日本動物看護学会編（インターズー） ・動物看護学全書 動物看護学総論（日本獣医師会） ・小動物獣医看護学 小動物看護の基本と実践ガイド（インターズー） ・アニマルウェルフェア（東京大学出版会）							
授業計画	毎週金曜日 4 限目 15：00～16：30							
回	テーマ		授業内容					
1	動物の福祉とは		動物の権利、愛護との違い、動物の福祉の歴史と国際的な動き、5つの自由					
2	動物観の変遷と愛護運動		古代、中世、近代の西欧と日本の動物観、日本における動物福祉					
3	動物の愛護、管理の法律		狂犬病予防法の背景、アニマルウェルフェアの現況					
4	動物の愛護、管理の法律		動物愛護関連法令の変遷					
5	H A B の認識		動物介在活動、介在療法、介在教育、健康面と心理面の配慮 IAHAIO					
6	生活の質（QOL）の認識		QOL とは何か、動物種による QOL を考える					
7	病院における患者動物の福祉		獣医療の倫理、飼い主指導、ペットロス対応、患者動物の福祉					
8	動物保護施設収容動物の福祉		施設の役割、収容動物の福祉					
9	学校飼育動物福祉		適切な管理、学校と地域獣医師と動物看護師との連携					
10	動物福祉の評価指標		環境のエンリッチメント					
11	産業動物の福祉		産業動物福祉の歴史、世界の取り組み（EU、米国、日本）					
12	実験動物の福祉		実験動物とは、基本原則、飼育管理、化粧品の開発					
13	展示動物の福祉		動物園、水族館の役割、展示動物の福祉					
14	野生動物の福祉		希少種保全、野生動物による被害防除と動物福祉					

科 目		担 当		実務経験				
動物形態機能学Ⅰ		北島眞実子 (獣医師)		有	大学卒業後動物病院に 10 年間勤務し獣医療に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			前期	講義	必修	30	1
授業目標	・ 生体の成り立ち（細胞の基本構造の DNA 等）体液等 ・ 動物の基本的体の構造、機能（解剖と整理）または自然界で生存していくために備わる様々な防御機能（皮膚や免疫機能等）について学ぶ。							
授業概要	・ 恒常性を保つための構造機能（体液、体温等）についての基本的知識を学ぶ。 ・ （概論・形態機能学）							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・ 動物看護コアテキスト第3版 第1巻 基礎動物学Ⅰ（ファームプレス）							
授業計画	毎週火曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1	生物の成り立ち		高校生物復習、四大組織					
2	細胞の構造		細胞小器官とその働き、細胞分裂					
3	〃		遺伝子、DNA、タンパク合成、細胞膜と体液					
4	神経組織		中枢神経と末梢神経、神経細胞					
5	〃		情報伝達の仕組み、脳脊髄の構造					
6	〃		自律神経、視覚、味覚、聴覚					
7	体の構造、呼吸器		骨格、筋肉、肺の構造と呼吸の仕組み					
8	消化器		消化器の構造と仕組み、肝臓、膵臓等					
9	血液		血液の種類と役割、免疫					
10	心臓		心臓の構造、拍動の仕組み等					
11	泌尿器		腎臓の構造、尿の育成					
12	生殖器		雄雌の生殖器、発情から分娩まで					
13	ホルモン		ホルモンの種類と役目					
14	予備		復習他					

科 目		担 当	実務経験					
動物形態機能学Ⅱ		北島眞実子 (獣医師)	有	大学卒業後動物病院に 10 年間勤務し獣医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
1 年	全学科共通		前期	講義	必修	30	1	
授業目標	・ イヌ、ネコの体の構造と機能（解剖と生理）を基本として、他の動物の体の構造と機能を学び、その違いについて理解する生体の成り立ち（細胞の基本構造の DNA 等を学ぶ）。							
授業概要	・ 解剖学、消化器、生殖器等動物種による形態から機能の違いを理解する。 ・ （比較解剖）							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・ 動物看護コアテキスト第3版 第1巻 基礎動物学Ⅰ（ファームプレス）							
授業計画	毎週木曜日 3 限目 13：20～14：50							
回	テーマ		授業内容					
1	解剖学の基礎		解剖用語 など					
2	〃		〃					
3	形態機能学の進捗状況に添いながら学ぶ		〃					
4	〃		〃					
5	呼吸器		鳥類の特殊な呼吸器					
6	消化器		草食動物と肉食動物の違い 鳥類の消化器					
7	〃		〃					
8	〃		〃					
9	生殖器 など		子宮、胎盤の違い					
10	〃		妊娠期間の違い					
11	その他動物の特徴的な形態や機能について		〃					
12	〃		〃					
13	〃		〃					
14	予備		復習 など					

科 目		担 当	実務経験					
動物行動学		大塚敦子 (統一認定動物看護師)	有	動物病院勤務歴 20 年				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
1 年	全学科共通		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・生物学上の観点から犬と猫の発生起源と歴史を理解し、基本的行動の意義または機序を学ぶ。行動の発達ステージと発達過程、生得的行動、習得的行動、個体と社会的行動、コミュニケーション行動とボディランゲージ、性行動を理解できる。しつけトレーニングでは基本的なしつけを理解し、適正飼育と人と動物の共生に寄与することを学ぶ。また犬猫の問題行動についても理解する。							
授業概要	・犬猫の家畜化の歴史と種類、コミュニケーションとしつけトレーニング、問題行動への対応法などを学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第2巻 基礎動物学Ⅱ（ファームプレス） ・トレーニング学（日本ペットビジネススクール協会） ・ペット社会学（日本ペットビジネススクール協会） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週木曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1	動物行動学の基礎		行動学の歴史、研究					
2	〃		〃					
3	イヌ、ネコの行動発達		胎生期、新生子期、移行期、社会化期、若年期、成熟期、高齢期の時期と特徴					
4	〃 行動特性		生得的行動についてそれぞれの行動の意味、目的を知る					
5	トレーニングとは		トレーニング学					
6	飼育犬の社会性を養う		〃					
7	イヌの日常生活に必要なしつけ、トレーニング		イヌの基本的なしつけ、トレーニングについて学び飼い主指導に活かす					
8	その他のトレーニング、ドッグスポーツ		トレーニング学					
9	イヌの基本服従訓練		〃					
10	〃		〃					
11	〃		〃					
12	イヌの問題行動		問題行動の概要とタイプ、おおまかな原因および対処（治療）方法					
13	〃		〃					
14	まとめ							

科 目		担 当		実務経験				
動物臨床栄養学Ⅰ		津田圭子 (獣医師)		有	大学卒業後国、県、民間等に約 20 年勤務し 公衆衛生研究部門に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			前期	講義	必修	30	1
授業目標	・ 六大栄養素を理解する。犬猫の必要栄養素の違いを理解する。ペットフードの表記を理解する。ライフステージの違いを理解する。BCS 評価及びカロリー計算ができるようにする。							
授業概要	・ 基礎栄養素および主に犬猫に必要な栄養素、ペットフードの基本的な知識と特別療法食の特性など個体に合った。適切な食事管理についての知識を身につける。またペットフードの市場について考察する。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第2巻 基礎動物学Ⅱ（ファームプレス） ・ 動物栄養学（エデュワードプレス） ・ √ルート計算の出来る電卓を各自用意 ・ 講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週月曜日	2 限目		10：50～12：20				
回	テーマ		授業内容					
1	基礎栄養素		六大栄養素とその働き 水、タンパク質について					
2	〃		炭水化物、脂肪、ミネラルについて					
3	〃		ミネラル、ビタミンについて					
4	犬と猫の栄養要求の違い							
5	ライフステージ別の栄養管理		繁殖期（妊娠期、授乳期）					
6	〃		繁殖期（妊娠期、授乳期）					
7	〃		成長期（哺乳期、離乳期、離乳後の成長期）					
8	〃		成犬・成猫期（維持期）高齢期					
9	ペットフードの表示の見方		BCS 評価とカロリー計算の仕方					
10	〃		BCS 評価とカロリー計算の仕方、ペットフードの種類					
11	まとめ確認小テスト							
12	尿路結石症／猫下部尿路疾患		猫下部尿路疾患の原因と症状、尿路結石症の食事管理					
13	〃		尿路結石症の食事管理、尿路結石症の食事の与え方					
14	心臓病		心臓病の原因、代表的な心臓病、慢性心不全の食事管理					

科 目		担 当		実務経験				
動物看護学概論		米田順子 (統一認定動物看護師)		有	高校卒業後動物病院に勤務し動物医療に 10 年従事、専門学校講師			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・ 獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。							
授業概要	・ 動物看護の歴史と定義、動物看護者の倫理要綱、動物看護の実践的な役割について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。							
	※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学（ファームプレス）							
参考書	・ 講師配付資料							
授業計画	毎週木曜日	3 限目	13：20～14：50					
回	テーマ		授業内容					
1	動物看護とは何か？①		動物看護の基本となるもの。					
2	〃 ②		看護の歴史と定義について理解する。					
3	動物看護の対象と目的①		動物看護の対象となるステージについて理解する。					
4	〃 ②		動物看護師に求められる視点と能力と診療における役割と必要な知識について学ぶ。					
5	動物看護師の倫理について①		「動物看護者の倫理綱領」について考える。①					
6	〃 ②		〃 ②					
7	動物看護者の業務指針		動物看護者の実践の基準について学ぶ。					
8	動物看護過程について①		動物看護の目的から動物看護過程へ、5 つの構成要素					
9	〃 ②		アセスメントの SOAP モデルについて					
10	〃 ③		動物看護の実践と動物看護記録					
11	動物看護技術について①		看護技術の特徴と範囲①					
12	〃 ②		〃 ②					
13	〃 ③		〃 ③					
14	まとめ							

科 目		担 当		実務経験			
動物感染症学Ⅰ							
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通		前期	講義	必修	30	1
授業目標		・感染、感染症、発症などの定義、感染症の成立条件、感染症の病原因子である細菌・真菌・ウイルスおよび原虫などに関する生物学的、物理化学的性状を学ぶ。更に、犬、猫等が罹患する主要な感染症とその感染経路、感染後の経過、臨床症状、診断、予防・治療方法、微生物学的検査方法、微生物材料の取り扱い方法等を学ぶ。					
授業概要		・炎症と免疫の機序とアレルギーや自己免疫性疾患についても学ぶ。 ・（総論・微生物学）					
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
	100 点						
		※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。					
教 材		・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学（ファームプレス） ・講師配付資料					
参考書							
授業計画		毎週金曜日	2 限目	10：50～12：20			
回	テーマ		授業内容				
1	1.感染症と微生物		感染症とは、病原体の種類およびそれらの生物学的特徴、近代微生物学の歩み				
2	2.感染症の成立		感染症の成立要因、各種感染症の種類とその特徴、病原体の感染力と病原因子、宿主の防御能、病原体の種類別疾患の特徴				
3	3.病原微生物学 (1)細菌類の特徴		細菌類の仲間とそれらの生物学的特徴、細菌の形態、組成、構造、染色性、環境要因、増殖、培養、代謝、抵抗性				
4	(2)細菌		細菌の遺伝と変異、病原因子（内毒素と外毒素、菌体外酵素）、細菌の分類、主な病原細菌				
5	(3)その他の細菌の仲間		マイコプラズマ、クラミジアおよびリケッチアの生物学的性状、主な病原体の特徴、生活環、それらによる疾患の特徴				
6	(4)真菌		真菌の特徴、形態、組成、構造、生物学的性状、増殖、真菌の分類、主な真菌感染症とその特徴				
7	(5)ウイルス		ウイルスの形態、組成、構造、増殖、変異、ウイルス性疾患の特徴、動物ウイルスの分類、人獣病原ウイルスの種類				
8	(6)原虫 (7)プリオン		病原性原虫の種類とその組成、構造および形態、主な原虫の生活環の特徴、プリオン病の特徴、プリオン蛋白の蔵宿機構、人獣のプリオン病				
9	4.感染症各論 (1)日和見感染症		生体と常在細菌叢との関わり、腸内細菌叢との有益性、有害性、日和見感染症とその原因微生物、易感染宿主と院内感染症、薬剤耐性菌				
10	4.感染症各論 (2)イヌのウイルス性疾患		狂犬病、イヌジステンパー、犬アデノウイルス感染症、犬パルボウイルス感染症、犬コロナウイルス感染症、犬口腔乳頭種、パラインフルエンザウイルス感染症				
11	4.感染症各論 (3)ネコのウイルス性疾患		猫伝染性咽頭気管炎、猫カリシウイルス感染症、猫汎白血球減少症、伝染性腹膜炎と猫コロナウイルス感染症、猫白血病と猫免疫不全症				
12	4.感染症各論 (4)主要な細菌等による疾患		レプトスピラ、パスツレラ、ブルセラ、ボルデテラ、サルモネラ、ライム病、クラミジア、オオム病、ジアルジア、バベシア、トキソプラズマ、アルペルギルス、クリプトコッカス、カンジダ、マラセチア				
13	5.感染症対策 (1)微生物学的取扱法		感染症統御の 3 要因（感染源対策、感染経路対策、感受性対策）、消毒方法と滅菌方法				
14	5.感染症対策 (2)予防とワクチン、治療、診断		ワクチンの種類とその特徴（有効性と安全性、用法、取り扱い方法、抗生物質等の特性、取り扱い上の注意、感染症の診断法				

科 目		担 当		実務経験				
動物内科看護学Ⅰ		池上美紀 (統一認定動物看護師)		有	高校卒業後動物病院に勤務し動物医療に従事、専門学校講師			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			前期	講義	必修	30	1
授業目標	・チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学習する。また、治療方針の理解度を深め、動物看護に必要な疾病について学習する。特有の検査や動物看護に必要な知識を学び、動物看護を実践できるよう知識を身に着ける。疾患によっては好発種や好発年齢があるので、そのポイントを把握したうえで、各症状を理解し、動物への看護法を身につける。概論として、バイタルサインやBCSについても学ぶ。							
授業概要	・犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬輸液輸血について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・犬の骨格標本、犬の筋肉標本、組織プレパラート、顕微鏡等							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	4 限目	15：00～16：30					
回	テーマ		授業内容					
1	概論		カルテの概要、バイタルサイン、BCS、身体検査、TPR、正常値、異常値の見分け方					
2	感覚器疾患（耳） 循環器疾患①		耳の代表的疾患、検査方法 心臓、血液循環、リンパ循環、胸腺の主な検査、代表的な疾患					
3	〃 ②		〃					
4	呼吸器系疾患		呼吸器系の主な検査、代表的疾患					
5	消化器疾患①		食道、胃、腸の主な検査、代表的な疾患					
6	〃 ②		〃					
7	肝胆道系・膵外分泌系疾患		肝臓、胆のう、膵臓の主な検査、代表的な疾患					
8	泌尿器系疾患①		腎臓の主な検査、代表的な疾患					
9	〃 ②		尿管、膀胱、尿道の主な検査、代表的な疾患					
10	内分泌系疾患		内分泌系の主な検査、代表的な疾患					
11	生殖器系疾患		生殖器の主な検査、代表的な疾患					
12	神経系・腫瘍性疾患		神経系疾患の主な検査、腫瘍の分類、代表的な疾患					
13	総まとめ		総復習（バイタル、身体検査、循環器系、消化器系）					
14	総まとめ		総復習（泌尿器系、神経疾患）					

科 目		担 当		実務経験				
動物外科看護学Ⅰ		石井実生 (獣医師)		有	大学卒業後動物病院に勤務 20 年間獣医療に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			前期	講義	必修	30	1
授業目標	・ チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学習する。また、治療方針の理解度を高め、疾病別の動物看護に活かすために必要な疾病について学ぶ。器官別疾患については、特有の検査や動物看護に必要な知識を学び、動物の看護が実践できるよう知識を身に付ける。疾患によっては、好発種と好発年齢があるので、そのポイントを把握した上で、各症状を理解し、動物への看護法を身に付ける。動物看護外科学では、主に整形外科疾患および神経系疾患の代表的な疾病について学ぶ。							
授業概要	・ 動物の術前管理、手術室管理、滅菌消毒法、術前準備、麻酔法、手術器具、術中管理、術後管理、包帯法、救急救命法、理学療法等について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度	
	100 点						出席状況	
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・ 講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週木曜日		4 限目		15：00～16：30			
回	テーマ			授業内容				
1	外科とは？			外科と内科の違い				
2	外科の基礎			無菌、滅菌、殺菌、消毒				
3	手術前準備①			術前管理				
4	〃 ②			手術準備				
5	周術期①			麻酔				
6	〃 ②			モニター				
7	確認			前半の確認				
8	手術器具①			器具の名称				
9	〃 ②			器具の使い方				
10	外科手術①			開腹				
11	〃 ②			歯科				
12	〃 ③			整形外科				
13	術後管理			リハビリテーション				
14	確認テスト							

科 目		担 当	実務経験					
動物外科看護学Ⅱ		石井実生 (獣医師)	有	大学卒業後動物病院に勤務 20 年間獣医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
1 年	全学科共通		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・ 外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。 ・ 併せて、救急救命法、理学療法についてその目的と技術を学ぶ。チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学習する。							
授業概要	・ 動物外科領域において、術後管理、包帯法、救急救命、理学療法等について学ぶ。							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・ 講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週木曜日	4 限目	15：00～16：30					
回	テーマ		授業内容					
1	外科処置の目的、術前管理①		動物外科看護学Ⅰの復習					
2	〃 ②		〃					
3	手術室の管理、滅菌消毒法①		〃					
4	〃 ②		〃					
5	術前準備、麻酔法、手術器具①		〃					
6	〃 ②		〃					
7	術中管理①							
8	〃 ②							
9	術後管理、包帯法①							
10	〃 ②							
11	救急救命法①							
12	〃 ②							
13	理学療法①							
14	〃 ②							

科 目		担 当	実務経験					
動物臨床看護学総論		池上美紀 (統一認定動物看護師)	有	高校卒業後動物病院に勤務し動物医療に従事、専門学校講師				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
1 年	全学科共通		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・動物看護の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。							
授業概要	・動物看護学で学習した動物看護過程の展開の復習と更なる展開 ・動物看護記録の作成について理解する。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・動物看護実習テキスト（インターズー）							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	3 限目	13：20～14：50					
回	テーマ		授業内容					
1			動物看護の目的や意義、方法の理解を再確認する。					
2			動物看護過程の各ステップについて理解を深める。					
3			事例を用いて、各ステップについて整理と解釈をし、展開について議論をする。					
4			動物看護過程の展開を実施し評価について理解する。					
5			動物看護記録の作成の目的、書式、事例に応じた作成法について学ぶ。					
6			動物看護業務における自己管理防止システムについて理解する。					
7			若齢動物の看護について理解する。					
8			高齢動物看護の特徴について理解する。					
9			ターミナルケアの目的と意義について理解する。					
10			QOL やホスピス、緩和ケアについて理解する。					
11			指導した動物への対応、エンゼルケアについて理解する。					
12			動物と死別した人の悲嘆を考える。悲嘆の 5 つの過程について					
13	まとめ、確認テスト							
14	まとめ							

科 目		担 当	実務経験					
動物臨床看護学各論Ⅰ		木下あゆみ (獣医師)	有	動物病院院長 獣医療臨床暦 20 年				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
1 年	全学科共通		通年	講義	必修	30※	1※	
授業目標	・ 様々な病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な措置。治療に関する基本的な知識を学ぶ、各々の機能障害をもつ応物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を取得する。							
授業概要	・ 血液内分泌疾患及び眼科疾患を中心に学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス） ・ 動物看護実習テキスト（インターズー）							
参考書								
授業計画	毎週水曜日	4 限目	15：00～16：30					
回	テーマ		授業内容					
1	眼科疾患		眼の構造と仕組みを理解する。					
2	〃		眼科診療で行われる検査とその意義について学ぶ。					
3	眼科疾患		眼科の代表的な疾患について理解する。眼科診療における動物看護師の役割と看護のポイントを理解する。					
4	〃							
5	血液疾患		血液成分の概要を理解する。					
6	〃							
7	血液疾患		血液疾患の特徴、症状を理解する。					
8	〃							
9	内分泌疾患		内分泌疾患の主な疾患名と昭乗についての知識を身につける。					
10	〃							
11	内分泌疾患		内分泌疾患の検査法について知る。					
12	〃		各疾患の看護上のポイントを理解する。					
13	まとめ		復習					
14	〃							
1	感染性疾患		感染症の早期発見・早期治療のための正確な稟告聴取。					
2	〃		病気に対する正確な知識（消毒法、院内感染防止）を修得する。					
3	感染性疾患		消耗性疾患は体力温存がポイントであり、症状に合わせた適切な看護法を修得する。					
4	〃							
5	寄生虫		寄生虫の診断技術を身につける。					
6	〃							
7	寄生虫		寄生虫の診断治療薬の特性を理解する。					
8	〃							
9	担ガン動物		ガンの定義と特徴・病態生理を学ぶ。					
10	〃							
11	担ガン動物		担癌動物の看護法と動物看護師の役割を知る。					
12	〃							
13	まとめ		復習					
14	〃							

※学年を2つのグループ（飼育班）に分け、隔週交代で実施する。

※通年実施（30 時間）で、1 単位の認定となる。

科 目		担 当	実務経験					
動物臨床検査学		中村あゆみ (統一認定動物看護師)	有	高校卒業後動物病院に 20 年間勤務し動物医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
1 年	全学科共通		通年	講義	必修	30※	1※	
授業目標	・ 検体を用いる検査と生体検査の目的と意義を理解し手技に活かす。検体検査では、糞便、尿、血液、その他（細胞）の検査の意義を理解する。生体検査ではエックス線の発生機序、生物作用と防護、超音波の基本原理、心電図、内視鏡、CT、MRI の基本原理について学ぶ。							
授業概要	・ 主な検査機器について理解する。解剖学、生理学、看護学との関連性を正しく理解する。実際に尿、便、眼、耳等の検査やレントゲン、超音波診断、CT、細胞診等の手技を実践する。							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス） ・ 動物看護実習テキスト（インターズー）							
参考書								
授業計画	毎週水曜日	3 限目	13：20～14：50					
回	テーマ		授業内容					
1	臨床検査学概論		臨床検査の目的と動物看護師の役割					
2								
3	臨床検査の種類		臨床検査の種類					
4								
5	主な検査機器①		検体検査、生体検査に使用する主要な検査機器					
6								
7	主な検査機器②		検体検査、生体検査に使用する主要な検査機器					
8								
9	解剖学、生理学、看護学との関連性①		内臓、骨格、脳、神経の名称、数および位置関係 各臓器のはたらきと臨床検査との関連性を知る					
10								
11	解剖学、生理学、看護学との関連性②		内臓、骨格、脳、神経の名称、数および位置関係 各臓器のはたらきと臨床検査との関連性を知る					
12								
13	尿検査		概論、採尿法、取扱い、検査項目、手技、評価					
14								
1	糞便検査		概論、採便法、取扱い、検査項目、手技、評価					
2								
3	血液検査①		概論、採血法、取扱い、検査項目、CBC、生化学					
4								
5	血液検査②		血液塗抹標本の作製					
6								
7	眼科検査		眼科検査概論、手技					
8								
9	耳の検査		耳の検査概論、手技					
10								
11	皮膚科検査		皮膚科検査概論、手技					
12								
13	総合テスト		動物臨床検査学の理解度を確認する					
14								

※学年を 2 つのグループ（飼育班）に分け、隔週交代で実施する。

※通年実施（30 時間）で、1 単位の認定となる。

科 目		担 当		実務経験				
愛玩動物学Ⅰ		大塚敦子 (統一認定動物看護師)		有	動物病院勤務歴 20 年			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			前期	講義	必修	30	1
授業目標	・犬種、猫種による違いとその飼育目的を理解し、それぞれの特徴とその目的を学ぶ。家畜化された以降の歴史、文学、芸術上に表れた人間との関係、各種の特徴、行動、役用犬の役割、猫の特性、飼育、しつけ健康管理を理解する。							
授業概要	・(犬学・猫学) ・犬猫の家畜化の歴史と種類、コミュニケーションとしつけトレーニング、問題行動への対応法などを学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90) 、A (89～80) 、B (79～70) 、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第6巻 愛護・適正飼養学 (ファームプレス) ・トレーニング学、ペット社会学 (日本ペットビジネススクール協会)							
参考書	・ビジュアル犬種百科図鑑、ビジュアル猫種百科図鑑 (緑書房)							
授業計画	毎週木曜日		2 限目		10 : 50～12 : 20			
回	テーマ		授業内容					
1	イヌとネコの歴史、家畜化		歴史、家畜化された理由、時期、現在における役割					
2	犬種による違いとその目的		犬種の用途やルーツによるグループ分け ①					
3	〃		〃 ②					
4	猫種による違いとその目的		主な猫種の歴史と特徴					
5	イヌ、ネコのコミュニケーション行動		イヌ、ネコのコミュニケーション行動の種類					
6	〃		ボディランゲージ、カーミングシグナル					
7	ネコの日常生活に必要なしつけ、トレーニング		ネコの基本的なしつけ、トレーニングについて学ぶ 飼い主指導に活かす					
8	〃		〃					
9	問題行動		問題行動の定義と原因					
10	〃		行動診療の手順、治療と解決のプロセス					
11	〃		イヌ、ネコの攻撃行動、恐怖、不安行動					
12	〃		イヌ、ネコの恐怖、不安行動					
13	〃		イヌ、ネコのその他の問題行動およびそれぞれ特有のもの					
14	まとめ		適正な飼養とはどういうことかを考える					

科 目		担 当		実務経験				
動物生活環境学		井上 竜一 (統一認定動物看護師)		有	大学専門学校卒業後教職として専門学校勤務 8 年従事、専門学校講師			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			前期	講義	必修	30	1
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。							
	※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・動物看護コアテキスト第3版 第6巻 愛護・適正飼養学（ファームプレス）							
授業計画	毎週火曜日	3 限目	13：20～14：50					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
ペット産業概論		徳田竜之介 (獣医師)		有	動物病院院長 大学院卒業後動物病院開業、 専門学校設立			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・動物看護コアテキスト第3版 第6巻 愛護・適正飼養学（ファームプレス）							
授業計画	毎週火曜日	4 限目	15：00～16：30					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当	実務経験					
動物形態機能学実習		北島眞実子 (獣医師)	有	大学卒業後動物病院に 10 年間勤務し獣医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
1 年	全学科共通		後期	講義・実習	必修	30	1	
授業目標	・動物形態機能学で学ぶ体の機能と働きについてその構造や仕組みについて、実際の動物や顕微鏡、模型などを使った実習をとおして深井理解に繋げる。							
授業概要	・動物の体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像等を通じて学ぶ。 ・顕微鏡操作法、標本による骨格形態と機能を理解する、模型による内臓形態と機能の理解、主要臓器の組織像観察							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第1巻 基礎動物学Ⅰ（ファームプレス） ・動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス） ・犬の骨格標本、犬の筋肉標本、組織プレパラート、顕微鏡等							
参考書								
授業計画	毎週月曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1	動物形態機能学概論							
2	体表面		体位と方向を示すとおり用語を知り、説明する。					
3	運動器（骨、関節）		骨格標本を用いて代表的な骨を観察し名称と特徴を理解する。					
4	〃		代表的な関節の名称と構造機能を理解する。					
5	〃		代表的な骨格筋の名称と構造機能を理解する。					
6	〃		代表的な深層筋（体幹筋、四肢の筋）の名称と構造機能を理解する。					
7	〃		代表的な浅層筋の名称と働きを知る。					
8	臓器		模型などを用いて主要な内臓の配置について理解する。					
9	〃		生殖器の雌雄差を理解する。					
10	実習器具の取扱い		顕微鏡の各部位の名称、鏡検条件について理解する。					
11	〃		顕微鏡の適切な操作法を理解する。					
12	〃		顕微鏡の適切な管理法を修得する。					
13	実習		主要臓器の組織像の観察スケッチ等により理解を深める。					
14	〃		組織像に見られる代表的な構造について、機能との関係を理解する。					

科 目		担 当		実務経験				
動物内科看護学実習Ⅰ		吉川文香 (統一認定動物看護師)		有	動物病院に勤務し動物医療に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			前期	講義・実習	必修	60	2
授業目標	・犬や猫の日常敵な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学に学んだ知識の実践力を修得する。							
授業概要	・基礎で習得した知識を実践とし、診療現場に必要な観察力および看護法に関する基本的手技を身につける。また手順や要領を考えた行動から問題解決能力や看護実践能力を身につける。診療補助、輸液管理、シリンジの扱い、衛生管理、入院管理、調剤、グルーミングについて学ぶ。							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週月曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30		
回	テーマ		授業内容					
1	動物看護	概論	動物看護とは何か					
2								
3	〃	目的、意義	動物看護師の役割、実習の心構え					
4								
5	診療補助	①概論	イヌ・ネコの扱いを知る					
6								
7	〃	②保定法	基本的な保定法を知り身につける					
8								
9	〃	③バイタルチェック、	バイタルチェックと身体検査					
10	身体検査							
11	〃	④全身検査	〃					
12								
13	〃	⑤実習	適切な保定法でバイタルチェックを行う					
14								
15	投与法		さまざまな投与法を知る					
16								
17	注射法①		各種注射法、目的、方法					
18								
19	〃	②	シリンジ、注射針の正しい扱い					
20								
21	〃	③	実習					
22								
23	予備							
24								
25	受付業務①		受付と電話対応、コミュニケーション					
26								
27	〃	②	カルテと問診					
28								

科 目		担 当		実務経験				
動物内科看護学実習Ⅱ		吉川文香 (統一認定動物看護師)		有	動物病院に勤務し動物医療に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			後期	講義・実習	必修	60	2
授業目標	・犬や猫の日常敵な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学に学んだ知識の実践力を修得する。							
授業概要	・基礎で習得した知識を実践とし、診療現場に必要な観察力および看護法に関する基本的手技を身につける。また手順や要領を考えた行動から問題解決能力や看護実践能力を身につける。診療補助、輸液管理、シリンジの扱い、衛生管理、入院管理、調剤、グルーミングについて学ぶ。							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週月曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30		
回	テーマ		授業内容					
1	子犬・子猫の全身評価							
2								
3	衛生管理、入院管理		汚染を防ぐ入院動物の扱い					
4								
5	輸液管理①		輸液とは？手技					
6								
7	〃 ②		準備、備品ラインの接続、ポンプについて					
8								
9	調剤①		医薬品の取り扱い					
10								
11	〃 ②		薬用量の計算、調剤、分包					
12								
13	創傷管理と包帯法							
14								
1	外科手術の看護①		看護の流れ、麻酔、手術室看護					
2								
3	〃 ②		〃					
4								
5	救命救急処置		目的と看護師の役割					
6								
7	実習		実習					
8								
9	〃		〃					
10								
11	まとめと確認テスト		復習					
12								
13	〃		〃					
14								

科 目		担 当		実務経験				
動物外科看護学実習Ⅰ		徳田竜之介 (獣医師)		有	動物病院院長 大学院卒業後動物病院開業、 専門学校設立			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			前期	講義・実習	必修	30	1
授業目標	・ 基本的な外科手術の流れを理解し、手術準備、麻酔モニタリング、手術助手及び周術期の動物管理を身につける。手術関連業務、術前、術後の看護、麻酔、鎮痛、麻酔モニタリングなどの詳細について理解する。							
授業概要	・ 手術準備や術中・術後管理、麻酔監視、手術補助、救急救命等動物外科学で学んだ知識の実践力を習得する。手術における動物看護師の役割を理解し、周術期果たす役割を理解できるようにする							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ (ファームプレス) ・ 動物看護実習テキスト第3版 (エデュワードプレス)							
参考書								
授業計画	毎週金曜日	3 限目	13：20～14：50					
回	テーマ		授業内容					
1	手術補助、器具機材の準備①		外科実習の流れ、手術器具、					
2	〃 ②③		縫合材料 (針と糸)、ドレープ類・ガウンの意義					
3	〃 ④⑤		電気メス、器具の滅菌管理					
4	避妊、去勢手術、麻酔前評価、まとめ		卵巣・子宮全摘出術、去勢手術の定義、術前検査の意義、まとめ					
5	術前準備、術者の準備①②		手指の消毒法、ガウン・グローブの装着法					
6	動物の準備①②		術野の準備、ドレープのかけ方					
7	血管確保、気道確保		血管確保の準備・手順、気道確保の準備手順					
8	輸液管理、麻酔とは、麻酔薬の作用、麻酔前投薬①		輸液の準備の管理、麻酔の種類、麻酔薬の作用・代謝・排泄、麻酔前投薬の意義					
9	〃 ②		〃					
10	鎮痛薬、麻酔導入、吸入麻酔、酸素化①		鎮痛薬の意義、麻酔導入方法の理解、吸入麻酔薬の意義、麻酔導入前の酸素化の意義					
11	〃 ②		〃					
12	麻酔器の構造と管理、モニター機器の準備と管理①②、まとめ		麻酔器の仕組みの理解、ECG モニターの仕組みの理解、血圧モニターの仕組みを理解、まとめ					
13	〃 ③④		〃					
14	まとめ		総合実習					

科 目		担 当		実務経験						
動物外科看護学実習Ⅱ		徳田竜之介 (獣医師)		有	動物病院院長 大学院卒業後動物病院開業、 専門学校設立					
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位		
1 年	全学科共通			後期	講義	必修	30	1		
授業目標	・ 基本的な外科手術の流れを理解し、手術準備、麻酔モニタリング、手術助手及び周術期の動物管理を身につける。手術関連業務、術前、術後の看護、麻酔、鎮痛、麻酔モニタリングなどの詳細について理解する。									
授業概要	・ 手術準備や術中・術後管理、麻酔監視、手術補助、救急救命等動物外科学で学んだ知識の実践力を習得する。手術における動物看護師の役割を理解し、周術期果たす役割を理解できるようにする									
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	50 点				50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。									
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・ 動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）									
参考書										
授業計画	毎週金曜日		3 限目		13：20～14：50					
回	テーマ			授業内容						
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										

科 目		担 当	実務経験					
訓練学Ⅰ		中嶋友美 (警察犬訓練士)	有	横手愛犬トレーニング代表				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
1 年	全学科共通		通年	講義・実技	必修	30※	1※	
授業目標	・犬の本能・行動終生についての基本的なことを理解し、テーマごとにトレーニング技術を修得する。							
授業概要	・犬の行動様式を学び、トレーニングの開始時期、家庭犬のトレーニング、競技会の科目の内容まで学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	50 点	50 点						
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・トレーニング学（日本ペットビジネススクール協会）							
授業計画	毎週水曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1	トレーニングの時期		A ボールなどで集中力をつける					
2	〃		B 〃					
3	「停座」		A リードの持ち方・カラーの位置					
4	〃		B 〃					
5	リーダーウォーク		A 効果的なほめ方、指示をするタイミング					
6	〃		B 〃					
7	脚側行進		A 常歩 犬との接し方					
8	〃		B 〃					
9	脚側行進		A 常歩・緩歩・速歩					
10	〃		B 〃					
11	脚側行進		A トレーニングを楽しむ					
12	〃		B 〃					
13	「伏臥」		A 人が主導的行動をとる					
14	〃		B 〃					
1	「立止」		A 犬の本能・習性を理解する					
2	〃		B 〃					
3	「停座」及び「招呼」		A マテ・コイ・アトエがすべて含まれた科目					
4	〃		B 〃					
5	「伏臥」及び「招呼」		A フセ・コイ・アトエ訓練の進み具合が現れる科目					
6	〃		B 〃					
7	「持来」		A ダンベルを使い犬に持つことを教える					
8	〃		B 〃					
9	「強制持来」		A ダンベルを持って来たことをほめる					
10	〃		B 〃					
11	「休止」		A 長時間犬を待たせる					
12	〃		B 〃					
13	訓練競技会の科目		A 各科目の説明					
14	〃		B 〃					

※学年を2つのグループ（飼育班）に分け、隔週交代で実施する。

※通年実施の30時間で、1単位の認定となる。

科 目		担 当	実務経験					
動物皮膚病学		北島眞実子 (獣医師)	有	大学卒業後動物病院に 10 年間勤務し獣医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
1 年	全学科共通		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・皮膚構造を理解し、そこに発生する皮膚病の原因、検査法治療について学ぶ。							
授業概要	・皮膚の構造と役割と痛みかゆみ等症状別の役割について理解する。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学（ファームプレス） ・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス）							
参考書	・愛玩動物看護師の教科書第3巻 基礎動物看護学（緑書房） ・愛玩動物看護師の教科書第5巻 臨床動物看護学（緑書房） ・講師配付資料							
授業計画	毎週火曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1	皮膚とは		皮膚の構造と役割					
2	動物病院		予診 問診					
3	皮膚の検査		皮疹					
4	〃		検査の種類					
5	〃		〃 方法					
6	皮膚の代表的疾患		痒みの強もの					
7	〃		痒みの強くないもの					
8	〃		痒みを示さないものなど					
9	〃		人畜共通感染症					
10	〃		その他の皮膚疾患					
11	〃		〃					
12	シャンプー療法		シャンプーの種類 シャンプー方法					
13	耳の検査と疾患		外耳炎 など					
14	予備		復習 など					

科 目		担 当		実務経験				
動物歯科学		西川文 (歯科医師)		有	歯科医院副院長 歯科大卒業後歯科医院で歯 科診療に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			後期	講義	必修	30	1
授業目標								
・生命維持の始まりである「口腔機能」と全身機能の相互関係を理解する。歯科疾患の原因や発生機序を知った上で、治療法・診療補助法・予防法・ケアの方法について学習する。動物それぞれの特性を理解し、健康を維持するための看護歯科学について学ぶ。								
授業概要								
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度	
	100 点						出席状況	
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材		・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学（ファームプレス） ・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス）						
参考書		・愛玩動物看護師の教科書第3巻 基礎動物看護学（緑書房） ・愛玩動物看護師の教科書第5巻 臨床動物看護学（緑書房） ・動物看護の為の小動物歯科学 （ファームプレス） ・犬と猫の歯科 ベーシック編 （学窓社） ・講師配付資料						
授業計画		毎週金曜日		2 限目		10：50～12：20		
回	テーマ			授業内容				
1	Ⅰ 口腔解剖・生理学 ①口腔器官の役割			口腔器官の解剖・昨日・役割を学ぶ				
2	②動物の歯科疾患			解剖学的特性と疾病の種類を学ぶ				
3	③全身との関連			口腔と全身の相互関係を学ぶ				
4	Ⅱ 口腔疾患各論 ①齦蝕と歯周病			齦蝕・歯周病の種類・分類・原因について学ぶ				
5	②齦蝕と歯周病の治療			齦蝕・歯周病の治療法について学ぶ				
6	③動物の齦蝕と歯周病			動物の齦蝕・歯周病の特性・治療法について学ぶ				
7	④口腔外科疾患			疾病の種類・原因・予後について学ぶ				
8	⑤口腔外科治療			外傷・腫瘍・先天異常などの治療法を学ぶ				
9	⑥動物の口腔外科治療			外傷・腫瘍・先天異常などの動物の治療法を学ぶ				
10	Ⅲ 口腔疾患の治療 ①口腔内診査・診断			口腔内診査の種類・手順・基準について学ぶ				
11	②治療法			実際の治療・診療補助・看護について学ぶ				
12	③動物の治療と看護			動物の治療・診療補助・看護について学ぶ				
13	④予防歯科			口腔疾患の対策・予防法・ホームケアについて学ぶ				
14	まとめ							

科 目		担 当	実務経験					
愛玩動物飼養管理学		井上竜一 (統一認定動物看護師)	有	大学専門学校卒業後教職として専門学校勤務 8年従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
1 年	全学科共通		前期	講義・演習	必修	7※	1※	
授業目標	・法律に基づき、動物の愛護と適正な飼養管理についての知識の普及及び指導を行うとともに必要な愛玩動物飼養管士を目指す者が学ぶ。また愛玩動物飼養管理士の資格取得の支援を行う。							
授業概要	・愛玩動物飼養管理士の資格取得に向けた過去問題集を中心に学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・愛玩動物飼養管理士教本 2 級 1 巻 2 巻							
参考書	・講師配付資料							
授業計画	毎週火曜日	1 限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1	愛玩動物飼養管理士 2 級取得対策		A	課題問題を解きながら解説				
2	〃		B	〃				
3	〃		A	〃				
4	〃		B	〃				
5	〃		A	〃				
6	〃		B	〃				
7	まとめ		復習					

※学年を2つのグループ（飼育班）に分け、隔週交代で実施する。

※この科目は、〔海外研修〕と合わせて15時間で、1単位の認定となる。

科 目		担 当		実務経験				
海外研修		井上竜一 (統一認定動物看護師)		有	大学専門学校卒業後教職として専門学校勤務 8年従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			前期	講義・演習	必修	8※	1※
授業目標	・研修先の決定後、研修内容、研修目標を設定し、日本との違い、日本が抱える問題点、今後の展望を考察し、自分の将来を見据える機会にする。							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・講師配付資料							
授業計画	毎週火曜日	1 限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1	事前学習		A 研修の目的や集団行動での注意点等を明確にする。					
2	〃		B 〃					
3	〃		A 研修先を事前に学習し、体験学習を深める。					
4	〃		B 〃					
5	〃		A 〃					
6	〃		B 〃					
7	〃		A 〃					
8	〃		B 〃					

※学年を2つのグループ（飼育班）に分け、隔週交代で実施する。

※この科目は、〔愛玩動物飼養管理学〕と合わせて15時間で、1単位の認定となる。

科 目		担 当		実務経験			
ペットアロママッサージⅠ		前田しのぶ (アロマコーディネーター)	有	アロマクラブ代表、アロマ外来に従事、専門学校講師			
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通		後期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・運動不足、ストレスを蓄積し動きの悪くなった動物をリラックスさせるマッサージ法について学ぶ。この中には精油を用いるアロマセラピーも含む。						
授業概要	・実際にアロマオイルをブレンドし、モデル犬で効果を体験する。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
	100 点						
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。						
教 材 参考書	・アロマオイルセット ・講師配付資料						
授業計画	毎週金曜日	4 限目	15：00～16：30				
回	テーマ		授業内容				
1	ホリスティックについて		人と動物へのホリスティック、自己紹介				
2	2-1	アロマセラピー	精油の扱い方を知る、体験				
3	クラフト作成		精油 3 種の学習、バスソルト、ボディソープ				
4	2-2	精油の生い立ち	精油 5 種				
5	オイルトリートメント		キャリアオイルの数々、ペットに適したオイルの使い方				
6	2-3	ハンドトリートメント	学生同士のトリートメント、ペットへの生かし方				
7	2-4	精油ブレンド	ブレンドファクターの練習、精油 5 種				
8	2-5	人間の脳と嗅覚	犬にアロマが良い理由、香りのキャチ法				
9	2-6	スキンケア（2）	オイルトリートメント実践、ローション、フェイストリートメント作成				
10	2-7	香りの歴史	歴史を学ぶ、精油 5 種				
11	2-8	精油の安全性	ハンガリーウォーター、マウスウォッシュ作成				
12	2-9	精油の作成	アロマに役立つ解剖、生理学、ヘアパック作成				
13	2-10	オイルトリートメント（犬）	犬のマッサージ方法、人との比較				
14	2-1～10 のおさらい		復習				

科 目		担 当		実務経験			
分子遺伝学入門		田嶋義高 (統一認定動物看護師)	有	理学修士・医科学修士。バイオ医薬産業で製造・研究に 30 年従事。			
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通		通年	講義	必修	30※	1※
授業目標	・メンデルの遺伝学（古典的遺伝学）と DNA レベルでの動物の形質発現（姿・形・体質など）の根本原理（セントラルドグマ）との関係を理解し、動物の飼養・繁殖、病気（がん、遺伝性疾患、感染症など）と分子遺伝学との関連やそのバイオテクノロジーへの応用についても学ぶ。						
授業概要	・生命現象の根幹としての遺伝現象を古典的遺伝学と分子遺伝学に基づいて説明できるようになり、動物と微生物での違いや病的過程についても理解できるようになる。動物関係専門家・技術者として、資格取得等に必要な遺伝学的知識・考え方を習得する。						
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度		出席状況	
	70 点		20 点	10 点			
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が 3 分の 2 以上であることが必要となる。 ※本科目は、前期および後期それぞれでテストを行い、成績評価は年 1 回となります。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。						
教 材	・動物看護コアテキスト（ファームプレス） ・講師配付資料、視聴覚教材						
参考書	・動物看護教育コアカリキュラム準拠テキスト（Interzoo）						
授業計画	毎週月曜日	1 限目	9：10～10：40				
回	テーマ		授業内容				
1	序論：分子遺伝学とは何か？		授業の進め方、受講のための予備知識、遺伝すること、遺伝子とは？遺伝形質と				
2	何のために分子遺伝学を学ぶのか？		遺伝子の関係、【トピック】♂三毛猫の話				
3	生体を構成する分子について		生体の成り立ち（器官、組織、細胞、分子、原子）、細胞の構造（分子遺伝学で				
4	（特に、分子遺伝学で重要な分子）		重要な細胞内小器官など）、細胞を構成する分子（特に、タンパク質、DNA、RNA の構造と働き）、タンパク質の重要性				
5	遺伝学の歴史(1)：メンデルの法則		純系、優性の法則、分離の法則、ヘテロ接合体、ホモ接合体、対立遺伝子、遺伝				
6			様式、減数分裂と体細胞分裂				
7	遺伝学の歴史(2)：染色体の発見		染色質・クロマチン繊維・染色体・DNA、細胞周期、相同染色体、常染色体、性				
8	遺伝学の歴史(3)：遺伝子は染色体上に存在する。		染色体、減数分裂と体細胞分裂、G 染色法（染色体異常、遺伝病の診断）				
9	【実験】DNA の抽出と観察		生物材料からの DNA の抽出と観察？				
10							
11	遺伝学の歴史(4)：DNA の二重らせんモデル		DNA の構造（塩基配列、塩基対、らせん構造）				
12	遺伝学の歴史(5)：セントラルドグマ（遺伝子の複製と発現）		DNA(染色体) の複製、遺伝子発現、転写（mRNA）、翻訳（tRNA、遺伝暗号）				
13	まとめ		前期のまとめ				
14							
15	細菌・ウイルスの増殖（複製）と遺伝子発現		真核細胞と原核細胞の違い、細菌とウイルスの違い 【トピック】PCR 法、新型コロナワクチン（mRNA ワクチン）				
16							
17	遺伝学の歴史(6)：ヒトゲノム計画完成		ゲノム、遺伝子多型、遺伝子診断、遺伝子治療、動物のゲノム解読				
18							
19	メンデルの法則に従わない遺伝		不完全優性、伴性遺伝、限性遺伝、核外遺伝（母性遺伝）、致死遺伝子				
20							
21	遺伝子の変異と修復、その病気・老化・遺伝との関連		染色体突然変異、遺伝子突然変異、変異の原因と修復、変異と病気・老化、遺伝病、ウイルスの変異、【トピック】新型コロナウイルスの変異株って何？				
22							
23	病気の分子遺伝学（遺伝性疾患）		がんと細胞周期・がん遺伝子、単一遺伝子疾患、染色体異常、多因子性遺伝病、繁殖に伴う遺伝的問題（近親交配、遺伝性疾患、発生異常）				
24							
25	遺伝学的検査		遺伝子検査（目的と応用例）、遺伝子検体の採取及び取扱い、ゲノム解析				
26							
27	分子遺伝学のバイオテクノロジーへの応用		遺伝子のクローニング、遺伝子工学、組換え DNA 実験等に関する法規制、疾患モデル動物				
28							

※学年を 2 つのグループ（飼育班）に分け、隔週交代で実施する。

※通年実施の 30 時間で、1 単位の認定となる。

科 目		担 当		実務経験				
掃除学		高木弘和		有	本学院教頭			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			後期	講義・実技	必修	15※	1※
授業目標	・ 予防医学の見地からも掃除は重要であることを認識し、汚れの種類と洗剤選びから基本動作と道具等まで掃除の基本を学ぶ。							
授業概要	・ 動物関係のみならず様々な場面での掃除の重要性を学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はCとなる。							
教 材 参考書	・ 講師配付資料							
授業計画	毎週火曜日	1 限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1	教室・更衣室等の掃除方法について		A	ディスカッションと実践				
B			〃					
3	ラウンジ・実習室・トイレ・廊下の掃除方法について		A	ディスカッションと実践				
B			〃					
5	トリミングルーム・トレーニングルーム・廊下・トイレの掃除方法について		A	ディスカッションと実践				
B			〃					
7	教室・更衣室等の掃除方法について		A	ディスカッションと実践				
B			〃					
9	ラウンジ・実習室・トイレ・廊下の掃除方法について		A	ディスカッションと実践				
B			〃					
11	トリミングルーム・トレーニングルーム・廊下・トイレの掃除方法について		A	ディスカッションと実践				
B			〃					
13	まとめ		A	ディスカッションと実践				
B			〃					

※学年を2つのグループ（飼育班）に分け、隔週交代で実施する。

科 目		担 当		実務経験				
飼育実習Ⅰ		井上竜一 後藤翔太		有	統一認定動物看護師 専任教員 統一認定動物看護師 飼育動物担当			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			前期	実習	必修	75※	2.5
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
					50 点		50 点	
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材 参考書	・講師配付資料							
授業計画	月曜日～金曜日		1 限目	9：10～10：40				
回	テーマ		授業内容					
1-3								
4-6								
7-9								
10-12								
13-15								
16-18								
19-21								
22-24								
25-27								
28-30								
31-33								
34,35								

※通年（150 時間）を前後期 2 分割で表示。また、土・日の飼育当番の出席も評価対象となる。

科 目		担 当	実務経験					
飼育実習Ⅱ		井上竜一 後藤翔太	有	統一認定動物看護師 専任教員 統一認定動物看護師 飼育動物担当				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
1 年	全学科共通		後期	実習	必修	75※	2.5※	
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
					50 点	50 点		
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材 参考書	・講師配付資料							
授業計画	月曜日～金曜日		1 限目	9：10～10：40				
回	テーマ		授業内容					
1-3								
4-6								
7-9								
10-12								
13-15								
16-18								
19-21								
22-24								
25-27								
28-30								
31-33								
34,35								

※通年（150 時間）を前後期 2 分割で表示。また、土・日の飼育当番の出席も評価対象となる。

科 目		担 当		実務経験				
英会話		兵藤陽子		有	英会話スクール代表 アメリカ語学留学卒業 後英会話スクール開業			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			前期	講義	必修	15※	1※
授業目標	・海外研修において、そこで出会う人々との意思疎通を図ることができ、コミュニケーション力をアップさせるための実用英会話を身につける。							
授業概要	・海外研修準備のために専門的な語学習得も含む。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・新ペットビジネス英会話（エデュワードプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週木曜日	1 限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1	自己紹介&相手のことを知ろう		A	自己紹介を通して、自分の事を相手に伝え、その相手の好きな事や得意な事も聞き取る。				
B			〃					
3	ペットや飼育動物について話そう		A	ペットや飼育動物についての特徴を相手に伝える。				
B			〃					
5	自分の体調を伝えよう		A	自分の体調や症状を相手に話し、辛さを伝えられるようにする。				
B			〃					
7	探している物、欲しい物を伝えよう		A	ペットグッズや自分の欲しい物を相手に伝える。				
B			〃					
9	お土産の準備をしよう		A	ホストファミリーへのお土産はどんなものが良いか考え、使い方を伝える。				
B			〃					
11	食べたい物をオーダーしよう		A	レストランやカフェに入った時に、スムーズにオーダーできるようになる。				
B			〃					
13	その他の表現を学ぼう&復習		A	その他、海外研修中に出くわすであろう場面を想定し、必要表現を学ぶ。これまでの復習				
B			〃					

※学年を2つのグループ（飼育班）に分け、隔週交代で実施する。

※半期（15 時間）で1 単位の認定となる。

科 目		担 当		実務経験				
パソコン		小山房子		有	ソフトウェア開発販売会社専務 事業活動歴は 20 年			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			後期	講義・実技	必修	15※	1※
授業目標	・各種業務で使用頻度の高いソフトウェア（ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト）の基本操作を習得する。							
授業概要	・基本的なソフトウェアの基本的な操作法を学び、Word、Excel 検定試験のための技術習得を目指す。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が 3 分の 2 以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・（オリジナル教材）PowerPoint 基礎、Word 基礎、Excel							
授業計画		毎週木曜日	1 限目	9：10～10：40				
回	テーマ		授業内容					
1	プレゼン（PPT）1		A	文字入力、スライドの追加、画像・表・グラフの挿入				
B			〃					
3	プレゼン（PPT）2		A	デザインの設定、アニメーション効果、スライド切り替え効果、プレゼンテーションの実行				
B			〃					
5	ワープロ（Word）1		A	ページ設定、入力・変換、書式設定				
B			〃					
7	ワープロ（Word）2		A	表の作成・編集				
B			〃					
9	表計算（Excel）1		A	データ入力の基礎、印刷、計算式の入力、表示形式・列幅・表示位置・書式の変更				
B			〃					
11	表計算（Excel）2		A	関数基礎（合計、平均、最大、最小、件数）、相対参照・絶対参照、罫線				
B			〃					
13	表計算（Excel）3		A	グラフの作成・編集（棒、円、折れ線）、関数応用（条件判定、順位付け、検索）				
B			〃					

※学年を2つのグループ（飼育班）に分け、隔週交代で実施する。

※半期（15 時間）で1単位の認定となる。

科 目		担 当		実務経験				
ビジネスマナーⅠ		福田由吏		有	マナー、キャリア支援会社代表 短大卒業後 航空会社で客室乗務員フロアコーディネーターとして勤務 専門学校講師			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			前期	講義・実技	必修	15※	1※
授業目標	・ビジネスマナーの講義を通じて、ビジネスの場で必要な基礎知識と技能を身につけ、実践できるようにする。また、インターンシップや就職面接を想定したロールプレイングを行い、社会人へ向けた準備を整える。							
授業概要	・動物業界のみならず、様々な場面におけるビジネスマナーを修得する。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材	・院内コミュニケーション【基礎知識編】（エデュワードプレス） ・コミュニケーション・マナー＆キャリア・ガイダンス第3版（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週金曜日	1 限目		9：10～10：40				
回	テーマ		授業内容					
1	マナーとは？身だしなみの基本		A	なぜマナーを学ぶのか？社会人の心得、基本スタイル、整理整頓、挨拶、豊かな表情の作り方				
B			〃					
3	名刺を作ろう		A	名刺制作、名刺交換、自己紹介				
4			B	〃				
5	就職活動の進め方①		A	インターンシップ前の心構え、自己分析、自己紹介、志望動機				
6			B	〃				
7	就職活動の進め方②		A	履歴書の書き方、アポイントの取り方、フィールドワーク				
8			B	〃				
9	ビジネスの場における立ち居振る舞い①		A	聞く力、話す力、マジックフレーズ				
10			B	〃				
11	ビジネスの場における立ち居振る舞い②		A	第一印象、職場での言葉遣い、敬語の使い方				
12			B	〃				
13	就職活動の進め方③		A	面接、想定質問例				
14			B	〃				

※学年を2つのグループ（飼育班）に分け、隔週交代で実施する。

※半期（15 時間）で1 単位の認定となる。

科 目		担 当	実務経験					
ライセンス対策Ⅰ		西島信彦 (統一認定動物看護師)	有	本校勤務歴 10 年				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
1 年	全学科共通		後期	講義	必修	15※	1※	
授業目標	・動物愛護社会化検定基礎級、家庭犬インストラクター、コミュニケーション検定、日本ペットビジネススクール協会等の資格試験対策。							
授業概要								
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・各検定の過去問							
授業計画	毎週金曜日	1 限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1	動物愛護社会化検定基礎級		A	過去問題、解答、解説				
2			B	〃				
3	〃		A	〃				
4			B	〃				
5	家庭犬インストラクター		A	〃				
6			B	〃				
7	〃		A	〃				
8			B	〃				
9	コミュニケーション検定		A	〃				
10			B	〃				
11	〃		A	〃				
12			B	〃				
13	ドッグ検定		A	〃				
14			B	〃				

※学年を2つのグループ（飼育班）に分け、隔週交代で実施する。

※半期（15 時間）で1単位の認定となる。

科 目		担 当		実務経験						
トリミング実習Ⅰ		長倉絵里花 (JKC 認定トリマー) 橋本沙耶 (PBS 認定トリマー)		有	ペットショップペリート代表 学院専任教員、教員暦 5 年					
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位		
1 年	全学科共通			前期	実習	必修	60	2		
授業目標	・シャンプーからカットまでを学び、犬猫による特徴を強調する技術を理解し、実践力を身につける。犬、猫の長所と短所を見抜き個々の魅力を最大限に引き出すことを学ぶ。									
授業概要	・トリミングの手技とともに、取扱い動物のボディチェックやバイタルサインの確認の習得も併せて行う。									
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	20 点		80 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。									
教 材 参考書	・DOG GROOMING BOOK New Edition（エデュワードプレス）									
授業計画		毎週水曜日	1 限目	9：10～10：40		2 限目	10：50～12：20			
			3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30			
回	テーマ			授業内容						
1	グルーミング備品、シャンプー・			講義（グルーミング備品の名称使用法）						
2	リンスの種類、シザー等について									
3	グルーミングの流れ、注意点、バリ			グルーミングのデモンストレーション（ダックス）						
4	カンについて									
5	グルーミング概論、イヌ種概論・			講義（グルーミングの目的、効果、専門用語など）						
6	種類、ネコ種概論・種類、グルー			（イヌの種類・特徴、ネコの種類・特徴）						
7	ミング実習									
8	モデル犬家庭犬によるグルーミン			実習						
9	グ実習									
10	〃			〃						
11	〃			〃						
12	〃			〃						
13	〃			〃						
14	〃			〃						
15	〃			〃						
16	〃			〃						
17	〃			〃						
18	〃			〃						
19	〃			〃						
20	〃			〃						
21	〃			〃						
22	〃			〃						
23	〃			〃						
24	〃			〃						
25	まとめ試験			〃						
26	〃			〃						
27	〃			〃						
28	〃			〃						

※学年を2つのグループ (飼育班) に分け、午前・午後入れ替わりで実施する。

科 目		担 当		実務経験				
トリミング実習Ⅱ		長倉絵里花 (JKC 認定トリマー) 橋本沙耶 (PBS 認定トリマー)		有	ペットショップペリート代表			
		学院専任教員、教員暦 5 年						
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
1 年	全学科共通			後期	実習	必修	60	2
授業目標	・ シャンプーからカットまでを学び、犬猫による特徴を強調する技術を理解し、実践力を身につける。犬、猫の長所と短所を見抜き個々の魅力を最大限に引き出すことを学ぶ。							
授業概要	・ トリミングの手技とともに、取扱い動物のボディチェックやバイタルサインの確認の習得も併せて行う。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度	
	20 点		80 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・ DOG GROOMING BOOK New Edition（エデュワードプレス）							
授業計画	毎週水曜日	1 限目	9：10～10：40		2 限目	10：50～12：20		
		3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30		
回	テーマ			授業内容				
1	モデル犬家庭犬によるグルーミング実習			実習				
2								
3	〃			〃				
4	〃			〃				
5	〃			〃				
6	〃			〃				
7	〃			〃				
8	〃			〃				
9	〃			〃				
10	〃			〃				
11	〃			〃				
12	〃			〃				
13	〃			〃				
14	〃			〃				
15	〃			〃				
16	〃			〃				
17	〃			〃				
18	〃			〃				
19	〃			〃				
20	〃			〃				
21	〃			〃				
22	〃			〃				
23	〃			〃				
24	〃			〃				
25	まとめ試験			〃				
26	〃			〃				
27	〃			〃				
28	〃			〃				

※学年を2つのグループ（飼育班）に分け、午前・午後入れ替わりで実施する。

二年次科目

—動物看護学科—

科 目		担 当		実務経験				
動物形態機能学Ⅲ		北島眞実子 (獣医師)		有	大学卒業後動物病院に 10 年間勤務し獣医療に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通			前期	講義	必修	30	1
授業目標		・血液の働き、成分、循環にかかわる形態と機能について学ぶ。生物は、細胞によって構成されているが、細胞は、エネルギーによって活動できる。そのエネルギーは、酸素及び栄養成分によって得られる。これらの成分は、血液を介して全身に送られている。この血液の役割を理解することを目的とする。						
授業概要		・(血液学)						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材		・動物看護コアテキスト第3版 第1巻 基礎動物学Ⅰ (ファームプレス) ・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学 (ファームプレス) ・講師配付資料						
参考書								
授業計画		毎週火曜日	1 限目		9 : 10～10 : 40			
回	テーマ		授業内容					
1	血液の働き		血液成分と働き					
2	赤血球の形態と働き		赤血球の形態と種類、網状赤血球					
3	赤血球の寿命と評価		赤血球の老化と寿命、赤血球の評価及び疾患					
4	白血球の種類と働き		白血球の種類と役割、白血球の疾患					
5	その他の血液成分と役割 ①血小板、②血漿		血小板、血漿					
6	その他の血液成分と役割 ①無機塩類、②血漿タンパク質		無機塩類、血漿タンパク質					
7	血液に関する臓器と組織 1		心臓の形態と心電図					
8	血液に関する臓器と組織 2		血液循環とリンパ系循環					
9	血液凝固		血液凝固、止血					
10	血液型 血液型とは：イヌとネコの血液型		血液型					
11	血液型 白血球型と血漿タンパク質型		MHC					
12	輸血について 1		イヌとネコの輸血					
13	輸血について 2		クロスマッチテスト					
14	まとめ		血液に関する問題を中心に					

科 目		担 当		実務経験				
動物形態機能学Ⅳ		芝田猛 (農学博士)		有	東海大学名誉教授、農学部長、大学教授として 40 年勤務			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・動物が自然界で生きてゆくためには、外部環境から自らを防衛しなければならない。そのためには皮膚での物理的な防御に加え、体内では異物を排除するための免疫機能が備わっている。動物では、複雑な免疫システムが発達しており、近年も様々な機能が明らかにされてきている。一方、アレルギーなどの過剰反応も生ずる。ここでは免疫の基本的な仕組みを理解し、動物看護の一助とすることを目的としている。							
授業概要	・(免疫学) ・炎症と免疫の機序とアレルギーや自己免疫性疾患についても学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第1巻 基礎動物学Ⅰ（ファームプレス） ・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学（ファームプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1	炎症		炎症の五大主徴、関連する細胞					
2	免疫とは；体を守る仕組み		止血、皮膚、身体を守る					
3	免疫器官と免疫細胞		白血球の種類、体の免疫器官					
4	自然免疫系による防御		自然免疫系とは					
5	獲得免疫系（体液性免疫）		体液性免疫の仕組み					
6	抗体の種類と構造		免疫グロブリン					
7	獲得免疫系（細胞性免疫）		細胞性免疫の仕組み					
8	サイトカインについて		サイトカインの役割、インターロイキン					
9	免疫の応用と受動免疫		ワクチン感染症の制御、新生子の免疫・抗体の移行					
10	アレルギーの仕組み		免疫応答の異常					
11	抗体とアレルギーの遺伝		免疫に関する遺伝子について					
12	自己免疫疾患と免疫不全							
13	移植と拒絶反応							
14	免疫によるがん治療およびまとめ		免疫に関する問題を中心として					

科 目		担 当		実務経験				
動物臨床栄養学Ⅱ		津田圭子 (獣医師)		有	大学卒業後国、県、民間等に約 20 年勤務し 公衆衛生研究部門に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・ 六大栄養素を理解する。犬猫の必要栄養素の違いを理解する。ペットフードの表記を理解する。ライフステージの違いを理解する。BCS 評価及びカロリー計算ができるようにする。							
授業概要	・ 基礎栄養素および主に犬猫に必要な栄養素、ペットフードの基本的な知識と特別療法食の特性など個体に合った。適切な食事管理についての知識を身につける。またペットフードの市場について考察する。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第2巻 基礎動物学Ⅱ (ファームプレス) ・ 動物栄養学 (エデュワードプレス) ・ √ルート計算の出来る電卓を各自用意 ・ 講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週月曜日	2 限目		10：50～12：20				
回	テーマ		授業内容					
1	消化器病		膵臓の疾患とその食事管理、大腸の吸収の仕組み、大腸の疾患とその食事管理					
2	腎臓病		慢性腎臓病の食事の与え方					
3	肝臓病		肝臓病の栄養管理、肝臓病とその食事管理					
4	糖尿病		糖尿病の仕組みとその症状、糖尿病の食事管理					
5	食物アレルギー		食物アレルギーの原因と症状、食物アレルギーの仕組み、食物アレルギーの食事管理					
6	〃		食物アレルギーの食事管理、その他の皮膚疾患					
7	がん		がんの栄養管理、がんの食事の与え方					
8	脳の加齢と認知障害、肥満							
9	甲状腺機能亢進症		甲状腺機能亢進症の仕組みと症状、甲状腺機能亢進症の食事管理					
10	嗜好性							
11	ペットフードの管理		ペットフードに関する規則					
12	医療面接の目的		コミュニケーションの基本、栄養指導面接の基本的な流れ					
13	小テスト							
14	小テスト							

科 目		担 当		実務経験				
比較動物学Ⅰ		本田公三 (獣医師)		有	大学卒業後地方自治体において動物園、公衆衛生分野に勤務			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通			前期	講義	必修	30	1
授業目標		・日本（世界）の野生動物の種類と生息環境と保全の概況について学ぶ。 ・外来生物が在来種に及ぼす影響や対策について学ぶ。						
授業概要		・動物園・水族館等の展示動物についてその意義や役割及び課題について学ぶ。歴史や、社会との関わりについて理解を深める。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はCとなる。							
教 材		・動物看護コアテキスト第3版 第2巻 基礎動物学Ⅱ（ファームプレス） ・講師配付資料						
参考書								
授業計画		毎週火曜日	2 限目		10：50～12：20			
回	テーマ		授業内容					
1	野生動物の定義		野生動物と家畜の違いについて					
2	野生動物の種類と生息分布		日本生息する野生動物について学ぶ					
3	野生動物の食性		野生動物の地理的生息環境について学ぶ					
4	外来生物		人によって持ち込まれた自然分布域以外の地域に移動させられた生物について学ぶ。					
5	展示動物の定義		展示動物の基本的な考え方や種類、繁殖、修正飼育について学ぶ					
6	鳥獣害		野生鳥獣による農林水産物への被害と対策					
7	〃		〃					
8	保全		生息環境や種の保存の取り組み状況と展望					
9	〃		〃					
10	絶滅危惧種とレッドリスト		絶滅あるいは絶滅が危惧される野生動物の状況					
11	〃		〃					
12	動物園・水族館の役割		動物園や水族館の役割や今後の展望					
13	まとめ							
14	まとめ							

科 目		担 当	実務経験					
動物看護関連法規		笠場孝一 (獣医師)	有	大学卒業後、地方自治体において公衆衛生行政に 40 年間従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科		前期	講義	必修	30	1	
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第2巻 基礎動物学Ⅱ（ファームプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週水曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1	法規の概念①②		法律や条約等についてその体系や理念を知る。					
2	動物看護師を取り巻く獣医療関連法規のアウトラインについて①② 動物看護師の職域に関連する法規①（獣医師法）		獣医療を取り巻く法律全般について 獣医師法について理解する。					
3	動物看護師の職域に関連する法規②③④（獣医師法、獣医療法）		獣医師法について理解する。 獣医療法について理解する。					
4	動物愛護及び管理に関する法律①②		法における責務と規制事項について理解する。 動物福祉と人との共生との観点から、適切な飼育法を飼主に指導できるようにする。					
5	動物愛護及び管理に関する法律③ 関連法律（ペットフード安全法） 身体障害者補助犬法		愛玩動物の健康の確保のための試料の安全性の確保に関する法律について学ぶ。 動物福祉と人との共生の観点から、身体障害者補助犬法において動物看護師が理解を深めておくべき部分を学ぶ。					
6	狂犬病予防法①②		狂犬病予防法を知り、法における責務と規制事項を理解する。					
7	家畜衛生行政関連法規①② （家畜伝染病予防法）		法の理念と目的を学び家畜防疫について理解を深める。					
8	公衆衛生行政関連法規①② （食品衛生法、と畜場法、食鳥検査法、水道法、下水道法など）		国民生活に関連した各種公衆衛生関連の法律について学習する。					
9	薬物関連法規①②（薬事法）		薬事法について学ぶ。					
10	環境行政関連法規①②（産業廃棄物法概論、医療廃棄物について）		動物医療現場から排出される廃棄物の体系について理解する。 廃棄物の種類とその取扱いについて理解する。					
11	野生動物にかかわる関係法令①②		鳥獣保護及び狩猟の適正化に関する法律、ワシントン条約関連の野生動物に係る一連の法律と条約を理解する。					
12	社会人とし知っておく必要のある法律①民法		民法の概略、各種申請業務、計約業務に関連する法律について					
13	動物看護師のための法律①②		獣医療技術者としての動物看護師の位置づけ					
14	総まとめ		動物看護師の位置づけと法律についてのまとめ					

科 目		担 当		実務経験				
動物愛護・適正飼養関連法規		釜場孝一 (獣医師)		有	大学卒業後、地方自治体において公衆衛生行政に 40 年間従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物看護学科			後期	講義	必修	30	1
授業目標								
授業概要								
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が 3 分の 2 以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90) 、A (89～80) 、B (79～70) 、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第 3 版 第 2 巻 基礎動物学Ⅱ (ファームプレス) ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週水曜日	2 限目	10 : 50～12 : 20					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験			
動物薬理学 I		仁木隆博 (農学博士)	有	東海大学名誉教授、農学博士、大学教授として 40 年勤務			
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物看護学科		後期	講義	必修	30	1
授業目標	・薬の作用機序とその有害作用ならびに獣医療現場で使用される主な薬剤の特性について学び、薬剤を正しく取り揃えられることを目標とする。さらに、薬理作用と薬物代謝の仕組みおよび薬の有害作用機序や中毒を理解し、獣医療現場で使用される薬剤の特性について習得する。						
授業概要	・薬理の作用機序と神経系消化器系呼吸器系循環器系に作用する薬剤動態について学ぶ。						
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度		出席状況	
	100 点						
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。						
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学 (ファームプレス) ・講師配付資料						
参考書	・愛玩動物看護師の教科書第3巻 基礎動物看護学 (緑書房)						
授業計画	毎週水曜日 1 限目 9 : 10～10 : 40						
回	テーマ		授業内容				
1	薬理治療の概念と目的／医薬品の分類と法規		薬理学についての概念および薬物の剤形など薬理学を学ぶ上で必要な基礎知識を学習する。				
2	新薬の開発課程		新薬の開発のための様々な試験について学習する。				
3	薬理作用とその発現機構		体内での薬理作用およびその効果発現までのプロセスの違いによる薬の種類について学習する。				
4	薬の作用点と受容体／薬物の化学的性質、剤形と投与方法		薬が特異的に結合する受容体とは何か？や薬の形状の種類およびその投与方法について学習する。				
5	生体内での薬物の動態		体内における薬物の動態(吸収、分布、代謝、排泄)のプロセスについて学習する。				
6	薬効に影響を与える因子／有害作用の分類と機序、動物種差		薬の効果を左右する要因や薬の有害作用の種類およびその機序について学習する。				
7	神経系に作用する薬物 ～麻酔薬		獣医療で使用する神経系薬物に関して、全身麻酔薬および局所麻酔薬について学習する。				
8	～鎮痛薬		獣医療で使用する神経系薬物に関して、鎮痛薬について学習する。				
9	～運動神経系に作用する薬		獣医療で使用する神経系薬物に関して、筋弛緩薬について学習する。				
10	～鎮静薬と抗けいれん薬など		獣医療で使用する神経系薬物に関して、鎮静薬および抗けいれん薬などについて学習する。				
11	呼吸器系に作用する薬物		獣医療で使用する呼吸器系薬物に関して、呼吸興奮薬、鎮咳薬、去痰薬などについて学習する。				
12	循環器・泌尿器に作用する薬物 ～血管拡張薬と心不全治療薬		獣医療で使用する循環器・泌尿器に作用する薬物に関して、血管拡張薬と心不全治療薬を学習する。				
13	～抗不整脈薬と利尿薬		獣医療で使用する循環器・泌尿器に作用する薬物に関して、抗不整脈と利尿薬について学習する。				
14	総まとめ		授業ノートを確認し、各自で重要な部分を認識しながら復習し、質疑応答を加えより深い習得に繋げる。				

科 目		担 当	実務経験					
動物感染症学Ⅱ		仁木隆博 (農学博士)	有	東海大学名誉教授、農学博士、大学教授として 40 年勤務				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科・動物管理学科管理コース		前期	講義	必修	30	1	
授業目標								
・「動物感染症学」で学んだ個々の動物の生命と健康の維持に障害を及ぼす病原体の知識を基に、これらの病原体によって引き起こされる感染症をどのように予防するかを考える。その中でワクチンについても理解し、動物の健康を維持できる管理方法に関する知識を身に付ける。また、感染症の予防の重要性を学ぶことによって、飼い主に対する適切なアドバイスが可能となる。								
授業概要								
・（病原体・衛生管理） ・病原体、感染防御、ワクチネーションの機序について学ぶ。								
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度		出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材								
・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学（ファームプレス） ・講師配付資料								
参考書								
・愛玩動物看護師の教科書第3巻 基礎動物看護学（緑書房）								
授業計画		毎週金曜日	1 限目	9：10～10：40				
回	テーマ		授業内容					
1	感染症の成立、細菌および真菌、ウイルス		動物病原体とは何か ①感染症の成立、②感染源					
2	人獣共通感染症		新興・再興感染症および人獣共通感染症 ①新興感染症とは、②再興感染症とは、③人獣共通感染症（ズーノーシス）					
3	感染症の制御、院内感染等の防止		感染症の予防 ①感染症が成立する 3 つの要因、②感染を成立させない方法					
4	動物防疫学、ワクチンと予防		宿主の感染防御 ①感染症の防御、②ワクチンの利用					
5	ワクチンと予防、接種プログラム、接種時期		ワクチン接種の重要性 ①ワクチン接種についての理解、②動物種による違い、③接種時期					
6	ワクチンと予防、ワクチンの種類、ワクチネーションに影響する因子		ワクチネーション ①ワクチネーションの特性、②不活化ワクチンと生ワクチン、③ワクチンの効果に影響を与える要因					
7	中間まとめ		1～6 回の授業内容について理解度を確認する。					
8	接種プログラム、イヌとネコのワクチネーション		コアワクチンとノンコアワクチン(1) ①WSAVA ガイドラインのポイント、②イヌのコアワクチンとノンコアワクチン					
9	イヌとネコのワクチネーション、イヌとネコのワクチン		コアワクチンとノンコアワクチン(2) ①ネコのコアワクチンとノンコアワクチン、②イヌとネコの混合ワクチン					
10	接種プログラム		イヌのワクチネーションプログラム					
11	〃		ネコのワクチネーションプログラム					
12	イヌとネコのワクチンおよび診断薬		ワクチンの開発、製造および品質管理					
13	寄生虫病		寄生虫症の予防					
14	総まとめ		授業ノートを確認し、各自で重要な部分を認識しながら復習し、質疑応答を加えより深い習得に繋げる。					

科 目		担 当		実務経験				
動物感染症学Ⅲ		石井実生 (獣医師)		有	大学卒業後動物病院に勤務 20 年間獣医療に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・動物をとりまく環境と寄生虫の関係について理解し、寄生虫の生物学的な特徴や寄生虫症についての基礎知識を修得する。主にイヌ、ネコに寄生する内部、外部の寄生虫の感染経路、病害発生の機序、検査法を学び、飼主に寄生虫感染の予防の大切さを伝えられるようにする。							
授業概要	・（寄生虫学） ・外部寄生虫、内部寄生虫、人獣共通感染症となる寄生虫病に関すること診断と予防および治療について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学（ファームプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週火曜日		3 限目		13：20～14：50			
回	テーマ			授業内容				
1	寄生虫学総論①			寄生虫とは				
2	〃 ②			寄生虫の生活環と病害性				
3	犬猫の内部寄生虫①			原虫類				
4	〃 ②			線虫類				
5	〃 ③			条虫類				
6	〃 ④			吸虫類				
7	犬猫の外部寄生虫①			ダニ類				
8	〃 ②			昆虫類				
9	その他の寄生虫			エキゾチックアニマル、家畜				
10	人獣共通感染症			人間と動物に感染する寄生虫				
11	診断と予防			検査方法				
12	駆除薬			駆除薬の種類、効果				
13	テスト			ペーパーテスト				
14	テスト			ペーパーテスト				

科 目		担 当	実務経験					
公衆衛生学Ⅰ		笠場孝一 (獣医師)	有	大学卒業後地方自治体において公衆衛生行政に 40 年間従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科・動物管理学科管理コース		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・公衆衛生の基本的な考え方を理解し、国民の健康増進、動物福祉、環境保全などに活かせる知識を身につける。 ・おもな人獣共通感染症、動物由来の人獣感染症の種類と病害発生の機序を理解する。また、滅菌、消毒の違いと、それぞれの処置方法を学ぶ。さらに国内外を問わず、動物輸送時や受入れの際に必要な知識を身につける。							
授業概要	・公衆衛生概論、人獣共通感染症、防疫消毒法について学ぶ。							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度		出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学（ファームプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週金曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1	公衆衛生学概論①		動物看護と公衆衛生の関係性を考え、公衆衛生の定義と目的及び活動を理解する。					
2	〃 ②		〃					
3	人獣共通感染症① 人獣共通感染症とは 伝搬様式、予防対策		人獣共通感染症の定義と現状を知る。新興と再興感染症の発生要因を知る。人獣共通感染症動物から人への感染様式と予防対策について学ぶ。					
4	〃 ②		〃					
5	〃 ③ 動物由来の主な人獣共通感染症 ウイルスによる人獣共通感染症		イヌ、ネコ、サル類、げっ歯類の人獣共通感染症にはどのようなものがあるかを学ぶ。 ウイルスの概要と性状について学ぶ。					
6	〃 ④		〃					
7	〃 ⑤ ウイルスによる人獣共通感染症		ウイルスによる主な人獣共通感染症の概要や症状、治療・予防法の説明ができるようにする。					
8	〃 ⑥		〃					
9	〃 ⑦		〃					
10	〃 ⑧		ウイルスとプリオンによる主な人獣共通感染症の概要や症状、治療・予防法の説明ができるようにする。					
11	〃 ⑨ 細菌による主な人獣共通感染症		細菌の概要と性状、症状、治療・予防法について説明できるようにする。					
12	〃 ⑩		〃					
13	〃 ⑪ 細菌による主な人獣共通感染症		細菌による人獣共通感染症の概要や症状、治療・予防法の説明ができるようにする。サルモネラ症 等					
14	〃 ⑫		〃					

科 目		担 当	実務経験					
動物内科看護学Ⅱ		池上美紀 (統一認定動物看護師)	有	高校卒業後動物病院に勤務し動物医療に従事、専門学校講師				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	全学科共通		前期	講義	必修	30	1	
授業目標	・ チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学習する。また、治療方針の理解度を深め、動物看護に必要な疾病について学習する。特有の検査や動物看護に必要な知識を学び、動物看護を実践できるよう知識を身に着ける。疾患によっては好発種や好発年齢があるので、そのポイントを把握したうえで、各症状を理解し、動物への看護法を身につける。概論として、バイタルサインや BCS についても学ぶ。							
授業概要	・ 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬輸液輸血について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・ 犬の骨格標本、犬の筋肉標本、組織プレパラート、顕微鏡等							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	4 限目	15：00～16：30					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当	実務経験					
動物内科看護学Ⅲ		池上美紀 (統一認定動物看護師)	有	高校卒業後動物病院に勤務し動物医療に従事、専門学校講師				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	全学科共通		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・ チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学習する。また、治療方針の理解度を深め、動物看護に必要な疾病について学習する。特有の検査や動物看護に必要な知識を学び、動物看護を実践できるよう知識を身に着ける。疾患によっては好発種や好発年齢があるので、そのポイントを把握したうえで、各症状を理解し、動物への看護法を身につける。概論として、バイタルサインや BCS についても学ぶ。							
授業概要	・ 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬輸液輸血について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・ 犬の骨格標本、犬の筋肉標本、組織プレパラート、顕微鏡等							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	4 限目	15：00～16：30					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当	実務経験					
動物臨床看護学各論Ⅱ		中村あゆみ (統一認定動物看護師)	有	高校卒業後動物病院に 20 年間勤務し動物医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	全学科共通		前期	講義	必修	30	1	
授業目標	・様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供するべきか、評価と介入の方法を修得する。							
授業概要	・消化器、呼吸器系、循環器、生殖器、造血器、免疫介在性疾患等についてその機序評価治療等について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス） ・動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週月曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1	消化器系疾患		消化器疾患の発生器所と病態					
2	〃		消化器疾患の療法職					
3	呼吸器系疾患		主な疾患と症状					
4	〃		検査法と看護のポイント					
5	循環器系疾患		主な疾患名と症状					
6	〃		検査法と看護のポイント					
7	まとめ							
8	泌尿器系疾患		全身状態と排尿異常					
9	〃		疾患名および検査について					
10	繁殖・生殖器・新生子の疾患		繁殖（雌の発情、妊娠、分娩）と疾患について					
11	〃		〃					
12	造血器・免疫介在性疾患		免疫介在性溶血性貧血（IMHA）腎性貧血等					
13	救急疾患		基本的知識を学び、看護に展開させる					
14	まとめ							

科 目		担 当	実務経験					
動物医療コミュニケーション		白石史絵 (統一認定動物看護師)	有	動物病院看護師長、専門学校講師				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・動物関連業界に適した思いやりを基本とし、受付業務、院内コミュニケーション、電話対応を身につける。受付、クライアントコミュニケーションは受付で発生する飼主対応、接遇を学ぶ。初診時、再診時の状況に応じた飼主対応、社会人としての電話応対、精算、会計業務が正確にできる。在庫管理や備品管理、顧客管理などを学ぶ。スタッフとの間でクライアントと状況に応じたコミュニケーションを身につける。身だしなみ、表情、行動（態度）、挨拶、会話、報告、連絡、相談が確実にでき、チームワークに寄与できるよう学ぶ。							
授業概要	・受付接遇、会話テクニック会計業務、電話対応、スタッフコミュニケーションについて実践をとおして学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はCとなる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス） ・動物看護学実習テキスト（エデュワードプレス）							
参考書	・院内コミュニケーション【基礎知識編】（エデュワードプレス）							
授業計画	毎週木曜日		1 限目 9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1	第一印象、マナー		身だしなみ、笑顔、接遇の基本					
2	会話テクニック		話す力、聞く力					
3	スタッフコミュニケーション		相手を知る、自分を知る					
4	受付、待合室での対応		初診、問診、待合室での対応					
5	会計業務		迅速、丁寧、確実な対応					
6	電話対応①		音声表現スキルの向上、信頼につながる対応					
7	〃 ②		ロールプレイ					
8	クレーム対応		不快感情の飼い主様の対応					
9	深刻な場での対応		安楽死、訃報時、面会時の対応					
10	外部対応		来客に対するビジネスマナー					
11	スタッフコミュニケーション		チーム医療、報告連絡、相談					
12	〃		チームロールプレイ					
13	まとめ		復習					
14	〃		〃					

科 目		担 当	実務経験					
愛玩動物学Ⅱ		本田公三 (獣医師)	有	動物園長、専門学校教職4年				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2年	全学科共通		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・兎、モルモット、ハムスター、マウス、ラットおよび鳥類などの歴史、特徴、習性、繁殖、飼育管理などについて学ぶ。また最近わが国で飼育されている各種の愛玩動物についても取り上げる。飼育方法にもふれる。							
授業概要	・エキゾチックアニマルの家畜化の歴史と種類、習性と飼育管理法について学ぶ。							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし、評価はCとなる。							
教 材 参考書	・動物看護コアテキスト第3版 第6巻 愛護・適正飼養学（ファームプレス） ・講師配付資料							
授業計画	毎週月曜日	1限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1	授業ガイダンス		エキゾチックアニマルの定義と飼育上の問題点を考える。					
2	ウサギ①		ウサギの生態、疾病と検査法について理解し、飼育・看護に活かす。					
3	ウサギ②		ウサギの検査時、診察時の保定法を学ぶ。					
4	ハムスター①		ハムスターの生態、疾病と検査法について理解し、飼育・看護に活かす。					
5	〃 ②		ハムスターの検査時、診察時の保定法を学ぶ。					
6	フェレット		フェレットの生態、疾病と検査法について理解し、飼育・看護に活かす。					
7	モルモット①		モルモットの生態、疾病と検査法について理解し、飼育・看護に活かす。					
8	〃 ② 確認テスト		・モルモットの疾病と看護について学ぶ。 ・ウサギ、ハムスター、フェレット、モルモットについて理解ができたかを確認する。					
9	小鳥①		小鳥の生態と検査時、診察時の保定法について学ぶ。					
10	〃 ②		小鳥の解剖学的特徴と疾病を理解する。					
11	大型インコ		大型インコ類の生態や習性理解する。					
12	猛禽類		猛禽類の生態、保定法、疾病について理解する。					
13	爬虫類		爬虫類の生態、保定法、疾病について理解する。					
14	両生類 確認テスト		・両生類の生態や習性について学ぶ。 ・ウサギ、ハムスター、フェレット、モルモット、小鳥、両生類、爬虫類について理解できたかを確認する。					

科 目		担 当	実務経験					
人と動物の関係学		井上竜一 (統一認定動物看護師)	有	大学専門学校卒業後教職として専門学校勤務 8年従事、専門学校講師				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科・動物管理学科管理コース		前期	講義	必修	30	1	
授業目標	・人と動物の絆（HAB）の理念と動物介在活動（AAA）動物介在教育（AAE）および動物介在療法（AAT）などの社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与する。HAB による人間と動物にもたらす影響とその目的を理解し、AAA・AAE・AAT の理念と目的を学ぶ。							
授業概要	・科動物の家畜化の歴史、人との絆、介在活動、介在教育、介在療法等について学ぶ。							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・動物看護コアテキスト第3版 第6巻 愛護・適正飼養学（ファームプレス）							
授業計画	毎週火曜日 3 限目 13：20～14：50							
回	テーマ		授業内容					
1	犬の起源と家畜化		犬と人の関係を歴史から学ぶ					
2	猫の起源と家畜化		猫と人の関係を歴史から学ぶ					
3	現代の人と動物の関わり		現代の動物と人との関係を学ぶ					
4	使役動物①		使役動物を学ぶ					
5	〃 ②		〃					
6	ペットと人の絆①		HAB の概念を知る					
7	〃 ②		ペットと人の絆を考察する					
8	ペットの飼育		ペット飼育の歴史と現状					
9	動物介在活動・動物介在教育・動物介在療法とは		AAA／AAE／AAT を知る					
10	〃		〃					
11	高齢者・子供に及ぼす動物の効果		人の成長過程における動物の影響					
12	動物の死とペットロス		ペットロス、安楽死を正しく理解する					
13	まとめ		復習					
14	〃		〃					

科 目		担 当		実務経験				
適正飼養指導論Ⅰ		増子元美 (統一認定動物看護師)		有	NPO 法人代表、専門学校卒業後動物病院に勤務し動物医療に従事、専門学校講師			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物看護学科			前期	講義	必修	30	1
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・動物看護コアテキスト第3版 第6巻 愛護・適正飼養学（ファームプレス）							
授業計画	毎週木曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
適正飼養指導論Ⅱ		増子元美 (統一認定動物看護師)		有	NPO 法人代表、専門学校卒業後動物病院に勤務し動物医療に従事、専門学校講師			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物看護学科			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。							
	※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・動物看護コアテキスト第3版 第6巻 愛護・適正飼養学（ファームプレス）							
授業計画	毎週木曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当	実務経験					
動物臨床検査学実習Ⅰ		横山敏治 (獣医師)	有	大学卒業後動物病院に 10 年間勤務し動物医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科		前期	講義・実習	必修	30	1	
授業目標	・講義で習得した知識の実践と、診療現場に必要な検体検査及び生体検査に関する意義を理解し、基本的手技を身につけ、また手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践を習得する。検査における動物看護師の役割を理解し、臨床検査の目的を解剖・生理学的知識とともに、検体検査および生体検査の目的と意義を理解し習得する。各検査機器の正しい扱い方、正常値、異常値の理解ができるようにする。							
授業概要	・血液検査、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図検査、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査等							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス） ・動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週水曜日	3 限目	13：20～14：50					
回	テーマ		授業内容					
1	臨床検査概論①		検査の種類と目的					
2	〃 ②		検体検査（血液検査、骨髄検査、尿検査、糞便検査）					
3	顕微鏡		概論、名称、倍率、条件、操作法、メンテナンス					
4	検体検査①		血液採取法、処理・保存法、血液凝固剤の種類と特徴					
5	〃 ②		尿採取法と保存法、採便法と保存法、貯留液の採取・保存法					
6	血液検査①		CBC、血液塗標本、生化学検査、輸血、クロスマッチ					
7	〃 ②		住血寄生虫検査、免疫学的検査、凝固系検査					
8	尿検査		概論、物理的性状検査、科学的検査、顕微鏡学的検査					
9	糞便検査①		概論、物理学的性状検査、顕微鏡学的検査、免疫学的検査					
10	〃 ②		〃					
11	細胞診検査		概論、検体採取法、検体保存法、スメア作成					
12	微生物学的検査①		細菌、真菌培養、標本作成法、菌の固定、					
13	〃 ②		〃					
14	前期まとめ		前期のまとめのテストを行う					

科 目		担 当	実務経験					
動物臨床検査学実習Ⅱ		横山敏治 (獣医師)	有	大学卒業後動物病院に 10 年間勤務し動物医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科		後期	講義・実習	必修	30	1	
授業目標	・実習Ⅰで習得した知識の実践と、診療現場に必要な検体検査及び生体検査に関する意義を理解し、基本的手技を身につけ、また手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践を習得する。検査における動物看護師の役割を理解し、臨床検査の目的を解剖・生理学的知識とともに、検体検査および生体検査の目的と意義を理解し習得する。各検査機器の正しい扱い方、正常値、異常値の理解ができるようにする。							
授業概要	・血液検査、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図検査、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査等							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス） ・動物看護学実習テキスト（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週水曜日	3 限目	13：20～14：50					
回	テーマ		授業内容					
1	検体処理、血液凝固剤の種類と特徴、尿採取法と保存法、採便法と保存法、貯留液処理における採取法と保存法		血液採取法、処理保存法、血液凝固剤、尿採取法と保存法、採便法と保存法、貯留液の採取法と保存法					
2	顕微鏡の操作法および取り扱い正しい操作とメンテナンス法		顕微鏡の各部位、顕微鏡の倍率、鏡検条件 顕微鏡の使用手順、顕微鏡の管理					
3	血液検査①		CBC 検査、血液塗抹標本、生化学検査					
4	〃 ②		輸血時のクロスマッチ、住血寄生虫の検査法、簡易キットを用いた免疫学的検査、凝固系検査					
5	〃 ③		飼育動物での実習					
6	〃 ④		飼育動物での実習					
7	尿検査 糞便検査		物理学的性状検査、化学的検査、顕微鏡学的検査 物理学的性状検査、顕微鏡学的検査、簡易キットを用いた免疫学的検査、飼育動物での実習					
8	細胞診、微生物学的検査		意義、手技					
9	血液検査		飼育動物での実習					
10	レントゲン検査		レントゲン検査とは、撮影目的に合った動物のポジショニング、適切な現像と管理					
11	超音波検査①		超音波検査とは、超音波装置の取り扱い、CT 検査、MRI 検査、飼育動物での実習					
12	〃 ②		飼育動物での実習					
13	復習		小テスト					
14	血液検査		飼育動物での実習					

科 目		担 当	実務経験					
動物外科看護学実習Ⅲ		横山敏治 (獣医師)	有	大学卒業後動物病院に 10 年間勤務し動物医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科		前期	講義・実習	必修	30	1	
授業目標	・手術準備や術中・術後管理、麻酔監視、手術補助、救急救命等動物外科学で学んだ知識の実践力を習得する。手術における動物看護師の役割を理解し、周術期果たす役割を理解できるようにする。							
授業概要	・麻酔準備、モニタリング、術後の管理、去勢避妊手術時におけるスキルと看護法等を学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・動物看護学実習テキスト（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週水曜日	4 限目	15：20～16：30					
回	テーマ		授業内容					
1	麻酔記録①		麻酔記録の意義、麻酔覚醒とは、抜管基準、正常と異常を理解する					
2	〃 ②		外科手術を補助するために必要な基礎知識					
3	術後管理①		術後の創傷管理、疼痛管理、安静、環境					
4	〃 ②		安静、環境、術後の栄養管理					
5	去勢手術実習へ向けてのシミュレーション		去勢手術の術式確認、手順、術前準備、消毒、縫合糸の種類、モニター準備、装着、麻酔器、挿管、血管確保、抗生剤					
6	避妊手術実習へ向けてのシミュレーション		避妊手術の術式確認、手順、術前準備、消毒、縫合糸の種類、モニター準備、装着、麻酔器、挿管、血管確保、抗生剤					
7	去勢手術に向けての術前準備①		器具、ドレープ準備					
8	〃 ②		手術動物の管理、術前検査、術前看護、獣医師への報告					
9	去勢手術（犬、猫）①		前処置、麻酔導入、挿管、モニター装着					
10	〃 ②		術野消毒、手指消毒、術着と手袋の装着					
11	〃 ③		器具出し、モニター管理、術後看護、術創管理					
12	〃 ④		去勢手術実習の振り返り					
13	避妊手術（犬、猫）①		前処置、麻酔導入、挿管、モニター装着					
14	〃 ②		術野消毒、手指消毒、術着と手袋の装着					

科 目		担 当		実務経験				
動物外科看護学実習Ⅳ		横山敏治 (獣医師)		有	大学卒業後動物病院に 10 年間勤務し動物医療に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物看護学科			後期	講義・実習	必修	30	1
授業目標	・手術準備や術中・術後管理、麻酔監視、手術補助、救急救命等動物外科学で学んだ知識の実践力を習得する。手術における動物看護師の役割を理解し、周術期果たす役割を理解できるようにする。							
授業概要	・麻酔準備、モニタリング、術後の管理、去勢避妊手術時におけるスキルと看護法等を学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第 3 版 第 4 巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・動物看護学実習テキスト（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週水曜日		4 限目	15：00～16：30				
回	テーマ		授業内容					
1	避妊手術（犬、猫）①		器具出し、モニター管理、術後看護、術創管理					
2	〃 ②		避妊手術実習の振り返り					
3	まとめ（実技試験対策）		手術の一連の流れを実践する					
4	〃		〃					
5	〃		〃					
6	〃		〃					
7	〃		〃					
8	〃		〃					
9	〃		〃					
10	〃		〃					
11	〃		〃					
12	〃		〃					
13	〃		〃					
14	〃		〃					

科 目		担 当	実務経験					
動物臨床看護学実習Ⅰ－①		合志潤子 (統一認定動物看護師)	有	動物病院看護師長 動物病院に動物看護師として従事 (20 年)				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科		前期	講義・実習	必修	30※	1※	
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ (ファームプレス) ・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ (ファームプレス) ・動物看護実習テキスト第3版 (エデュワードプレス)							
参考書								
授業計画	金曜日 4 限目 15 : 00～16 : 30 (月の最終週)							
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								

※授業時間は、〔動物臨床看護学実習Ⅰ－①〕と〔動物臨床看護学実習Ⅰ－②〕を合わせて 30 時間となる。

科 目		担 当		実務経験				
動物臨床看護学実習Ⅰ－②		白石史絵 (統一認定動物看護師)		有	動物病院師長 動物病院に動物看護師として 従事 (20 年)			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物看護学科			前期	講義・実習	必修	30※	1※
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ (ファームプレス) ・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ (ファームプレス) ・動物看護実習テキスト第3版 (エデュワードプレス)							
参考書								
授業計画	金曜日 4 限目 15 : 00～16 : 30 (最終週以外)							
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								

※授業時間は、〔動物臨床看護学実習Ⅰ－①〕と〔動物臨床看護学実習Ⅰ－②〕を合わせて 30 時間となる。

科 目		担 当	実務経験					
動物臨床看護学実習Ⅱ－①		合志潤子 (統一認定動物看護師)	有	動物病院看護師長 動物病院に動物看護師として従事 (20 年)				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科		後期	講義・実習	必修	30※	1※	
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ (ファームプレス) ・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ (ファームプレス) ・動物看護実習テキスト第3版 (エデュワードプレス)							
参考書								
授業計画	金曜日 (月の最終週)	4 限目	15：00～16：30					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								

※授業時間は、〔動物臨床看護学実習Ⅱ－①〕と〔動物臨床看護学実習Ⅱ－②〕を合わせて30 時間となる。

科 目		担 当		実務経験				
動物臨床看護学実習Ⅱ－②		白石史絵 (統一認定動物看護師)		有	動物病院師長 動物病院に動物看護師として 従事 (20 年)			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物看護学科			後期	講義・実習	必修	30※	1※
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ (ファームプレス) ・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ (ファームプレス) ・動物看護実習テキスト第3版 (エデュワードプレス)							
参考書								
授業計画	金曜日 4 限目 15 : 00～16 : 30 (最終週以外)							
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								

※授業時間は、〔動物臨床看護学実習Ⅱ－①〕と〔動物臨床看護学実習Ⅱ－②〕を合わせて 30 時間となる。

科 目		担 当	実務経験					
動物看護総合実習Ⅰ－①		合志潤子 (統一認定動物看護師)	有	動物病院師長 動物病院に動物看護師として 従事 (20 年)				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科		前期	講義・実習	必修	30※	1	
授業目標		・今までの授業で得た知識と、動物病院で得る臨床経験から実践的な看護を学ぶと同時に動物看護師としての意識を身に付ける。 ・授業内容は臨床現場の状況により変更有						
授業概要		・動物看護の実務を様々な業種から多角的に捉えた実習を行なう。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材		・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ (ファームプレス) ・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ (ファームプレス) ・動物看護実習テキスト第3版 (エデュワードプレス)						
参考書								
授業計画		金曜日 3 限目 13：20～14：50 (月最終週)						
回	テーマ		授業内容					
1	医療チームの一員として相応しい 態度		医療チームの一員としての適切な態度 掃除					
2	動物病院で必要な環境		環境整備の実践 //					
3	周術期 (手術前後) の看護		周術期の看護技術 //					
4	まとめ		復習					

※授業時間は、〔動物看護総合実習Ⅰ－①〕と〔動物看護総合実習Ⅰ－②〕を合わせて30 時間となる。

科 目		担 当	実務経験					
動物看護総合実習Ⅰ－②		白石史絵 (統一認定動物看護師)	有	動物病院師長 動物病院に動物看護師として 従事 (20 年)				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科		前期	講義・実習	必修	30※	1	
授業目標	・今までの授業で得た知識と、動物病院で得る臨床経験から実践的な看護を学ぶと同時に動物看護師としての意識を身に付ける。 ・授業内容は臨床現場の状況により変更有							
授業概要	・動物看護の実務を様々な業種から多角的に捉えた実習を行なう。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ (ファームプレス) ・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ (ファームプレス) ・動物看護実習テキスト第3版 (エデュワードプレス)							
参考書								
授業計画	金曜日 (月最終週以外)		3 限目	13：20～14：50				
回	テーマ		授業内容					
1	症状・生理機能管理		症状・生理機能管理技術		掃除			
2	〃		〃		〃			
3	感染予防		感染予防への配慮と技術		〃			
4	〃		〃		〃			
5	安全管理		安全管理への配慮と技術		〃			
6	〃		〃		〃			
7	コミュニケーション		必要なコミュニケーションについて		〃			
8	〃		〃		〃			
9	まとめ		復習					
10	〃		〃					

※授業時間は、〔動物看護総合実習Ⅰ－①〕と〔動物看護総合実習Ⅰ－②〕を合わせて 30 時間となる。

科 目		担 当	実務経験					
動物看護総合実習Ⅱ－①		合志潤子 (統一認定動物看護師)	有	動物病院看護師長 動物病院に動物看護師として従事 (20 年)				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科		後期	講義・実習	必修	30※	1	
授業目標	・今までの授業で得た知識と、動物病院で得る臨床経験から実践的な看護を学ぶと同時に動物看護師としての意識を身に付ける。							
授業概要	・授業内容は臨床現場の状況により変更有							
	・動物看護の実務を様々な業種から多角的に捉えた実習を行なう。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度		出席状況		
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。							
	※評価は、S (100～90) 、A (89～80) 、B (79～70) 、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ (ファームプレス)							
	・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ (ファームプレス)							
	・動物看護実習テキスト第3版 (エデュワードプレス)							
参考書								
授業計画	金曜日 (月最終週)	3 限目	13：20～14：50					
回	テーマ		授業内容					
1	身だしなみ、掃除の必要性							
2	動物看護師として心構え、役割							
3	保定の必要性、役割							
4	保定実習							

※授業時間は、〔動物看護総合実習Ⅱ－①〕と〔動物看護総合実習Ⅱ－②〕を合わせて30時間となる。

科 目		担 当	実務経験					
動物看護総合実習Ⅱ－②		白石史絵 (統一認定動物看護師)	有	動物病院看護師長 動物病院に動物看護師として従事 (20 年)				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科		後期	講義・実習	必修	30※	1	
授業目標	・今までの授業で得た知識と、動物病院で得る臨床経験から実践的な看護を学ぶと同時に動物看護師としての意識を身に付ける。 ・授業内容は臨床現場の状況により変更有							
授業概要	・動物看護の実務を様々な業種から多角的に捉えた実習を行なう。							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ (ファームプレス) ・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ (ファームプレス) ・動物看護実習テキスト第3版 (エデュワードプレス)							
参考書								
授業計画	金曜日 (月最終週以外)	3 限目	13：20～14：50					
回	テーマ		授業内容					
1	身体検査		飼育動物の身体検査、保定					
2	カルテ用語、記入		基礎情報診療内容をカルテに記入					
3	手術管理		術前、術中、術後のモニタリング準備					
4	医薬品の取扱い		正しい取扱い、管理、廃棄について					
5	〃		調剤、薬用量計算					
6	創傷管理、包帯法		それぞれの管理、手技					
7	衛生管理、入院管理		滅菌、消毒、殺菌、感染動物の取扱い					
8	輸液管理①		輸液概論					
9	〃 ②		輸液動物のモニタリング					
10	〃 ③		輸液準備、静脈確保実習					

※授業時間は、〔動物看護総合実習Ⅱ－①〕と〔動物看護総合実習Ⅱ－②〕を合わせて 30 時間となる。

科 目		担 当	実務経験				
訓練学Ⅱ		山中彩紗子 (訓練士)	有				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通		前期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・ 訓練士の役割、愛犬家のモラル向上、躰、訓練による社会生活について理解する。 ・ ルール、ドッグスポーツ、犬を通しての社会貢献犬の本能・行動終生についての基本的なことを理解し、テーマごとにトレーニング技術を修得する。						
授業概要	・ 犬の行動様式を学び、トレーニングの開始時期、家庭犬のトレーニング、競技会の科目の内容まで学ぶ。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
	50 点	50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。						
教 材	・ JKC 基本訓練マニュアル ・ 日本警察犬協会 DVD ・ 訓練試験科目 DVD						
参考書	・ トレーニング学（日本ペットビジネススクール協会）						
授業計画	毎週水曜日	1 限目	9：10～10：40				
回	テーマ		授業内容				
1	日本警察犬協会 DVD		実技（脚側行進・停座・伏臥・立止などをスムーズに行動できるようになる。）（ボールを使ったり、おやつを使ったり集中力とコントロール）				
2	日本警察犬訓練試験科目 DVD		〃				
3	訓練試験科目の説明		〃				
4	〃		〃				
5	ヨーロッパ式訓練方法 DVD		〃				
6	〃 DVD 説明		〃				
7	日本警察犬協会規定集		〃				
8	〃		〃				
9	〃		〃				
10	〃		〃				
11	〃		〃				
12	〃 豆辞典		〃				
13	〃 〃		〃				
14	〃 〃		〃				

科 目		担 当	実務経験					
動物物理学療法学Ⅰ		大塚敦子 (統一認定動物看護師)	有	動物行院勤務歴 20 年				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	全学科共通		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	1 限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当	実務経験					
ペットアロママッサージⅡ		前田しのぶ (アロマコーディネーター)	有	アロマクラブ代表、アロマ外来に従事、専門学校講師				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科・動物管理学科管理コース		前期	講義・実技	必修	30	1	
授業目標	・運動不足、ストレスを蓄積し動きの悪くなった動物をリラックスさせるマッサージ法について学ぶ。この中には精油を用いるアロマセラピーも含む。							
授業概要	・実際にアロマオイルをブレンドし、モデル犬で効果を体験する。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材 参考書	・アロマオイルセット ・講師配付資料							
授業計画	毎週金曜日 2 限目 10：50～12：20							
回	テーマ		授業内容					
1	ペットと人のホリスティック		ホリスティックについての学習					
2	ペットマッサージ 1		東洋医学的、健康保持					
3	〃 2		リンパマッサージを学ぶ					
4	〃 3		リンパマッサージレクチャー（発表）					
5	〃 4		犬のツボセラピー					
6	〃 5		〃					
7	〃 6		犬のシャンプーマッサージ実践					
8	ハーブセラピー		チンギ、煎液、オイル作成					
9	〃		〃					
10	〃		ハーブクラフト動物への実践					
11	メディカルドッグアロマケア 1		精油を使用してのメディカルドッグアロマケア実践					
12	〃 2		〃					
13	〃 3		〃					
14	前期テストに向けて		復習					

科 目		担 当	実務経験			
特別講義						
対象年次	学 科	開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通	前期	講義	必修	30	1
授業目標	・					
授業概要	・					
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況	
	100 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。					
教 材 参考書	・講師配付資料					
授業計画	毎週月曜日	1 限目	9：10～10：40			
回	テーマ	授業内容				
1	SDGs について	くまもと SDGs 推進財団				
2	地球温暖化とエネルギー	九州電力株式会社				
3	次亜水について	株式会社エイチ・エス・ピー				
4	食について	玉名牧場代表				
5	動物愛護について	熊本県動物愛護センター所長				
6	肥後チャボについて	肥後チャボ保存会				
7	就職活動について	ハローワーク 就職支援				
8	動物愛護について	熊本市動物愛護センター				
9	宇宙飛行から動物保護へ	アニマルライフセンター				
10	動植物園について	熊本市動植物園				
11	有明海・八代海の再生について	熊本県環境立県推進課				
12	エキゾチックアニマルについて	レップアンバー				
13	健康保険、年金制度について	全国健康保険協会 熊本支部				
14	野生動物について	ツシマヤマネコ野生順化ステーション				

※2021 年度の実施内容を表記しています。

科 目		担 当		実務経験			
ビジネスマナーⅡ		福田由吏	有	マナー、キャリア支援会社代表 短大卒業後 航空会社で客室乗務員フロアコーディネーターとして勤務 専門学校講師			
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物看護学科・動物管理学科管理コース		後期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・ビジネスマナーⅠに引き続き、ビジネスマナーの講義を通じて、ビジネスの場で必要な基礎知識と技能を身につけ、実践できるようにする。また、インターンシップや就職面接を想定したロールプレイングを行い、社会人へ向けた準備を整える。						
授業概要	・動物業界のみならず、様々な場面におけるビジネスマナーを修得する。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
	100 点						
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。						
教 材	・院内コミュニケーション【基礎知識編】（エデュワードプレス） ・コミュニケーション・マナー&キャリア・ガイダンス第3版（エデュワードプレス）						
参考書							
授業計画	毎週金曜日	1 限目	9：10～10：40				
回	テーマ		授業内容				
1	コミュニケーション・マナー、笑顔と身だしなみ、挨拶、整理整頓		笑顔の作り方、プロとしての身だしなみ、明るい挨拶、女性らしい動作、整理整頓術				
2	名刺を作ろう		名刺制作、名刺交換				
3	聞く力、プレゼンテーション		聞くためのマナー、どのように伝えるか				
4	報・連・相、紹介のマナー		報告、連絡、相談時のポイント、要領、タイミング、自己紹介マナー、欠勤、遅刻、早退のマナー				
5	電話応対		電話を受ける、電話をかける、スマートな取次、伝言メモ				
6	出勤から退勤まで、仕事の進め方		タイムスケジュール、PDCA サイクル、優先順位のつけ方				
7	新入社員教育の目的、職場のルール		会社組織の構造、チームワーク、厳守すること				
8	アポイントメントの取り方、面接、礼状の書き方		アポイントメントの例を挙げたロールプレイング、面接の流れとマナー、面接礼状文例				
9	冠婚葬祭(慶事)、お中元、お歳暮		招待状、のし袋、服装、披露宴のマナー、お中元、お歳暮の選び方				
10	冠婚葬祭(弔辞)		服装、香典、宗教別お参り作法				
11	ビジネス文書		社外文書、社内文書、お礼状、お詫び状				
12	プレゼンテーション①		テーマを決め、それぞれがみんなの前で発表する				
13	プレゼンテーション②		〃				
14	まとめ		まとめ				

科 目		担 当	実務経験					
ライセンス対策Ⅱ		西島信彦 (統一認定動物看護師)	有	本校勤務歴 10 年				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科		前期	講義・演習	必修	30	1	
授業目標	・							
授業概要	・ 3 月に実施される動物看護師統一認定試験受験者を対象に、過去問題を中心に受験対策を実施する。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が 3 分の 2 以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・ 講師配付資料							
授業計画	毎週木曜日	1 限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1	動物看護師統一認定試験対策		過去問題集					
2	〃		〃					
3	〃		〃					
4	〃		〃					
5	〃		〃					
6	〃		〃					
7	〃		〃					
8	〃		〃					
9	〃		〃					
10	〃		〃					
11	〃		〃					
12	〃		〃					
13	〃		〃					
14	〃		〃					

科 目		担 当		実務経験				
トリミング実習Ⅲ		長倉絵里花 (JKC 認定トリマー) 橋本沙耶 (PBS 認定トリマー)		有	ペットショップペリート代表 学院専任教員、教員暦 5 年			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物看護学科			前期	実習	必修	120	4
授業目標	・ シャンプーからカットまでを学び、犬猫による特徴を強調する技術を理解し、実践力を身につける。犬、猫の長所と短所を見抜き個々の魅力を最大限に引き出すことを学ぶ。							
授業概要	・ トリミングの手技とともに、取扱いの動物のボディチェックやバイタルサインの確認の習得も併せて行う。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度	
	20 点		80 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。							
	※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・ DOG GROOMING BOOK New Edition（エデュワードプレス）							
授業計画	毎週月曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30		
	毎週木曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30		
回	テーマ		授業内容					
1-2	モデル犬家庭犬によるグルーミング実習		実習					
3-4								
5-6	〃		〃					
7-8								
9-10	〃		〃					
11-12								
13-14	〃		〃					
15-16								
17-18	〃		〃					
19-20								
21-22	〃		〃					
23-24								
25-26	〃		〃					
27-28								
29-30	〃		〃					
31-32								
33-34	〃		〃					
35-36								
37-38	〃		〃					
39-40								
41-42	〃		〃					
43-44								
45-46	〃		〃					
47-48								
49-50	〃		〃					
51-52								
53-54	まとめ試験		〃					
55-56								

科 目		担 当		実務経験			
トリミング実習Ⅳ		長倉絵里花 (JKC 認定トリマー) 橋本沙耶 (PBS 認定トリマー)	有	ペットショップペリート代表 学院専任教員、教員暦 5 年			
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物看護学科		後期	実習	必修	120	4
授業目標	・ シャンプーからカットまでを学び、犬猫による特徴を強調する技術を理解し、実践力を身につける。犬、猫の長所と短所を見抜き個々の魅力を最大限に引き出すことを学ぶ。						
授業概要	・ トリミングの手技とともに、取扱い動物のボディチェックやバイタルサインの確認の習得も併せて行う。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
	20 点	80 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が 3 分の 2 以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。						
教 材 参考書	・ DOG GROOMING BOOK New Edition（エデュワードプレス）						
授業計画	毎週月曜日	3 限目	13：20～14：50	4 限目	15：00～16：30		
	毎週木曜日	3 限目	13：20～14：50	4 限目	15：00～16：30		
回	テーマ		授業内容				
1-2	モデル犬家庭犬によるグルーミング実習		実習				
3-4							
5-6	〃		〃				
7-8							
9-10	〃		〃				
11-12							
13-14	〃		〃				
15-16							
17-18	〃		〃				
19-20							
21-22	〃		〃				
23-24							
25-26	〃		〃				
27-28							
29-30	〃		〃				
31-32							
33-34	〃		〃				
35-36							
37-38	〃		〃				
39-40							
41-42	〃		〃				
43-44							
45-46	〃		〃				
47-48							
49-50	〃		〃				
51-52							
53-54	まとめ試験		〃				
55-56							

二年次科目

—動物管理学科（管理コース）—

科 目		担 当		実務経験				
動物形態機能学Ⅲ		北島眞実子 (獣医師)		有	大学卒業後動物病院に 10 年間勤務し獣医療に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通			前期	講義	必修	30	1
授業目標		・血液の働き、成分、循環にかかわる形態と機能について学ぶ。生物は、細胞によって構成されているが、細胞は、エネルギーによって活動できる。そのエネルギーは、酸素及び栄養成分によって得られる。これらの成分は、血液を介して全身に送られている。この血液の役割を理解することを目的とする。						
授業概要		・(血液学)						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度		出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材		・動物看護コアテキスト第3版 第1巻 基礎動物学Ⅰ (ファームプレス) ・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学 (ファームプレス) ・講師配付資料						
参考書								
授業計画		毎週火曜日	1 限目 9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1	血液の働き		血液成分と働き					
2	赤血球の形態と働き		赤血球の形態と種類、網状赤血球					
3	赤血球の寿命と評価		赤血球の老化と寿命、赤血球の評価及び疾患					
4	白血球の種類と働き		白血球の種類と役割、白血球の疾患					
5	その他の血液成分と役割 ①血小板、②血漿		血小板、血漿					
6	その他の血液成分と役割 ①無機塩類、②血漿タンパク質		無機塩類、血漿タンパク質					
7	血液に関する臓器と組織 1		心臓の形態と心電図					
8	血液に関する臓器と組織 2		血液循環とリンパ系循環					
9	血液凝固		血液凝固、止血					
10	血液型 血液型とは：イヌとネコの血液型		血液型					
11	血液型 白血球型と血漿タンパク質型		MHC					
12	輸血について 1		イヌとネコの輸血					
13	輸血について 2		クロスマッチテスト					
14	まとめ		血液に関する問題を中心に					

科 目		担 当		実務経験				
動物形態機能学Ⅳ		芝田猛 (農学博士)		有	東海大学名誉教授、農学部長、大学教授として 40 年勤務			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・動物が自然界で生きてゆくためには、外部環境から自らを防衛しなければならない。そのためには皮膚での物理的な防御に加え、体内では異物を排除するための免疫機能が備わっている。動物では、複雑な免疫システムが発達しており、近年も様々な機能が明らかにされてきている。一方、アレルギーなどの過剰反応も生ずる。ここでは免疫の基本的な仕組みを理解し、動物看護の一助とすることを目的としている。							
授業概要	・（免疫学） ・炎症と免疫の機序とアレルギーや自己免疫性疾患についても学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第1巻 基礎動物学Ⅰ（ファームプレス） ・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学（ファームプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週火曜日		2 限目		10：50～12：20			
回	テーマ			授業内容				
1	炎症			炎症の五大主徴、関連する細胞				
2	免疫とは；体を守る仕組み			止血、皮膚、身体を守る				
3	免疫器官と免疫細胞			白血球の種類、体の免疫器官				
4	自然免疫系による防御			自然免疫系とは				
5	獲得免疫系（体液性免疫）			体液性免疫の仕組み				
6	抗体の種類と構造			免疫グロブリン				
7	獲得免疫系（細胞性免疫）			細胞性免疫の仕組み				
8	サイトカインについて			サイトカインの役割、インターロイキン				
9	免疫の応用と受動免疫			ワクチン感染症の制御、新生子の免疫・抗体の移行				
10	アレルギーの仕組み			免疫応答の異常				
11	抗体とアレルギーの遺伝			免疫に関する遺伝子について				
12	自己免疫疾患と免疫不全							
13	移植と拒絶反応							
14	免疫によるがん治療およびまとめ			免疫に関する問題を中心として				

科 目		担 当		実務経験				
動物臨床栄養学Ⅱ		津田圭子 (獣医師)		有	大学卒業後国、県、民間等に約 20 年勤務し 公衆衛生研究部門に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・ 六大栄養素を理解する。犬猫の必要栄養素の違いを理解する。ペットフードの表記を理解する。ライフステージの違いを理解する。BCS 評価及びカロリー計算ができるようにする。							
授業概要	・ 基礎栄養素および主に犬猫に必要な栄養素、ペットフードの基本的な知識と特別療法食の特性など個体に合った。適切な食事管理についての知識を身につける。またペットフードの市場について考察する。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第2巻 基礎動物学Ⅱ (ファームプレス) ・ 動物栄養学 (エデュワードプレス) ・ √ルート計算の出来る電卓を各自用意 ・ 講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週月曜日	2 限目		10 : 50～12 : 20				
回	テーマ		授業内容					
1	消化器病		膵臓の疾患とその食事管理、大腸の吸収の仕組み、大腸の疾患とその食事管理					
2	腎臓病		慢性腎臓病の食事の与え方					
3	肝臓病		肝臓病の栄養管理、肝臓病とその食事管理					
4	糖尿病		糖尿病の仕組みとその症状、糖尿病の食事管理					
5	食物アレルギー		食物アレルギーの原因と症状、食物アレルギーの仕組み、食物アレルギーの食事管理					
6	〃		食物アレルギーの食事管理、その他の皮膚疾患					
7	がん		がんの栄養管理、がんの食事の与え方					
8	脳の加齢と認知障害、肥満							
9	甲状腺機能亢進症		甲状腺機能亢進症の仕組みと症状、甲状腺機能亢進症の食事管理					
10	嗜好性							
11	ペットフードの管理		ペットフードに関する規則					
12	医療面接の目的		コミュニケーションの基本、栄養指導面接の基本的な流れ					
13	小テスト							
14	小テスト							

科 目		担 当		実務経験				
比較動物学Ⅰ		本田公三 (獣医師)		有	大学卒業後地方自治体において動物園、公衆衛生分野に勤務			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通			前期	講義	必修	30	1
授業目標		・日本（世界）の野生動物の種類と生息環境と保全の概況について学ぶ。 ・外来生物が在来種に及ぼす影響や対策について学ぶ。						
授業概要		・動物園・水族館等の展示動物についてその意義や役割及び課題について学ぶ。歴史や、社会との関わりについて理解を深める。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材		・動物看護コアテキスト第3版 第2巻 基礎動物学Ⅱ（ファームプレス） ・講師配付資料						
参考書								
授業計画		毎週火曜日	2 限目		10：50～12：20			
回	テーマ		授業内容					
1	野生動物の定義		野生動物と家畜の違いについて					
2	野生動物の種類と生息分布		日本生息する野生動物について学ぶ					
3	野生動物の食性		野生動物の地理的生息環境について学ぶ					
4	外来生物		人によって持ち込まれた自然分布域以外の地域に移動させられた生物について学ぶ。					
5	展示動物の定義		展示動物の基本的な考え方や種類、繁殖、修正飼育について学ぶ					
6	鳥獣害		野生鳥獣による農林水産物への被害と対策					
7	〃		〃					
8	保全		生息環境や種の保存の取り組み状況と展望					
9	〃		〃					
10	絶滅危惧種とレッドリスト		絶滅あるいは絶滅が危惧される野生動物の状況					
11	〃		〃					
12	動物園・水族館の役割		動物園や水族館の役割や今後の展望					
13	まとめ							
14	まとめ							

科 目		担 当	実務経験					
動物感染症学Ⅱ		仁木隆博 (農学博士)	有	東海大学名誉教授、農学博士、大学教授として 40 年勤務				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科・動物管理学科管理コース		前期	講義	必修	30	1	
授業目標 ・「動物感染症学」で学んだ個々の動物の生命と健康の維持に障害を及ぼす病原体の知識を基に、これらの病原体によって引き起こされる感染症をどのように予防するかを考える。その中でワクチンについても理解し、動物の健康を維持できる管理方法に関する知識を身に付ける。また、感染症の予防の重要性を学ぶことによって、飼い主に対する適切なアドバイスが可能となる。								
授業概要 ・（病原体・衛生管理） ・病原体、感染防御、ワクチネーションの機序について学ぶ。								
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度		出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 ・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学（ファームプレス） ・講師配付資料								
参考書 ・愛玩動物看護師の教科書第3巻 基礎動物看護学（緑書房）								
授業計画 毎週金曜日 1 限目 9：10～10：40								
回	テーマ		授業内容					
1	感染症の成立、細菌および真菌、ウイルス		動物病原体とは何か ①感染症の成立、②感染源					
2	人獣共通感染症		新興・再興感染症および人獣共通感染症 ①新興感染症とは、②再興感染症とは、③人獣共通感染症（ズーノーシス）					
3	感染症の制御、院内感染等の防止		感染症の予防 ①感染症が成立する 3 つの要因、②感染を成立させない方法					
4	動物防疫学、ワクチンと予防		宿主の感染防御 ①感染症の防御、②ワクチンの利用					
5	ワクチンと予防、接種プログラム、接種時期		ワクチン接種の重要性 ①ワクチン接種についての理解、②動物種による違い、③接種時期					
6	ワクチンと予防、ワクチンの種類、ワクチネーションに影響する因子		ワクチネーション ①ワクチネーションの特性、②不活化ワクチンと生ワクチン、③ワクチンの効果に影響を与える要因					
7	中間まとめ		1～6 回の授業内容について理解度を確認する。					
8	接種プログラム、イヌとネコのワクチネーション		コアワクチンとノンコアワクチン(1) ①WSAVA ガイドラインのポイント、②イヌのコアワクチンとノンコアワクチン					
9	イヌとネコのワクチネーション、イヌとネコのワクチン		コアワクチンとノンコアワクチン(2) ①ネコのコアワクチンとノンコアワクチン、②イヌとネコの混合ワクチン					
10	接種プログラム		イヌのワクチネーションプログラム					
11	〃		ネコのワクチネーションプログラム					
12	イヌとネコのワクチンおよび診断薬		ワクチンの開発、製造および品質管理					
13	寄生虫病		寄生虫症の予防					
14	総まとめ		授業ノートを確認し、各自で重要な部分を認識しながら復習し、質疑応答を加えより深い習得に繋げる。					

科 目		担 当	実務経験					
動物感染症学Ⅲ		石井実生 (獣医師)	有	大学卒業後動物病院に勤務 20 年間獣医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	全学科共通		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・動物をとりまく環境と寄生虫の関係について理解し、寄生虫の生物学的な特徴や寄生虫症についての基礎知識を修得する。主にイヌ、ネコに寄生する内部、外部の寄生虫の感染経路、病害発生の機序、検査法を学び、飼主に寄生虫感染の予防の大切さを伝えられるようにする。							
授業概要	・(寄生虫学) ・外部寄生虫、内部寄生虫、人獣共通感染症となる寄生虫病に関する診断と予防および治療について学ぶ。							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学 (ファームプレス) ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	3 限目	13 : 20～14 : 50					
回	テーマ		授業内容					
1	寄生虫学総論①		寄生虫とは					
2	〃 ②		寄生虫の生活環と病害性					
3	犬猫の内部寄生虫①		原虫類					
4	〃 ②		線虫類					
5	〃 ③		条虫類					
6	〃 ④		吸虫類					
7	犬猫の外部寄生虫①		ダニ類					
8	〃 ②		昆虫類					
9	その他の寄生虫		エキゾチックアニマル、家畜					
10	人獣共通感染症		人間と動物に感染する寄生虫					
11	診断と予防		検査方法					
12	駆除薬		駆除薬の種類、効果					
13	テスト		ペーパーテスト					
14	テスト		ペーパーテスト					

科 目		担 当	実務経験					
公衆衛生学Ⅰ		笠場孝一 (獣医師)	有	大学卒業後地方自治体において公衆衛生行政に 40 年間従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	動物看護学科・動物管理学科管理コース		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・公衆衛生の基本的な考え方を理解し、国民の健康増進、動物福祉、環境保全などに活かせる知識を身につける。 ・おもな人獣共通感染症、動物由来の人獣感染症の種類と病害発生の機序を理解する。また、滅菌、消毒の違いと、それぞれの処置方法を学ぶ。さらに国内外を問わず、動物輸送時や受入れの際に必要な知識を身につける。							
授業概要	・公衆衛生概論、人獣共通感染症、防疫消毒法について学ぶ。							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度		出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学（ファームプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週金曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1	公衆衛生学概論①		動物看護と公衆衛生の関係性を考え、公衆衛生の定義と目的及び活動を理解する。					
2	〃 ②		〃					
3	人獣共通感染症① 人獣共通感染症とは 伝搬様式、予防対策		人獣共通感染症の定義と現状を知る。新興と再興感染症の発生要因を知る。人獣共通感染症動物から人への感染様式と予防対策について学ぶ。					
4	〃 ②		〃					
5	〃 ③ 動物由来の主な人獣共通感染症 ウイルスによる人獣共通感染症		イヌ、ネコ、サル類、げっ歯類の人獣共通感染症にはどのようなものがあるかを学ぶ。 ウイルスの概要と性状について学ぶ。					
6	〃 ④		〃					
7	〃 ⑤ ウイルスによる人獣共通感染症		ウイルスによる主な人獣共通感染症の概要や症状、治療・予防法の説明ができるようにする。					
8	〃 ⑥		〃					
9	〃 ⑦		〃					
10	〃 ⑧		ウイルスとプリオンによる主な人獣共通感染症の概要や症状、治療・予防法の説明ができるようにする。					
11	〃 ⑨ 細菌による主な人獣共通感染症		細菌の概要と性状、症状、治療・予防法について説明できるようにする。					
12	〃 ⑩		〃					
13	〃 ⑪ 細菌による主な人獣共通感染症		細菌による人獣共通感染症の概要や症状、治療・予防法の説明ができるようにする。サルモネラ症 等					
14	〃 ⑫		〃					

科 目		担 当	実務経験					
動物内科看護学Ⅱ		池上美紀 (統一認定動物看護師)	有	高校卒業後動物病院に勤務し動物医療に従事、専門学校講師				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	全学科共通		前期	講義	必修	30	1	
授業目標	・チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学習する。また、治療方針の理解度を深め、動物看護に必要な疾病について学習する。特有の検査や動物看護に必要な知識を学び、動物看護を実践できるよう知識を身に着ける。疾患によっては好発種や好発年齢があるので、そのポイントを把握したうえで、各症状を理解し、動物への看護法を身につける。概論として、バイタルサインや BCS についても学ぶ。							
授業概要	・犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬輸液輸血について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・犬の骨格標本、犬の筋肉標本、組織プレパラート、顕微鏡等							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	4 限目	15：00～16：30					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当	実務経験					
動物内科看護学Ⅲ		池上美紀 (統一認定動物看護師)	有	高校卒業後動物病院に勤務し動物医療に従事、専門学校講師				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	全学科共通		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・ チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学習する。また、治療方針の理解度を深め、動物看護に必要な疾病について学習する。特有の検査や動物看護に必要な知識を学び、動物看護を実践できるよう知識を身に着ける。疾患によっては好発種や好発年齢があるので、そのポイントを把握したうえで、各症状を理解し、動物への看護法を身につける。概論として、バイタルサインや BCS についても学ぶ。							
授業概要	・ 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬輸液輸血について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・ 犬の骨格標本、犬の筋肉標本、組織プレパラート、顕微鏡等							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	4 限目	15：00～16：30					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当	実務経験					
動物臨床看護学各論Ⅱ		中村あゆみ (統一認定動物看護師)	有	高校卒業後動物病院に 20 年間勤務し動物医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	全学科共通		前期	講義	必修	30	1	
授業目標	・様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供するべきか、評価と介入の方法を修得する。							
授業概要	・消化器、呼吸器系、循環器、生殖器、造血器、免疫介在性疾患等についてその機序評価治療等について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス） ・動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週月曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1	消化器系疾患		消化器疾患の発生器所と病態					
2	〃		消化器疾患の療法職					
3	呼吸器系疾患		主な疾患と症状					
4	〃		検査法と看護のポイント					
5	循環器系疾患		主な疾患名と症状					
6	〃		検査法と看護のポイント					
7	まとめ							
8	泌尿器系疾患		全身状態と排尿異常					
9	〃		疾患名および検査について					
10	繁殖・生殖器・新生子の疾患		繁殖（雌の発情、妊娠、分娩）と疾患について					
11	〃		〃					
12	造血器・免疫介在性疾患		免疫介在性溶血性貧血（IMHA）腎性貧血等					
13	救急疾患		基本的知識を学び、看護に展開させる					
14	まとめ							

科 目		担 当		実務経験						
愛玩動物学Ⅱ		本田公三 (獣医師)		有	動物園長、専門学校教職 4 年					
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位		
2 年	全学科共通			後期	講義	必修	30	1		
授業目標		・ 兎、モルモット、ハムスター、マウス、ラットおよび鳥類などの歴史、特徴、習性、繁殖、飼育管理などについて学ぶ。また最近わが国で飼育されている各種の愛玩動物についても取り上げる。飼育方法にもふれる。								
授業概要		・ エキゾチックアニマルの家畜化の歴史と種類、習性と飼育管理法について学ぶ。								
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点									
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が 3 分の 2 以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。									
教 材 参考書		・ 動物看護コアテキスト第 3 版 第 6 巻 愛護・適正飼養学（ファームプレス） ・ 講師配付資料								
授業計画		毎週月曜日		1 限目		9：10～10：40				
回	テーマ			授業内容						
1	授業ガイダンス			エキゾチックアニマルの定義と飼育上の問題点を考える。						
2	ウサギ①			ウサギの生態、疾病と検査法について理解し、飼育・看護に活かす。						
3	ウサギ②			ウサギの検査時、診察時の保定法を学ぶ。						
4	ハムスター①			ハムスターの生態、疾病と検査法について理解し、飼育・看護に活かす。						
5	〃 ②			ハムスターの検査時、診察時の保定法を学ぶ。						
6	フェレット			フェレットの生態、疾病と検査法について理解し、飼育・看護に活かす。						
7	モルモット①			モルモットの生態、疾病と検査法について理解し、飼育・看護に活かす。						
8	〃 ② 確認テスト			・ モルモットの疾病と看護について学ぶ。 ・ ウサギ、ハムスター、フェレット、モルモットについて理解ができたかを確認する。						
9	小鳥①			小鳥の生態と検査時、診察時の保定法について学ぶ。						
10	〃 ②			小鳥の解剖学的特徴と疾病を理解する。						
11	大型インコ			大型インコ類の生態や習性理解する。						
12	猛禽類			猛禽類の生態、保定法、疾病について理解する。						
13	爬虫類			爬虫類の生態、保定法、疾病について理解する。						
14	両生類 確認テスト			・ 両生類の生態や習性について学ぶ。 ・ ウサギ、ハムスター、フェレット、モルモット、小鳥、両生類、爬虫類について理解できたかを確認する。						

科 目		担 当		実務経験				
人と動物の関係学		井上竜一 (統一認定動物看護師)		有	大学専門学校卒業後教職として専門学校勤務 8年従事、専門学校講師			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通			前期	講義	必修	30	1
授業目標	・人と動物の絆（HAB）の理念と動物介在活動（AAA）動物介在教育（AAE）および動物介在療法（AAT）などの社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与する。HAB による人間と動物にもたらす影響とその目的を理解し、AAA・AAE・AAT の理念と目的を学ぶ。							
授業概要	・科動物の家畜化の歴史、人との絆、介在活動、介在教育、介在療法等について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・動物看護コアテキスト第3版 第6巻 愛護・適正飼養学（ファームプレス）							
授業計画	毎週火曜日		3 限目		13：20～14：50			
回	テーマ		授業内容					
1	犬の起源と家畜化		犬と人の関係を歴史から学ぶ					
2	猫の起源と家畜化		猫と人の関係を歴史から学ぶ					
3	現代の人と動物の関わり		現代の動物と人との関係を学ぶ					
4	使役動物①		使役動物を学ぶ					
5	〃 ②		〃					
6	ペットと人の絆①		HAB の概念を知る					
7	〃 ②		ペットと人の絆を考察する					
8	ペットの飼育		ペット飼育の歴史と現状					
9	動物介在活動・動物介在教育・動物介在療法とは		AAA／AAE／AAT を知る					
10	〃		〃					
11	高齢者・子供に及ぼす動物の効果		人の成長過程における動物の影響					
12	動物の死とペットロス		ペットロス、安楽死を正しく理解する					
13	まとめ		復習					
14	〃		〃					

科 目		担 当		実務経験						
訓練学Ⅱ		山中彩紗子 (訓練士)		有						
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位		
2 年	全学科共通			前期	講義・実技	必修	30	1		
授業目標										
・犬、猫の習性を理解し、しつけ・訓練を学ぶ。 ・実際の症例をもとに犬のトレーニングの仕方、アドバイスの仕方等を学ぶ。										
授業概要										
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	50 点		50 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。									
	※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。									
教 材		・講師配付資料								
参考書		・トレーニング学（日本ペットビジネススクール協会）								
授業計画		毎週水曜日 1 限目 9：10～10：40								
回	テーマ			授業内容						
1	犬猫の本能・ルーツ			犬猫の生態の違い						
2	犬種ごとの特性①			犬種ごとの性格、習性の違いを学ぶ						
3	〃 ②			〃						
4	ボディランゲージ			表情、尻尾などで犬の心理を学ぶ						
5	カーミングシグナル			カーミングシグナルを学び日常で活かす						
6	犬の五感			視覚、聴覚、味覚、嗅覚 など						
7	生まれてから老犬になるまで①			成長過程において何が大きかを学ぶ						
8	〃 ②			〃						
9	〃 ③			〃						
10	訓練としつけの違い			家庭犬、使役犬の違い						
11	褒め方、叱り方、遊び方			いい褒め方、叱り方、遊び方について						
12	問題行動①			吠えぐせ、かみぐせ						
13	〃 ②			飛びつき、分離不安、引っ張り						
14	〃 ③			排泄の失敗、車嫌い、拾い食い						

科 目		担 当		実務経験				
訓練学Ⅲ		山中彩紗子 (訓練士)		有				
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物管理学科			後期	講義・実技	必修	30	1
授業目標								
・犬、猫の習性を理解し、しつけ・訓練を学ぶ。								
・実際の症例をもとに犬のトレーニングの仕方、アドバイスの仕方等を学ぶ。								
授業概要								
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度	
	50 点		50 点				出席状況	
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。							
※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。								
教 材		・講師配付資料						
参考書		・トレーニング学（日本ペットビジネススクール協会）						
授業計画		毎週水曜日		1 限目		9：10～10：40		
回	テーマ			授業内容				
1	生活の中の行動と心理			家庭内での注意点				
2	子犬の育て方①			子犬の育て方				
3	〃 ②			〃				
4	〃 ③			〃				
5	服従訓練①			実技を含む				
6	〃 ②			〃				
7	ドッグスポーツ①			アジリティ				
8	〃 ②			フリスビー				
9	〃 ③			フライボール				
10	臭気選別①			遊びながらトレーニング				
11	〃 ②			食物を使ってトレーニング				
12	グッドシチズン・ドッグ計画			グッドシチズン・ドッグ計画				
13	服従訓練実技			テスト（実技）				
14	服従訓練実技			テスト（実技）				

科 目		担 当		実務経験				
訓練学Ⅳ		片岡玖美 (訓練士)		有				
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物管理学科管理コース			前期	講義・実技	必修	60	1
授業目標	・ 訓練士の役割、愛犬家のモラル向上、躰、訓練による社会生活について理解する。 ・ ルール、ドッグスポーツ、犬を通しての社会貢献犬の本能・行動終生についての基本的なことを理解し、テーマごとにトレーニング技術を修得する。							
授業概要	・ 犬の行動様式を学び、トレーニングの開始時期、家庭犬のトレーニング、競技会の科目の内容まで学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
		50 点			50 点			
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ JKC 基本訓練マニュアル ・ 日本警察犬協会 DVD ・ 訓練試験科目 DVD							
参考書	・ トレーニング学（日本ペットビジネススクール協会）							
授業計画	毎週金曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30		
回	テーマ		授業内容					
1	日本警察犬協会 DVD		実技（脚側行進・停座・伏臥・立止などをスムーズに行動できるようになる。）（ボールを使ったり、おやつを使ったり集中力とコントロール）					
2	日本警察犬訓練試験科目 DVD		〃					
3	訓練試験科目の説明		〃					
4	〃		〃					
5	ヨーロッパ式訓練方法 DVD		〃					
6	〃 DVD 説明		〃					
7	日本警察犬協会規定集		〃					
8	〃		〃					
9	〃		〃					
10	〃		〃					
11	〃		〃					
12	〃 豆辞典		〃					
13	〃 〃		〃					
14	〃 〃		〃					

科 目		担 当		実務経験				
訓練学Ⅴ		片岡玖美 (訓練士)		有				
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物管理学科管理コース			前期	講義・実技	必修	60	1
授業目標	・ 訓練士の役割、愛犬家のモラル向上、躰、訓練による社会生活について理解する。							
授業概要	・ ルール、ドッグスポーツ、犬を通しての社会貢献犬の本能・行動終生についての基本的なことを理解し、テーマごとにトレーニング技術を修得する。							
	・ 犬の行動様式を学び、トレーニングの開始時期、家庭犬のトレーニング、競技会の科目の内容まで学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	50 点	50 点						
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材	・ JKC 基本訓練マニュアル ・ 日本警察犬協会 DVD ・ 訓練試験科目 DVD							
参考書	・ トレーニング学（日本ペットビジネススクール協会）							
授業計画	毎週金曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30		
回	テーマ		授業内容					
1	国際訓練試験「BH」		脚側行進・停座・伏臥・立止・持来、強制持来、脚側停座・休止などの指示、声符などできているかスムーズにできるように指導					
2	〃		〃					
3	〃		〃					
4	〃		〃					
5	JKC 家庭犬訓練		〃					
6	〃		〃					
7	〃		〃					
8	〃		〃					
9	〃		〃					
10	〃		〃					
11	犬学の基礎と用語		〃					
12	〃		〃					
13	公認訓練士規定		〃					
14	〃		〃					

科 目		担 当		実務経験			
販売学			有				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物管理学科		後期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・動物に関わる商品についての知識を学ぶ。フード、衣服、などの種類、流通、展示までを理解する。また、学生みずから商品の仕入れ、接客をすることにより商品の知識のみならず、ユーザーに対するアドバイザーとしての立場も理解する。						
授業概要	・						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
	50 点	50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。						
教 材 参考書	・講師配付資料						
授業計画	毎週水曜日	2 限目	10：50～12：20				
回	テーマ		授業内容				
1	（授業の流れ含め）・ペットグッズについて		ペット用品の種類、特徴などについて				
2	顧客満足の基礎知識・小売と流通		小売業の役割と流通の仕組み				
3	POP		POP の役割と効果				
4	ディスプレイ		商品陳列と売場作り（学生 Shop）				
5	〃		〃				
6	学生 Shop 運営		グループ分けをし、ローテーションで接客、販売を行うと同時に				
7	〃		・オリジナルグッズやオヤツ作り				
8	〃		・飼育犬でシャンプーなどのデモンストレーション				
9	〃		・仕入				
10	〃		・SNS や POP 用の写真の撮り方やアピール				
11	〃		・ラッピングの仕方、ギフト包装など				
12	〃		ペット用品の種類、特徴などについて				
13	〃						
14	〃						

科 目		担 当	実務経験					
動物物理学療法学Ⅰ		大塚敦子 (統一認定動物看護師)	有	動物病院勤務歴 20 年				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	全学科共通		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・ 動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス） ・ 講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	1 限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
ペットアロママッサージⅡ		前田しのぶ (アロマコーディネーター)		有	アロマクラブ代表、アロマ外来に従事、専門学校講師			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物看護学科、動物管理学科管理コース			前期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・運動不足、ストレスを蓄積し動きの悪くなった動物をリラックスさせるマッサージ法について学ぶ。この中には精油を用いるアロマセラピーも含む。							
授業概要	・実際にアロマオイルをブレンドし、モデル犬で効果を体験する。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材 参考書	・アロマオイルセット ・講師配付資料							
授業計画	毎週金曜日 2 限目 10：50～12：20							
回	テーマ		授業内容					
1	ペットと人のホリスティック		ホリスティックについての学習					
2	ペットマッサージ 1		東洋医学的、健康保持					
3	〃	2	リンパマッサージを学ぶ					
4	〃	3	リンパマッサージレクチャー（発表）					
5	〃	4	犬のツボセラピー					
6	〃	5	〃					
7	〃	6	犬のシャンプーマッサージ実践					
8	ハーブセラピー		チンギ、煎液、オイル作成					
9	〃		〃					
10	〃		ハーブクラフト動物への実践					
11	メディカルドッグアロマケア 1		精油を使用してのメディカルドッグアロマケア実践					
12	〃	2	〃					
13	〃	3	〃					
14	前期テストに向けて		復習					

科 目		担 当	実務経験			
特別講義						
対象年次	学 科	開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通	前期	講義	必修	30	1
授業目標	・					
授業概要	・					
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況	
	100 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。					
教 材 参考書	・講師配付資料					
授業計画	毎週月曜日	1 限目	9：10～10：40			
回	テーマ	授業内容				
1	SDGs について	くまもと SDGs 推進財団				
2	地球温暖化とエネルギー	九州電力株式会社				
3	次亜水について	株式会社エイチ・エス・ピー				
4	食について	玉名牧場代表				
5	動物愛護について	熊本県動物愛護センター所長				
6	肥後チャボについて	肥後チャボ保存会				
7	就職活動について	ハローワーク 就職支援				
8	動物愛護について	熊本市動物愛護センター				
9	宇宙飛行から動物保護へ	アニマルライフセンター				
10	動植物園について	熊本市動植物園				
11	有明海・八代海の再生について	熊本県環境立県推進課				
12	エキゾチックアニマルについて	レップアンバー				
13	健康保険、年金制度について	全国健康保険協会 熊本支部				
14	野生動物について	ツシマヤマネコ野生順化ステーション				

※2021 年度の実施内容を表記しています。

科 目		担 当		実務経験			
ビジネスマナーⅡ		福田由吏	有	マナー、キャリア支援会社代表 短大卒業後 航空会社で客室乗務員フロアコーディネーターとして勤務 専門学校講師			
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物看護学科・動物管理学科管理コース		後期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・ビジネスマナーⅠに引き続き、ビジネスマナーの講義を通じて、ビジネスの場で必要な基礎知識と技能を身につけ、実践できるようにする。また、インターンシップや就職面接を想定したロールプレイングを行い、社会人へ向けた準備を整える。						
授業概要	・動物業界のみならず、様々な場面におけるビジネスマナーを修得する。						
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
	100 点						
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。						
教 材	・院内コミュニケーション【基礎知識編】（エデュワードプレス） ・コミュニケーション・マナー&キャリア・ガイダンス第3版（エデュワードプレス）						
参考書							
授業計画	毎週金曜日	1 限目	9：10～10：40				
回	テーマ		授業内容				
1	コミュニケーション・マナー、笑顔と身だしなみ、挨拶、整理整頓		笑顔の作り方、プロとしての身だしなみ、明るい挨拶、女性らしい動作、整理整頓術				
2	名刺を作ろう		名刺制作、名刺交換				
3	聞く力、プレゼンテーション		聞くためのマナー、どのように伝えるか				
4	報・連・相、紹介のマナー		報告、連絡、相談時のポイント、要領、タイミング、自己紹介マナー、欠勤、遅刻、早退のマナー				
5	電話応対		電話を受ける、電話をかける、スマートな取次、伝言メモ				
6	出勤から退勤まで、仕事の進め方		タイムスケジュール、PDCA サイクル、優先順位のつけ方				
7	新入社員教育の目的、職場のルール		会社組織の構造、チームワーク、厳守すること				
8	アポイントメントの取り方、面接、礼状の書き方		アポイントメントの例を挙げたロールプレイング、面接の流れとマナー、面接礼状文例				
9	冠婚葬祭(慶事)、お中元、お歳暮		招待状、のし袋、服装、披露宴のマナー、お中元、お歳暮の選び方				
10	冠婚葬祭(弔辞)		服装、香典、宗教別お参り作法				
11	ビジネス文書		社外文書、社内文書、お礼状、お詫び状				
12	プレゼンテーション①		テーマを決め、それぞれがみんなの前で発表する				
13	プレゼンテーション②		〃				
14	まとめ		まとめ				

科 目		担 当		実務経験			
就職支援				有			
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物管理学科		前期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・						
授業概要	・						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
			50 点	25 点	25 点		
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。						
教 材 参考書	・講師配付資料						
授業計画	毎週水曜日	2 限目	10：50～12：20				
回	テーマ		授業内容				
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							

科 目		担 当		実務経験						
トリミング実習Ⅴ		長倉絵里花 (JKC 認定トリマー) 橋本沙耶 (PBS 認定トリマー)		有	ペットショップペリート代表 学院専任教員、教員暦 5 年					
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位		
2 年	動物管理学科管理コース			前期	実習	必修	120※	4※		
授業目標	・シャンプーからカットまでを学び、犬猫による特徴を強調する技術を理解し、実践力を身につける。犬、猫の長所と短所を見抜き個々の魅力を最大限に引き出すことを学ぶ。									
授業概要	・トリミングの手技とともに、取扱いの動物のボディチェックやバイタルサインの確認の習得も併せて行う。									
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	20 点		80 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。									
教 材 参考書	・DOG GROOMING BOOK New Edition（エデュワードプレス）									
授業計画	毎週月曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30				
	毎週水曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30				
	毎週木曜日	1 限目	9：10～10：40		2 限目	10：50～12：20				
		3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30				
回	テーマ		授業内容							
1・2	モデル犬家庭犬によるグルーミング実習		実習							
3・4										
5・6	〃		〃							
7・8	〃		〃							
9・10	〃		〃							
11・12	〃		〃							
13・14	〃		〃							
15・16	〃		〃							
17・18	〃		〃							
19・20	〃		〃							
21・22	〃		〃							
23・24	〃		〃							
25・26	〃		〃							
27・28	〃		〃							
29・30	〃		〃							
31・32	〃		〃							
33・34	〃		〃							
35・36	〃		〃							
37・38	〃		〃							
39・40	〃		〃							
41・42	〃		〃							
43・44	〃		〃							
45・46	〃		〃							
47・48	〃		〃							
49・50	〃		〃							
51・52	〃		〃							
53・54	まとめ試験		〃							
55・56										

※木曜日に「動物園等実習」があるため、木曜日分の授業数及び単位は「動物園等実習」に表記している。

科 目		担 当		実務経験						
トリミング実習Ⅵ		長倉絵里花 (JKC 認定トリマー) 橋本沙耶 (PBS 認定トリマー)		有	ペットショップペリート代表 学院専任教員、教員暦 5 年					
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位		
2 年	動物管理学科管理コース			後期	実習	必修	120※	4※		
授業目標	・シャンプーからカットまでを学び、犬猫による特徴を強調する技術を理解し、実践力を身につける。犬、猫の長所と短所を見抜き個々の魅力を最大限に引き出すことを学ぶ。									
授業概要	・トリミングの手技とともに、取扱いう動物のボディチェックやバイタルサインの確認の習得も併せて行う。									
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	20 点		80 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。									
教 材 参考書	・DOG GROOMING BOOK New Edition（エデュワードプレス）									
授業計画	毎週月曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30				
	毎週水曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30				
	毎週木曜日	1 限目	9：10～10：40		2 限目	10：50～12：20				
		3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30				
回	テーマ		授業内容							
1・2	モデル犬家庭犬によるグルーミング実習		実習							
3・4										
5・6	〃		〃							
7・8	〃		〃							
9・10	〃		〃							
11・12	〃		〃							
13・14	〃		〃							
15・16	〃		〃							
17・18	〃		〃							
19・20	〃		〃							
21・22	〃		〃							
23・24	〃		〃							
25・26	〃		〃							
27・28	〃		〃							
29・30	〃		〃							
31・32	〃		〃							
33・34	〃		〃							
35・36	〃		〃							
37・38	〃		〃							
39・40	〃		〃							
41・42	〃		〃							
43・44	〃		〃							
45・46	〃		〃							
47・48	〃		〃							
49・50	〃		〃							
51・52	〃		〃							
53・54	まとめ試験		〃							
55・56										

※木曜日に「動物園等実習」があるため、木曜日分の授業数及び単位は「動物園等実習」に表記している。

科 目		担 当		実務経験			
動物園等実習			有				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物管理学科管理コース		通年	実習	必修	240※	8※
授業目標	・						
授業概要	・						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
			80 点		20 点		
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はCとなる。						
教 材	・						
参考書							
授業計画	毎週木曜日	1 限目	9：10～10：40	2 限目	10：50～12：20		
		3 限目	13：20～14：50	4 限目	15：00～16：30		
回	テーマ	授業内容					
1-4	動植物園実習						
5-8	熊本県動物愛護センター						
9-12	動植物園実習						
13-16	熊本県動物愛護センター						
17-20	動植物園実習						
21-24	熊本県動物愛護センター						
25-28	動植物園実習						
29-32	熊本県動物愛護センター						
33-36	動植物園実習						
37-40	熊本県動物愛護センター						
41-44	動植物園実習						
45-48	熊本県動物愛護センター						
49-52	動植物園実習						
53-56	熊本県動物愛護センター						
1-4	動植物園実習						
5-8	熊本県動物愛護センター						
9-12	動植物園実習						
13-16	熊本県動物愛護センター						
17-20	動植物園実習						
21-24	熊本県動物愛護センター						
25-28	動植物園実習						
29-32	熊本県動物愛護センター						
33-36	動植物園実習						
37-40	熊本県動物愛護センター						
41-44	動植物園実習						
45-48	熊本県動物愛護センター						
49-52	動植物園実習						
53-56	熊本県動物愛護センター						

※〔トリミング実習〕及び〔動物園等実習〕を合わせた授業時間及び単位数を表記している。

※〔動物園等実習〕は2回/月、半期（8回（64時間））実施予定。通年（128時間）で4単位を含む。

二年次科目

—動物管理学科（トリマーコース）—

科 目		担 当		実務経験				
動物形態機能学Ⅲ		北島眞実子 (獣医師)		有	大学卒業後動物病院に 10 年間勤務し獣医療に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通			前期	講義	必修	30	1
授業目標		・血液の働き、成分、循環にかかわる形態と機能について学ぶ。生物は、細胞によって構成されているが、細胞は、エネルギーによって活動できる。そのエネルギーは、酸素及び栄養成分によって得られる。これらの成分は、血液を介して全身に送られている。この血液の役割を理解することを目的とする。						
授業概要		・(血液学)						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度		出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材		・動物看護コアテキスト第3版 第1巻 基礎動物学Ⅰ (ファームプレス) ・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学 (ファームプレス) ・講師配付資料						
参考書								
授業計画		毎週火曜日	1 限目	9 : 10～10 : 40				
回	テーマ		授業内容					
1	血液の働き		血液成分と働き					
2	赤血球の形態と働き		赤血球の形態と種類、網状赤血球					
3	赤血球の寿命と評価		赤血球の老化と寿命、赤血球の評価及び疾患					
4	白血球の種類と働き		白血球の種類と役割、白血球の疾患					
5	その他の血液成分と役割 ①血小板、②血漿		血小板、血漿					
6	その他の血液成分と役割 ①無機塩類、②血漿タンパク質		無機塩類、血漿タンパク質					
7	血液に関する臓器と組織 1		心臓の形態と心電図					
8	血液に関する臓器と組織 2		血液循環とリンパ系循環					
9	血液凝固		血液凝固、止血					
10	血液型 血液型とは：イヌとネコの血液型		血液型					
11	血液型 白血球型と血漿タンパク質型		MHC					
12	輸血について 1		イヌとネコの輸血					
13	輸血について 2		クロスマッチテスト					
14	まとめ		血液に関する問題を中心に					

科 目		担 当		実務経験				
動物形態機能学Ⅳ		芝田猛 (農学博士)		有	東海大学名誉教授、農学部長、大学教授として 40 年勤務			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・動物が自然界で生きてゆくためには、外部環境から自らを防衛しなければならない。そのためには皮膚での物理的な防御に加え、体内では異物を排除するための免疫機能が備わっている。動物では、複雑な免疫システムが発達しており、近年も様々な機能が明らかにされてきている。一方、アレルギーなどの過剰反応も生ずる。ここでは免疫の基本的な仕組みを理解し、動物看護の一助とすることを目的としている。							
授業概要	・（免疫学） ・炎症と免疫の機序とアレルギーや自己免疫性疾患についても学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第1巻 基礎動物学Ⅰ（ファームプレス） ・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学（ファームプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1	炎症		炎症の五大主徴、関連する細胞					
2	免疫とは；体を守る仕組み		止血、皮膚、身体を守る					
3	免疫器官と免疫細胞		白血球の種類、体の免疫器官					
4	自然免疫系による防御		自然免疫系とは					
5	獲得免疫系（体液性免疫）		体液性免疫の仕組み					
6	抗体の種類と構造		免疫グロブリン					
7	獲得免疫系（細胞性免疫）		細胞性免疫の仕組み					
8	サイトカインについて		サイトカインの役割、インターロイキン					
9	免疫の応用と受動免疫		ワクチン感染症の制御、新生子の免疫・抗体の移行					
10	アレルギーの仕組み		免疫応答の異常					
11	抗体とアレルギーの遺伝		免疫に関する遺伝子について					
12	自己免疫疾患と免疫不全							
13	移植と拒絶反応							
14	免疫によるがん治療およびまとめ		免疫に関する問題を中心として					

科 目		担 当		実務経験				
動物臨床栄養学Ⅱ		津田圭子 (獣医師)		有	大学卒業後国、県、民間等に約 20 年勤務し 公衆衛生研究部門に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・ 六大栄養素を理解する。犬猫の必要栄養素の違いを理解する。ペットフードの表記を理解する。ライフステージの違いを理解する。BCS 評価及びカロリー計算ができるようにする。							
授業概要	・ 基礎栄養素および主に犬猫に必要な栄養素、ペットフードの基本的な知識と特別療法食の特性など個体に合った。適切な食事管理についての知識を身につける。またペットフードの市場について考察する。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第2巻 基礎動物学Ⅱ (ファームプレス) ・ 動物栄養学 (エデュワードプレス) ・ √ルート計算の出来る電卓を各自用意 ・ 講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週月曜日	2 限目		10 : 50～12 : 20				
回	テーマ		授業内容					
1	消化器病		膵臓の疾患とその食事管理、大腸の吸収の仕組み、大腸の疾患とその食事管理					
2	腎臓病		慢性腎臓病の食事の与え方					
3	肝臓病		肝臓病の栄養管理、肝臓病とその食事管理					
4	糖尿病		糖尿病の仕組みとその症状、糖尿病の食事管理					
5	食物アレルギー		食物アレルギーの原因と症状、食物アレルギーの仕組み、食物アレルギーの食事管理					
6	〃		食物アレルギーの食事管理、その他の皮膚疾患					
7	がん		がんの栄養管理、がんの食事の与え方					
8	脳の加齢と認知障害、肥満							
9	甲状腺機能亢進症		甲状腺機能亢進症の仕組みと症状、甲状腺機能亢進症の食事管理					
10	嗜好性							
11	ペットフードの管理		ペットフードに関する規則					
12	医療面接の目的		コミュニケーションの基本、栄養指導面接の基本的な流れ					
13	小テスト							
14	小テスト							

科 目		担 当		実務経験				
比較動物学Ⅰ		本田公三 (獣医師)		有	大学卒業後地方自治体において動物園、公衆衛生分野に勤務			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通			前期	講義	必修	30	1
授業目標		・日本（世界）の野生動物の種類と生息環境と保全の概況について学ぶ。 ・外来生物が在来種に及ぼす影響や対策について学ぶ。						
授業概要		・動物園・水族館等の展示動物についてその意義や役割及び課題について学ぶ。歴史や、社会との関わりについて理解を深める。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材		・動物看護コアテキスト第3版 第2巻 基礎動物学Ⅱ（ファームプレス） ・講師配付資料						
参考書								
授業計画		毎週火曜日	2 限目		10：50～12：20			
回	テーマ		授業内容					
1	野生動物の定義		野生動物と家畜の違いについて					
2	野生動物の種類と生息分布		日本生息する野生動物について学ぶ					
3	野生動物の食性		野生動物の地理的生息環境について学ぶ					
4	外来生物		人によって持ち込まれた自然分布域以外の地域に移動させられた生物について学ぶ。					
5	展示動物の定義		展示動物の基本的な考え方や種類、繁殖、修正飼育について学ぶ					
6	鳥獣害		野生鳥獣による農林水産物への被害と対策					
7	〃		〃					
8	保全		生息環境や種の保存の取り組み状況と展望					
9	〃		〃					
10	絶滅危惧種とレッドリスト		絶滅あるいは絶滅が危惧される野生動物の状況					
11	〃		〃					
12	動物園・水族館の役割		動物園や水族館の役割や今後の展望					
13	まとめ							
14	まとめ							

科 目		担 当	実務経験					
動物感染症学Ⅲ		石井実生 (獣医師)	有	大学卒業後動物病院に勤務 20 年間獣医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	全学科共通		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・動物をとりまく環境と寄生虫の関係について理解し、寄生虫の生物学的な特徴や寄生虫症についての基礎知識を修得する。主にイヌ、ネコに寄生する内部、外部の寄生虫の感染経路、病害発生の機序、検査法を学び、飼主に寄生虫感染の予防の大切さを伝えられるようにする。							
授業概要	・(寄生虫学) ・外部寄生虫、内部寄生虫、人獣共通感染症となる寄生虫病に関する診断と予防および治療について学ぶ。							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学 (ファームプレス) ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	3 限目	13 : 20～14 : 50					
回	テーマ		授業内容					
1	寄生虫学総論①		寄生虫とは					
2	〃 ②		寄生虫の生活環と病害性					
3	犬猫の内部寄生虫①		原虫類					
4	〃 ②		線虫類					
5	〃 ③		条虫類					
6	〃 ④		吸虫類					
7	犬猫の外部寄生虫①		ダニ類					
8	〃 ②		昆虫類					
9	その他の寄生虫		エキゾチックアニマル、家畜					
10	人獣共通感染症		人間と動物に感染する寄生虫					
11	診断と予防		検査方法					
12	駆除薬		駆除薬の種類、効果					
13	テスト		ペーパーテスト					
14	テスト		ペーパーテスト					

科 目		担 当	実務経験					
動物内科看護学Ⅱ		池上美紀 (統一認定動物看護師)	有	高校卒業後動物病院に勤務し動物医療に従事、専門学校講師				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	全学科共通		前期	講義	必修	30	1	
授業目標	・ チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学習する。また、治療方針の理解度を深め、動物看護に必要な疾病について学習する。特有の検査や動物看護に必要な知識を学び、動物看護を実践できるよう知識を身に着ける。疾患によっては好発種や好発年齢があるので、そのポイントを把握したうえで、各症状を理解し、動物への看護法を身につける。概論として、バイタルサインや BCS についても学ぶ。							
授業概要	・ 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬輸液輸血について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・ 犬の骨格標本、犬の筋肉標本、組織プレパラート、顕微鏡等							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	4 限目	15：00～16：30					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当	実務経験					
動物内科看護学Ⅲ		池上美紀 (統一認定動物看護師)	有	高校卒業後動物病院に勤務し動物医療に従事、専門学校講師				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	全学科共通		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・ チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学習する。また、治療方針の理解度を深め、動物看護に必要な疾病について学習する。特有の検査や動物看護に必要な知識を学び、動物看護を実践できるよう知識を身に着ける。疾患によっては好発種や好発年齢があるので、そのポイントを把握したうえで、各症状を理解し、動物への看護法を身につける。概論として、バイタルサインや BCS についても学ぶ。							
授業概要	・ 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬輸液輸血について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・ 犬の骨格標本、犬の筋肉標本、組織プレパラート、顕微鏡等							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	4 限目	15：00～16：30					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当	実務経験					
動物臨床看護学各論Ⅱ		中村あゆみ (統一認定動物看護師)	有	高校卒業後動物病院に 20 年間勤務し動物医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	全学科共通		前期	講義	必修	30	1	
授業目標	・様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供するべきか、評価と介入の方法を修得する。							
授業概要	・消化器、呼吸器系、循環器、生殖器、造血器、免疫介在性疾患等についてその機序評価治療等について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス） ・動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週月曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1	消化器系疾患		消化器疾患の発生器所と病態					
2	〃		消化器疾患の療法職					
3	呼吸器系疾患		主な疾患と症状					
4	〃		検査法と看護のポイント					
5	循環器系疾患		主な疾患名と症状					
6	〃		検査法と看護のポイント					
7	まとめ							
8	泌尿器系疾患		全身状態と排尿異常					
9	〃		疾患名および検査について					
10	繁殖・生殖器・新生子の疾患		繁殖（雌の発情、妊娠、分娩）と疾患について					
11	〃		〃					
12	造血器・免疫介在性疾患		免疫介在性溶血性貧血（IMHA）腎性貧血等					
13	救急疾患		基本的知識を学び、看護に展開させる					
14	まとめ							

科 目		担 当		実務経験						
愛玩動物学Ⅱ		本田公三 (獣医師)		有	動物園長、専門学校教職 4 年					
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位		
2 年	全学科共通			後期	講義	必修	30	1		
授業目標		・ 兎、モルモット、ハムスター、マウス、ラットおよび鳥類などの歴史、特徴、習性、繁殖、飼育管理などについて学ぶ。また最近わが国で飼育されている各種の愛玩動物についても取り上げる。飼育方法にもふれる。								
授業概要		・ エキゾチックアニマルの家畜化の歴史と種類、習性と飼育管理法について学ぶ。								
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点									
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。									
教 材 参考書		・ 動物看護コアテキスト第3版 第6巻 愛護・適正飼養学（ファームプレス） ・ 講師配付資料								
授業計画		毎週月曜日		1 限目		9：10～10：40				
回	テーマ			授業内容						
1	授業ガイダンス			エキゾチックアニマルの定義と飼育上の問題点を考える。						
2	ウサギ①			ウサギの生態、疾病と検査法について理解し、飼育・看護に活かす。						
3	ウサギ②			ウサギの検査時、診察時の保定法を学ぶ。						
4	ハムスター①			ハムスターの生態、疾病と検査法について理解し、飼育・看護に活かす。						
5	〃 ②			ハムスターの検査時、診察時の保定法を学ぶ。						
6	フェレット			フェレットの生態、疾病と検査法について理解し、飼育・看護に活かす。						
7	モルモット①			モルモットの生態、疾病と検査法について理解し、飼育・看護に活かす。						
8	〃 ② 確認テスト			・ モルモットの疾病と看護について学ぶ。 ・ ウサギ、ハムスター、フェレット、モルモットについて理解ができたかを確認する。						
9	小鳥①			小鳥の生態と検査時、診察時の保定法について学ぶ。						
10	〃 ②			小鳥の解剖学的特徴と疾病を理解する。						
11	大型インコ			大型インコ類の生態や習性理解する。						
12	猛禽類			猛禽類の生態、保定法、疾病について理解する。						
13	爬虫類			爬虫類の生態、保定法、疾病について理解する。						
14	両生類 確認テスト			・ 両生類の生態や習性について学ぶ。 ・ ウサギ、ハムスター、フェレット、モルモット、小鳥、両生類、爬虫類について理解できたかを確認する。						

科 目		担 当		実務経験				
人と動物の関係学		井上竜一 (統一認定動物看護師)		有	大学専門学校卒業後教職として専門学校勤務 8年従事、専門学校講師			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2年	全学科共通			前期	講義	必修	30	1
授業目標	・人と動物の絆（HAB）の理念と動物介在活動（AAA）動物介在教育（AAE）および動物介在療法（AAT）などの社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与する。HAB による人間と動物にもたらす影響とその目的を理解し、AAA・AAE・AAT の理念と目的を学ぶ。							
授業概要	・科動物の家畜化の歴史、人との絆、介在活動、介在教育、介在療法等について学ぶ。							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし、評価はCとなる。							
教材 参考書	・動物看護コアテキスト第3版 第6巻 愛護・適正飼養学（ファームプレス）							
授業計画	毎週火曜日		3 限目		13：20～14：50			
回	テーマ			授業内容				
1	犬の起源と家畜化			犬と人の関係を歴史から学ぶ				
2	猫の起源と家畜化			猫と人の関係を歴史から学ぶ				
3	現代の人と動物の関わり			現代の動物と人との関係を学ぶ				
4	使役動物①			使役動物を学ぶ				
5	〃 ②			〃				
6	ペットと人の絆①			HAB の概念を知る				
7	〃 ②			ペットと人の絆を考察する				
8	ペットの飼育			ペット飼育の歴史と現状				
9	動物介在活動・動物介在教育・動物介在療法とは			AAA／AAE／AAT を知る				
10	〃			〃				
11	高齢者・子供に及ぼす動物の効果			人の成長過程における動物の影響				
12	動物の死とペットロス			ペットロス、安楽死を正しく理解する				
13	まとめ			復習				
14	〃			〃				

科 目		担 当	実務経験				
訓練学Ⅱ		山中彩紗子 (訓練士)	有				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通		前期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・ 訓練士の役割、愛犬家のモラル向上、躰、訓練による社会生活について理解する。 ・ ルール、ドッグスポーツ、犬を通しての社会貢献犬の本能・行動終生についての基本的なことを理解し、テーマごとにトレーニング技術を修得する。						
授業概要	・ 犬の行動様式を学び、トレーニングの開始時期、家庭犬のトレーニング、競技会の科目の内容まで学ぶ。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
	50 点	50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。						
教 材	・ JKC 基本訓練マニュアル ・ 日本警察犬協会 DVD ・ 訓練試験科目 DVD						
参考書	・ トレーニング学（日本ペットビジネススクール協会）						
授業計画	毎週水曜日	1 限目	9：10～10：40				
回	テーマ		授業内容				
1	日本警察犬協会 DVD		実技（脚側行進・停座・伏臥・立止などをスムーズに行動できるようになる。）（ボールを使ったり、おやつを使ったり集中力とコントロール）				
2	日本警察犬訓練試験科目 DVD		〃				
3	訓練試験科目の説明		〃				
4	〃		〃				
5	ヨーロッパ式訓練方法 DVD		〃				
6	〃 DVD 説明		〃				
7	日本警察犬協会規定集		〃				
8	〃		〃				
9	〃		〃				
10	〃		〃				
11	〃		〃				
12	〃 豆辞典		〃				
13	〃 〃		〃				
14	〃 〃		〃				

科 目		担 当	実務経験				
訓練学Ⅲ		山中彩紗子 (訓練士)	有				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物管理学科		後期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・ 訓練士の役割、愛犬家のモラル向上、躰、訓練による社会生活について理解する。 ・ ルール、ドッグスポーツ、犬を通しての社会貢献犬の本能・行動終生についての基本的なことを理解し、テーマごとにトレーニング技術を修得する。						
授業概要	・ 犬の行動様式を学び、トレーニングの開始時期、家庭犬のトレーニング、競技会の科目の内容まで学ぶ。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
	50 点	50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。						
教 材	・ JKC 基本訓練マニュアル ・ 日本警察犬協会 DVD ・ 訓練試験科目 DVD						
参考書	・ トレーニング学（日本ペットビジネススクール協会）						
授業計画	毎週水曜日	1 限目	9：10～10：40				
回	テーマ		授業内容				
1	日本警察犬協会 DVD		実技（脚側行進・停座・伏臥・立止などをスムーズに行動できるようになる。）（ボールを使ったり、おやつを使ったり集中力とコントロール）				
2	日本警察犬訓練試験科目 DVD		〃				
3	訓練試験科目の説明		〃				
4	〃		〃				
5	ヨーロッパ式訓練方法 DVD		〃				
6	〃 DVD 説明		〃				
7	日本警察犬協会規定集		〃				
8	〃		〃				
9	〃		〃				
10	〃		〃				
11	〃		〃				
12	〃 豆辞典		〃				
13	〃 〃		〃				
14	〃 〃		〃				

科 目		担 当		実務経験			
販売学				有			
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物管理学科		後期	講義・実技	必修	30	1
授業目標							
授業概要							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
	50 点	50 点					
※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材							
参考書							
授業計画	毎週水曜日	2 限目	10：50～12：20				
回	テーマ		授業内容				
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							

科 目		担 当	実務経験					
動物物理学療法学Ⅰ		大塚敦子 (統一認定動物看護師)	有	動物病院勤務歴 20 年				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
2 年	全学科共通		後期	講義	必修	30	1	
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・ 動物看護実習テキスト第3版（エデュワードプレス） ・ 講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	1 限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当	実務経験			
特別講義						
対象年次	学 科	開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	全学科共通	前期	講義	必修	30	1
授業目標	・					
授業概要	・					
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況	
	100 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。					
教 材 参考書	・講師配付資料					
授業計画	毎週月曜日	1 限目	9：10～10：40			
回	テーマ	授業内容				
1	SDGs について	くまもと SDGs 推進財団				
2	地球温暖化とエネルギー	九州電力株式会社				
3	次亜水について	株式会社エイチ・エス・ピー				
4	食について	玉名牧場代表				
5	動物愛護について	熊本県動物愛護センター所長				
6	肥後チャボについて	肥後チャボ保存会				
7	就職活動について	ハローワーク 就職支援				
8	動物愛護について	熊本市動物愛護センター				
9	宇宙飛行から動物保護へ	アニマルライフセンター				
10	動植物園について	熊本市動植物園				
11	有明海・八代海の再生について	熊本県環境立県推進課				
12	エキゾチックアニマルについて	レップアンバー				
13	健康保険、年金制度について	全国健康保険協会 熊本支部				
14	野生動物について	ツシマヤマネコ野生順化ステーション				

※2021 年度の実施内容を表記しています。

科 目		担 当		実務経験			
就職支援			有				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
2 年	動物管理学科		前期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・						
授業概要	・						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況	
			50 点		25 点	25 点	
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。						
教 材 参考書	・講師配付資料						
授業計画	毎週水曜日	2 限目	10：50～12：20				
回	テーマ		授業内容				
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							

科 目		担 当		実務経験						
トリミング実習Ⅶ		長倉絵里花 (JKC 認定トリマー) 橋本沙耶 (PBS 認定トリマー)		有	ペットショップペリート代表 学院専任教員、教員暦 5 年					
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位		
2 年	動物管理学科トリマーコース			前期	実習	必修	360	12		
授業目標	・ シャンプーからカットまでを学び、犬猫による特徴を強調する技術を理解し、実践力を身につける。犬、猫の長所と短所を見抜き個々の魅力を最大限に引き出すことを学ぶ。									
授業概要	・ トリミングの手技とともに、取扱い動物のボディチェックやバイタルサインの確認の習得も併せて行う。									
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	20 点		80 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が 3 分の 2 以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90) 、A (89～80) 、B (79～70) 、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。									
教 材 参考書	・ DOG GROOMING BOOK New Edition (エデュワードプレス)									
授業計画	毎週月曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30				
	毎週水曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30				
	毎週木・金曜日	1 限目	9：10～10：40		2 限目	10：50～12：20				
		3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30				
回	テーマ		授業内容							
1-12	モデル犬家庭犬によるグルーミング実習		実習							
13-24										
25-36	〃									
37-48										
49-60										
61-72										
73-84										
85-96										
97-108										
109-120										
121-132										
133-144										
145-156										
157-168										
169-180										
181-192										
193-204										
205-216										
217-228										
229-240										
241-252										
253-264										
265-276										
277-288										
289-300										
301-312										
313-324										
325-336										
337-348										
349-360										

科 目		担 当		実務経験						
トリミング実習Ⅷ		長倉絵里花 (JKC 認定トリマー) 橋本沙耶 (PBS 認定トリマー)		有	ペットショップペリート代表 学院専任教員、教員暦 5 年					
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位		
2 年	動物管理学科トリマーコース			前期	実習	必修	360	12		
授業目標	・ シャンプーからカットまでを学び、犬猫による特徴を強調する技術を理解し、実践力を身につける。犬、猫の長所と短所を見抜き個々の魅力を最大限に引き出すことを学ぶ。									
授業概要	・ トリミングの手技とともに、取扱い動物のボディチェックやバイタルサインの確認の習得も併せて行う。									
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	20 点		80 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が 3 分の 2 以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90) 、A (89～80) 、B (79～70) 、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。									
教 材 参考書	・ DOG GROOMING BOOK New Edition (エデュワードプレス)									
授業計画	毎週月曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30				
	毎週水曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30				
	毎週木・金曜日	1 限目	9：10～10：40		2 限目	10：50～12：20				
		3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30				
回	テーマ			授業内容						
1-12	モデル犬家庭犬によるグルーミング実習			実習						
13-24										
25-36	〃									
37-48										
49-60										
61-72										
73-84										
85-96										
97-108										
109-120										
121-132										
133-144										
145-156										
157-168										
169-180										
181-192										
193-204										
205-216										
217-228										
229-240										
241-252										
253-264										
265-276										
277-288										
289-300										
301-312										
313-324										
325-336										
337-348										
349-360										

三年次科目

—動物看護学科—

科 目		担 当	実務経験					
動物繁殖学		石井実生 (獣医師)	有	大学卒業後動物病院に勤務 20 年間獣医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
3 年	動物看護学科		前期	講義	必修	30	1	
授業目標	・ 犬と猫、その他の動物の繁殖生理について学び、性行動、妊娠分娩、避妊去勢の知識を習得する。また、生殖器の構造、受精と着床のしくみ、妊娠の診断法や正常分娩と異常分娩の違いや、産褥期における母胎と新生子の管理などについて詳しく学ぶ。さらに遺伝についても基本を押さえる。							
授業概要	・ 繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子の管理、遺伝学低概要を学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第1巻 基礎動物学Ⅰ（ファームプレス） ・ 講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	3 限目	13：20～14：50					
回	テーマ		授業内容					
1	動物繁殖学総論							
2	生殖器の形態と機能		性成熟と繁殖生理①					
3	生殖器の構造について理解する。		雌性生殖器、雄性生殖器の基本構造について理解する。②					
4	性周期と交配		性成熟と発情徴候、性ホルモンについて理解する。①					
5	〃		雌犬の発情について②					
6	〃		雌猫の発情について③					
7	〃		自然排卵、交尾排卵について理解する。④					
8	〃		性周期と膣スメアの関係を理解する。⑤					
9	〃		交配適期の決定法を理解する。⑥					
10	妊娠と分娩		着床・妊娠胎児の発育について理解する。①					
11	〃		妊娠診断、妊娠期間、妊娠徴候について理解する。②					
12	〃		分娩と助産、帝王切開、人工授精について理解する③					
13	〃		新生子管理、遺伝学概論					
14	まとめ		免疫に関する問題を中心として					

科 目		担 当		実務経験				
比較動物学Ⅱ		本田公三 (獣医師)		有	大学卒業後地方自治体において動物園、公衆衛生分野に勤務			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・産業動物の歴史や品種、飼育管理法および畜産業等社会との関わりについて理解を深める。							
授業概要	・家畜化の歴史人との関わり、牛、馬、豚、山羊、羊、鶏等の品種と飼養管理法について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第2巻 基礎動物学Ⅱ（ファームプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	1 限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1	家畜とは何か							
2	産業動物－畜産学概論、		畜産学の概論					
3	馬の歴史と品種、特徴		馬の進化と歴史、解剖学的特徴等について学ぶ					
4	〃		〃					
5	牛の歴史と品種と特徴		牛の進化と歴史、解剖学的特徴等について学ぶ					
6	〃		〃					
7	緬羊・山羊の歴史と品種、特徴		緬山羊の進化と歴史、解剖学的特徴等について学ぶ					
8	豚の歴史と品種、特徴		豚の進化と歴史、解剖学的特徴等について学ぶ					
9	鶏の歴史と品種、特徴		鶏の進化と歴史、解剖学的特徴等について学ぶ					
10	飼育管理法～反芻動物の消化器と機能		反芻動物の消化器と機能について学ぶ					
11	飼育管理法～馬の消化器と機能		馬の消化器と機能について学ぶ					
12	飼育管理法～豚の消化器と機能		豚の消化器と機能について学ぶ					
13	飼育管理法～鶏の消化器と機能		鶏の消化器と機能について学ぶ					
14	各家畜の性周期と繁殖整理 確認テスト		まとめ					

科 目		担 当	実務経験				
動物病理学		()					
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科		前期	講義	必修	30	1
授業目標	・ 病気とはどのような現象か、どのような原因で病気が成立するか、また、臨床病理学的にはどのような種類の病気があるかを学ぶ。また、病気に伴う生体内（細胞・組織）の基本的変化と名称の定義を学ぶ。更に、代謝障害、炎症、腫瘍、遺伝病、免疫異常疾患等とはどのような病気があるか、それらの病気による病理学的、臨床的变化について学ぶ。なお、高齢化に伴う生体の生理・機能的変化および多発しやすい疾患についても学ぶ。						
授業概要	・ 病理学の概要、正常な細胞・組織とその病的変化、新陳代謝障害、炎症、腫瘍、先天的異常、免疫疾患等について学ぶ。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
	100 点						
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。						
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学（ファームプレス） ・ 講師配付資料						
参考書							
授業計画	毎週金曜日	1 限目	9：10～10：40				
回	テーマ		授業内容				
1	1.動物病理学の概要		病理学とは、動物病理学で何を学ぶか、病理学の歴史、病気とはどのような現象か、その定義、病気の分離と種類、病気の原因と成因				
2	2.細胞・組織およびその変化		細胞と組織の種類、機能、その生理的变化（増殖、分化、死）、上皮細胞（組織）と非上皮細胞（組織）、組織の実質と間質、細胞死（生理的死、自死、病的死、寿命死）				
3	3.細胞・組織の病的変化 1) 退行性の病変		細胞・組織の障害に伴う変化およびその種々相、変性とその種類、萎縮、壊死（凝固壊死、融解壊死、壊疽）				
4	2) 進行性の病変		肥大、過形成、再生と修復、肉芽組織、創傷治癒、器質化、移植				
5	3) 循環障害		貧血、虚血とショック、充血とうっ血、出血、血栓と塞栓、梗塞、リンパ系の障害と水腫（浮腫）				
6	4.新陳代謝障害		代謝機能障害と物質沈着障害、それらによる主要疾患とその成因（糖尿病、黄疸、尿酸塩沈着症、アミロイドーシス、結石症、等）				
7	5.炎症 1) 炎症総論		炎症の特徴、定義、炎症に関与する細胞および液性因子、急性炎症の 5 徴候、急性炎症の転機				
8	2) 急性炎症		変質性炎と滲出性炎、漿液性炎、カタル性炎、線維索性炎、化膿性炎、出血性炎、壊疽性炎、過形成性炎、特異性炎				
9	3) 慢性炎症		過形成性炎（繁殖性炎と増殖性炎、特異性炎の組織学的特徴、慢性疾患の転機				
10	6.腫瘍 1) 腫瘍総論		腫瘍の定義、腫瘍の細胞および組織学的特徴、腫瘍の発生原因、成因と外因、内因、腫瘍発生の機構、腫瘍の種類（良性と悪性）およびその相違、癌と肉腫				
11	2) 腫瘍各論		腫瘍の転移と再発の機序、イヌ、ネコ等に多く認められる主な腫瘍とその特徴				
12	7.先天性異常疾患		先天性異常疾患とその原因、発生機序、奇形とは、奇形の発生機構、先天異常と染色体異常、主な遺伝病				
13	8.免疫機構の異常に伴う疾患		高等動物の免疫機構およびその破綻、アレルギー疾患の種類と特徴、免疫寛容と自己免疫疾患、免疫不全症とその原因、免疫系増殖疾患				
14	9.高齢化に伴う変化 10.病理学的診断法		高齢化に伴う生体の生理的・機能的変化、高齢化に伴う疾患、病理学的検査、診断法				

科 目		担 当		実務経験				
動物薬理学Ⅱ		仁木隆博 (農学博士)		有	東海大学名誉教授、農学博士、大学教授として40年勤務			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3年	動物看護学科			前期	講義	必修	30	1
授業目標		・薬の作用機序とその有害作用ならびに獣医療現場で使用される主な薬剤の特性について学び、薬剤を正しく取り揃えられることを目標とする。さらに、薬理作用と薬物代謝の仕組みおよび薬の有害作用機序や中毒を理解し、獣医療現場で使用される薬剤の特性について習得する。						
授業概要		・薬理の作用機序と神経系消化器系呼吸器系循環器系に作用する薬剤動態について学ぶ。						
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度		出席状況		
	100点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし、評価はCとなる。							
教 材		・動物看護コアテキスト第3版 第3巻 基礎動物看護学（ファームプレス） ・講師配付資料						
参考書		・愛玩動物看護師の教科書第3巻 基礎動物看護学（緑書房）						
授業計画		毎週水曜日 1限目 9：10～10：40						
回	テーマ		授業内容					
1	消化器に作用する薬物 ～制吐薬と抗潰瘍薬		獣医療で使用される消化器に作用する薬物に関して、制吐薬と抗潰瘍薬について学習する。					
2	～消化管運動に作用する薬と止瀉薬		獣医療で使用される消化器に作用する薬物に関して、消化管運動に作用する薬や止瀉薬を学習する。					
3	～瀉下薬と肝疾患、胆道疾患の治療薬		獣医療で使用される消化器に作用する薬物に関して、瀉下薬と肝疾患、胆道疾患治療薬を学習する。					
4	オータコイド		獣医療で使用される薬物において、オータコイドについて学習する。					
5	代謝・内分泌系の薬物 ～糖尿病治療薬		獣医療で使用される代謝・内分泌系の薬物に関して、糖尿病の治療薬について学習する。					
6	～甲状腺障害治療薬		獣医療で使用される代謝・内分泌系の薬物に関して、甲状腺障害の治療薬について学習する。					
7	～ステロイドホルモン		獣医療で使用される代謝・内分泌系の薬物に関して、ステロイドホルモンについて学習する。					
8	血液・免疫系に作用する薬物 ～抗貧血薬、血液凝固抑制薬、止血薬		獣医療で使用される血液・免疫系に作用する薬物の抗貧血薬、血液凝固抑制薬、止血薬を学習する。					
9	～抗炎症薬と免疫抑制薬		獣医療で使用される血液・免疫系に作用する薬物に関して、抗炎症薬と免疫抑制薬について学習する。					
10	化学療法薬 ～消毒薬と殺虫薬		動物および獣医療の現場において使用される消毒薬と殺虫剤について学習する。					
11	～抗菌薬と抗真菌薬		獣医療で使用される各種薬剤に関して、抗菌薬と抗真菌薬について学習する。					
12	～駆虫薬、抗原虫薬および抗腫瘍薬		獣医療で使用される各種薬剤に関して、駆虫薬、抗原虫薬および抗腫瘍薬について学習する。					
13	薬用量の計算		投薬量の計算について演習し、薬物投与に関する略語についても学習する。					
14	後期総まとめ		授業ノートを確認し、各自で重要な部分を認識しながら復習し、質疑応答も加えてより深く習得する。					

科 目		担 当		実務経験				
公衆衛生学Ⅱ		笠場孝一 (獣医師)		有	大学卒業後地方自治体において公衆衛生行政に 40 年間従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			前期	講義	必修	30	1
授業目標		・ 公衆衛生の基本的な考え方を理解し、国民の健康増進、動物福祉、環境保全などに活かせる知識を身につける。 ・ おもな人獣共通感染症、動物由来の人獣感染症の種類と病害発生の機序を理解する。また、滅菌、消毒の違いと、それぞれの処置方法を学ぶ。さらに国内外を問わず、動物輸送時や受入れの際に必要な知識を身につける。						
授業概要		・ 公衆衛生概論、人獣共通感染症、防疫消毒法について学ぶ。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が 3 分の 2 以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材		・ 動物看護コアテキスト第 3 版 第 3 巻 基礎動物看護学（ファームプレス） ・ 講師配付資料						
参考書								
授業計画		毎週金曜日	2 限目	10：50～12：20				
回	テーマ		授業内容					
1	人獣共通感染症⑬ 細菌による主な人獣共通感染症		細菌による人獣共通感染症の概要や症状、治療・予防法の説明ができるようにする。炭疽、結核 等					
2	〃 ⑭		〃					
3	〃 ⑮		〃					
4	〃 ⑯		〃					
5	〃 ⑰		細菌による人獣共通感染症の概要や症状、治療・予防法の説明ができるようにする。猫ひっかき病 等					
6	〃 ⑱		〃					
7	〃 ⑲ 真菌による主な人獣共通感染症		真菌による人獣共通感染症の概要や症状、治療・予防法の説明ができるようにする。					
8	〃 ⑳		〃					
9	〃 ㉑ 寄生虫による主な人獣共通感染症		原虫による人獣共通感染症の概要や症状、治療・予防法の説明ができるようにする。					
10	〃 ㉒		〃					
11	〃 ㉓		原虫以外の寄生虫による人獣共通感染症の概要や症状、治療・予防法の説明ができるようにする。					
12	〃 ㉔		〃					
13	滅菌と消毒①②③ 滅菌、消毒について		滅菌と消毒の違い、物理的、科学的滅菌方法について学ぶ。					
14	動物防疫学①② 人獣共通感染症の対策		人獣共通感染症の対策について学ぶ。 伴侶動物と共生するうえでの人獣共通感染症の対策					

科 目		担 当	実務経験					
動物臨床看護学各論Ⅲ		石井実生 (獣医師)	有	大学卒業後動物病院に勤務 20 年間獣医療に従事				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
3 年	動物看護学科		前期	講義	必修	30	1	
授業目標	・様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供するべきか、評価と介入の方法を修得する。							
授業概要	・消化器、呼吸器系、循環器、生殖器、造血器、免疫介在性疾患等についてその機序評価治療等について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス） ・動物看護学実習テキスト（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	4 限目	15：00～16：30					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
動物臨床看護学各論Ⅳ		石井実生 (獣医師)		有	大学卒業後動物病院に勤務 20 年間獣医療に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供するべきか、評価と介入の方法を修得する。							
授業概要	・消化器、呼吸器系、循環器、生殖器、造血器、免疫介在性疾患等についてその機序評価治療等について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス） ・動物看護学実習テキスト（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	4 限目	15：00～16：30					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
動物臨床看護学各論Ⅴ		吉川文香 (統一認定動物看護師)		有	動物病院に勤務し動物医療に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・ 様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供するべきか、評価と介入の方法を修得する。							
授業概要	・ 消化器、呼吸器系、循環器、生殖器、造血器、免疫介在性疾患等についてその機序評価治療等について学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス） ・ 動物看護学実習テキスト（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	3 限目	13：20～14：50					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
動物外科看護学実習Ⅴ		石井崇志 (獣医師)		有	大学卒業後動物病院に勤務し獣医療に従事 (20年)			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3年	動物看護学科			前期	講義・実習	必修	30	1
授業目標	・手術準備や術中・術後管理、麻酔監視、手術補助、救急救命等動物外科学で学んだ知識の実践力を習得する。手術における動物看護師の役割を理解し、周術期果たす役割を理解できるようにする。							
授業概要	・麻酔準備、モニタリング、術後の管理、去勢避妊手術時におけるスキルと看護法等を学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度	
	50点				50点			
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし、評価はCとなる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・動物看護学実習テキスト（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週木曜日		3限目		13：20～14：50			
回	テーマ			授業内容				
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
動物外科看護学実習Ⅵ		石井崇志 (獣医師)		有	大学卒業後動物病院に勤務し獣医療に従事 (20年)			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3年	動物看護学科			後期	講義・実習	必修	30	1
授業目標	・手術準備や術中・術後管理、麻酔監視、手術補助、救急救命等動物外科学で学んだ知識の実践力を習得する。手術における動物看護師の役割を理解し、周術期果たす役割を理解できるようにする。							
授業概要	・麻酔準備、モニタリング、術後の管理、去勢避妊手術時におけるスキルと看護法等を学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度	
	50点				50点			
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし、評価はCとなる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・動物看護学実習テキスト（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週木曜日		3限目		13：20～14：50			
回	テーマ			授業内容				
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
動物外科看護学実習Ⅶ		横山敏治 (獣医師)		有	大学卒業後動物病院に 10 年間勤務し動物医療に従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			後期	講義・実習	必修	60	2
授業目標	・手術準備や術中・術後管理、麻酔監視、手術補助、救急救命等動物外科学で学んだ知識の実践力を習得する。手術における動物看護師の役割を理解し、周術期果たす役割を理解できるようにする。							
授業概要	・麻酔準備、モニタリング、術後の管理、去勢避妊手術時におけるスキルと看護法等を学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学（ファームプレス） ・動物看護学実習テキスト（エデュワードプレス）							
参考書								
授業計画	毎週金曜日	3 限目	13：20～14：50		4 限目	15：00～16：30		
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								

科 目		担 当		実務経験				
動物愛護・適正飼養実習Ⅰ		大川恵子 (統一認定動物看護師)		有	動物病院総師長 専門学校卒業後動物病院に 動物看護師として従事 (30 年)			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			前期	講義・実習	必修	30	1
授業目標 授業概要								
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	50 点		50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材		・動物看護コアテキスト第3版 第2巻 基礎動物学Ⅱ (ファームプレス) ・動物看護コアテキスト第3版 第6巻 愛護・適正飼養学 (ファームプレス)						
参考書								
授業計画		毎週木曜日	4 限目	15：00～16：30				
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
動物愛護・適正飼養実習Ⅱ		大川恵子 (統一認定動物看護師)		有	動物病院総師長 専門学校卒業後動物病院に 動物看護師として従事 (30 年)			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			後期	講義・実習	必修	30	1
授業目標 授業概要								
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度	
	50 点				50 点			
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90)、A (89～80)、B (79～70)、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材		・動物看護コアテキスト第3版 第2巻 基礎動物学Ⅱ (ファームプレス) ・動物看護コアテキスト第3版 第6巻 愛護・適正飼養学 (ファームプレス)						
参考書								
授業計画		毎週木曜日		4 限目		15：00～16：30		
回	テーマ			授業内容				
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
動物看護総合実習Ⅲ		大川恵子 (統一認定動物看護師)		有	動物病院総師長 専門学校卒業後動物病院に 動物看護師として従事 (30 年)			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			前期	講義・実習	必修	60	2
授業目標	・ 今までの授業で得た知識と、動物病院で得る臨床経験から実践的な看護を学ぶと同時に動物看護師としての意識を身に付ける。 ・ 授業内容は臨床現場の状況により変更有							
授業概要	・ 動物看護の実務を様々な業種から多角的に捉えた実習を行なう。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度	
	50 点				50 点			
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S (100～90) 、A (89～80) 、B (79～70) 、C (69～60) とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・ 動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ (ファームプレス) ・ 動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ (ファームプレス) ・ 動物看護実習テキスト第3版 (エデュワードプレス)							
参考書								
授業計画	毎週月曜日	3 限目	13：20～14：50	4 限目	15：00～16：30			
回	テーマ		授業内容					
1	食事		食事に関する看護・技術			清掃		
2								
3	〃		〃			〃		
4								
5	排泄技術		排泄のケア			〃		
6								
7	〃		〃			〃		
8								
9	活動・休息・援助		動物病院で必要な活動休息援助技術			〃		
10								
11	〃		〃			〃		
12								
13	身体の清潔・援助		身体の清潔・援助技術			〃		
14								
15	〃		〃			〃		
16								
17	呼吸・循環を整える		呼吸・循環を整える技術			〃		
18								
19	〃		〃			〃		
20								
21	創傷管理		創傷管理技術			〃		
22								
23	投薬		投薬技術			〃		
24								
25	〃		〃			〃		
26								
27	まとめ		復習					
28								

科 目		担 当		実務経験						
動物看護総合実習Ⅳ		大川恵子 (統一認定動物看護師)		有	動物病院総師長 専門学校卒業後動物病院に 動物看護師として従事 (30 年)					
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位		
3 年	動物看護学科			後期	講義・実習	必修	60	2		
授業目標	・今までの授業で得た知識と、動物病院で得る臨床経験から実践的な看護を学ぶと同時に動物看護 師としての意識を身に付ける。 ・授業内容は臨床現場の状況により変更有									
授業概要	・動物看護の実務を様々な業種から多角的に捉えた実習を行なう。									
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	50 点				50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが 必要となる。 ※評価は、S (100～90) 、A (89～80) 、B (79～70) 、C (69～60) とし、60 点未満は 再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。									
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ (ファームプレス) ・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ (ファームプレス) ・動物看護実習テキスト第3版 (エデュワードプレス)									
参考書										
授業計画	毎週月曜日	3 限目	13：20～14：50			4 限目	15：00～16：30			
回	テーマ			授業内容						
1	食事			食事に関する看護・技術			清掃			
2										
3	〃			〃			〃			
4										
5	排泄技術			排泄のケア			〃			
6										
7	〃			〃			〃			
8										
9	活動・休息・援助			動物病院で必要な活動休息援助技術			〃			
10										
11	〃			〃			〃			
12										
13	身体の清潔・援助			身体の清潔・援助技術			〃			
14										
15	〃			〃			〃			
16										
17	呼吸・循環を整える			呼吸・循環を整える技術			〃			
18										
19	〃			〃			〃			
20										
21	創傷管理			創傷管理技術			〃			
22										
23	投薬			投薬技術			〃			
24										
25	〃			〃			〃			
26										
27	まとめ			復習						
28										

科 目		担 当		実務経験				
グリーンケア概論		米田順子 (統一認定動物看護師)		有	高校卒業後動物病院に勤務し動物医療に 10 年従事、専門学校講師			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			前期	講義	必修	30	1
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス） ・動物看護コアテキスト第3版 第6巻 愛護・適正飼養学（ファームプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週木曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
動物介在活動		井上 竜一 (統一認定動物看護師)		有	大学専門学校卒業後教職として専門学校勤務 8 年従事			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第6巻 愛護・適正飼養学（ファームプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週月曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当	実務経験				
訓練学Ⅵ		山中彩紗子 (訓練士)	有				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科		前期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・ 訓練士の役割、愛犬家のモラル向上、躰、訓練による社会生活について理解する。						
授業概要	・ ルール、ドッグスポーツ、犬を通しての社会貢献犬の本能・行動終生についての基本的なことを理解し、テーマごとにトレーニング技術を修得する。						
	・ 犬の行動様式を学び、トレーニングの開始時期、家庭犬のトレーニング、競技会の科目の内容まで学ぶ。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
	50 点	50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。						
教 材	・ JKC 基本訓練マニュアル ・ 日本警察犬協会 DVD ・ 訓練試験科目 DVD						
参考書	・ トレーニング学（日本ペットビジネススクール協会）						
授業計画	毎週水曜日		2 限目	10：50～12：20			
回	テーマ		授業内容				
1	国際訓練試験「BH」		脚側行進・停座・伏臥・立止、持来、強制持来、脚側停座・休止などの指示、声符などでできているか、スムーズにできるようになる。				
2	〃		〃				
3	〃		〃				
4	〃		〃				
5	JKC 家庭犬訓練		〃				
6	〃		〃				
7	〃		〃				
8	〃		〃				
9	〃		〃				
10	〃		〃				
11	犬学の基礎と用語		〃				
12	〃		〃				
13	公認訓練士規定		〃				
14	〃		〃				

科 目		担 当		実務経験			
訓練学Ⅶ		山中彩紗子 (訓練士)		有			
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科		後期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・ 訓練士の役割、愛犬家のモラル向上、躰、訓練による社会生活について理解する。 ・ ルール、ドッグスポーツ、犬を通しての社会貢献犬の本能・行動終生についての基本的なことを理解し、テーマごとにトレーニング技術を修得する。						
授業概要	・ 犬の行動様式を学び、トレーニングの開始時期、家庭犬のトレーニング、競技会の科目の内容まで学ぶ。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況	
	50 点	50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては80 点以上を合格とし、評価はC となる。						
教 材	・ JKC 基本訓練マニュアル ・ 日本警察犬協会 DVD ・ 訓練試験科目 DVD						
参考書	・ トレーニング学（日本ペットビジネススクール協会）						
授業計画	毎週水曜日		2 限目	10：50～12：20			
回	テーマ		授業内容				
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							

科 目		担 当	実務経験					
動物物理学療法学Ⅱ		大塚敦子 (統一認定動物看護師)	有	動物病院勤務歴 20 年				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
3 年	動物看護学科		前期	講義	必修	30	1	
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週月曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当	実務経験					
動物物理学療法学実習Ⅰ		大塚敦子 (統一認定動物看護師)	有	動物病院勤務歴 20 年				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
3 年	動物看護学科		前期	講義・実習	必修	30	1	
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	25 点	25 点	50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当	実務経験					
動物物理学療法学実習Ⅱ		大塚敦子 (統一認定動物看護師)	有	動物病院勤務歴 20 年				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
3 年	動物看護学科		後期	講義・実習	必修	30	1	
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	25 点	25 点	50 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第4巻 臨床動物看護学Ⅰ（ファームプレス） ・講師配付資料							
参考書								
授業計画	毎週火曜日	2 限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
動物の疼痛と福祉		石井崇志 (獣医師)		有	大学卒業後動物病院に勤務し獣医療に従事 (20年)			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3年	動物看護学科			後期	講義	必修	30	1
授業目標								
授業概要								
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度	出席状況		
	100点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし、評価はCとなる。							
教 材	・動物看護コアテキスト第3版 第1巻 基礎動物学Ⅰ（ファームプレス） ・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス）							
参考書								
授業計画	毎週木曜日	2限目	10：50～12：20					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当	実務経験					
幼齢動物看護学		増子元美 (統一認定動物看護師)	有	NPO 法人代表、専門学校卒業後動物病院に勤務し動物医療に従事、専門学校講師				
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位	
3 年	動物看護学科		前期	講義	必修	30	1	
授業目標	・主に犬猫の新生子期から幼年期の管理について理解し、予防と看護に活かす。また老齢動物の管理、介護を理解し、飼主に寄り添った在宅看護に応用する。人工哺育の見極めとその方法及び幼齢動物の管理法を理解する。また老齢動物の管理法、介護法を理解し飼主指導に活かす。							
授業概要	・新生児の疾患とケア、老齢動物の疾患と管理について総合的に学ぶ。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況			
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス）							
授業計画	毎週木曜日	1 限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1	幼齢動物の管理 新生児のケア ①		生出産後のケア 初乳について					
2	新生児のケア ②		人口哺乳の方法 飼育環境					
3	（課題：成長期のケア）		幼齢動物の成長過程まとめる（チャート）					
4	〃		幼齢動物の疾患と予防					
5	〃		重症の場合の管理 看護					
6	老齢動物の管理		老齢期の身体的変化（チャート）					
7	〃		日常に生活における介護 ①					
8	〃		〃 ②					
9	〃		老齢期の慢性疾患 ①					
10	〃		〃 ②					
11	〃		〃 ③					
12	〃		老齢動物の疾患と予防					
13	〃		老齢動物の看護と介護					
14	〃		介護動物と介護方法 実技					

科 目		担 当		実務経験				
高齢動物看護学		増子元美 (統一認定動物看護師)		有	NPO 法人代表、専門学校卒業後動物病院に勤務し動物医療に従事、専門学校講師			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			後期	講義	必修	30	1
授業目標	・主に犬猫の新生子期から幼年期の管理について理解し、予防と看護に活かす。また老齢動物の管理、介護を理解し、飼主に寄り添った在宅看護に応用する。人工哺育の見極めとその方法及び幼齢動物の管理法を理解する。また老齢動物の管理法、介護法を理解し飼主指導に活かす。							
授業概要	・新生児の疾患とケア、老齢動物の疾患と管理について総合的に学ぶ。							
成績評価 の方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・動物看護コアテキスト第3版 第5巻 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス）							
授業計画	毎週木曜日	1 限目 9：10～10：40						
回	テーマ		授業内容					
1	幼齢動物の管理 新生児のケア ①		生出産後のケア 初乳について					
2	新生児のケア ②		人口哺乳の方法 飼育環境					
3	(課題：成長期のケア)		幼齢動物の成長過程まとめる (チャート)					
4	〃		幼齢動物の疾患と予防					
5	〃		重症の場合の管理 看護					
6	老齢動物の管理		老齢期の身体的変化 (チャート)					
7	〃		日常に生活における介護 ①					
8	〃		〃 ②					
9	〃		老齢期の慢性疾患 ①					
10	〃		〃 ②					
11	〃		〃 ③					
12	〃		老齢動物の疾患と予防					
13	〃		老齢動物の看護と介護					
14	〃		介護動物と介護方法 実技					

科 目		担 当		実務経験			
牧場実習 I							
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科		前期	実習	必修	60	2
授業目標	・						
授業概要	・						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
			100 点				
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。						
教 材 参考書							
授業計画	毎週水曜日	3 限目	13：20～14：50	4 限目	15：00～16：30		
回	テーマ		授業内容				
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							

科 目		担 当		実務経験			
牧場実習Ⅱ							
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科		後期	実習	必修	60	2
授業目標	・						
授業概要	・						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
			100 点				
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。						
教 材 参考書							
授業計画		毎週水曜日	3 限目	13：20～14：50	4 限目	15：00～16：30	
回	テーマ		授業内容				
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							

科 目		担 当		実務経験				
プレゼンテーションスキル		高木弘和			学院教頭			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			前期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・講師配付資料							
授業計画	毎週火曜日	1 限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
コミュニケーション トレーニング		福田由吏		有	マナー、キャリア支援会社代表 短大卒業後 航空会社で客室乗務員フロアコーディネーターとして勤務 専門学校講師			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			後期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・講師配付資料							
授業計画	毎週月曜日	1 限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
ビジネスマナーⅢ		福田由吏		有	マナー、キャリア支援会社代表 短大卒業後 航空会社で客室乗務員フロアコーディネーターとして勤務 専門学校講師			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			前期	講義・実技	必修	30	1
授業目標	・							
授業概要	・							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・コミュニケーション・マナー&キャリア・ガイダンス第3版（エデュワードプレス）							
授業計画	毎週月曜日	1 限目	9：10～10：40					
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験				
ライセンス対策Ⅲ		田嶋義高 (統一認定動物看護師)		有	本校職員 研究所勤務 30 年			
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			後期	講義・演習	必修	30	1
授業目標	・							
授業概要								
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物		授業態度		出席状況	
	100 点							
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・講師配付資料							
授業計画	毎週水曜日	1 限目 9：10～10：40						
回	テーマ		授業内容					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

科 目		担 当		実務経験			
トリミング実習Ⅸ		長倉絵里花 (JKC 認定トリマー) 橋本沙耶 (PBS 認定トリマー)	有	ペットショップペリート代表 学院専任教員、教員暦 5 年			
対象年次	学 科		開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科		前期	実習	必修	60	2
授業目標	・ シャンプーからカットまでを学び、犬猫による特徴を強調する技術を理解し、実践力を身につける。犬、猫の長所と短所を見抜き個々の魅力を最大限に引き出すことを学ぶ。						
授業概要	・ トリミングの手技とともに、取扱い動物のボディチェックやバイタルサインの確認の習得も併せて行う。						
成績評価 の 方法・基準	筆記試験	実技試験	レポート・提出物	授業態度	出席状況		
	20 点	80 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。						
教 材 参考書	・ DOG GROOMING BOOK New Edition（エデュワードプレス）						
授業計画	毎週金曜日	3 限目	13：20～14：50	4 限目	15：00～16：30		
回	テーマ		授業内容				
1	モデル犬家庭犬によるグルーミング実習		実習				
2							
3	〃		〃				
4							
5	〃		〃				
6							
7	〃		〃				
8							
9	〃		〃				
10							
11	〃		〃				
12							
13	〃		〃				
14							
15	〃		〃				
16							
17	〃		〃				
18							
19	〃		〃				
20							
21	〃		〃				
22							
23	〃		〃				
24							
25	〃		〃				
26							
27	まとめ試験		〃				
28							

科 目		担 当		実務経験				
トリミング実習Ⅹ		長倉絵里花 (JKC 認定トリマー) 橋本沙耶 (PBS 認定トリマー)		有	ペットショップペリート代表			
		学院専任教員、教員暦 5 年						
対象年次	学 科			開講時期	授業形態	選択/必修	授業時間	設定単位
3 年	動物看護学科			後期	実習	必修	60	2
授業目標	・シャンプーからカットまでを学び、犬猫による特徴を強調する技術を理解し、実践力を身につける。犬、猫の長所と短所を見抜き個々の魅力を最大限に引き出すことを学ぶ。							
授業概要	・トリミングの手技とともに、取扱い動物のボディチェックやバイタルサインの確認の習得も併せて行う。							
成績評価 の 方法・基準	筆記試験		実技試験		レポート・提出物		授業態度	
	20 点		80 点					
	※本科目の試験、また、評価・単位認定を受けるには、出席率が3分の2以上であることが必要となる。 ※評価は、S（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし、評価は C となる。							
教 材 参考書	・DOG GROOMING BOOK New Edition（エデュワードプレス）							
授業計画	毎週金曜日	1 限目	9：10～10：40		2 限目	10：50～12：20		
回	テーマ			授業内容				
1	モデル犬家庭犬によるグルーミング実習			実習				
2								
3	〃			〃				
4								
5	〃			〃				
6								
7	〃			〃				
8								
9	〃			〃				
10								
11	〃			〃				
12								
13	〃			〃				
14								
1	〃			〃				
2								
3	〃			〃				
4								
5	〃			〃				
6								
7	〃			〃				
8								
9	〃			〃				
10								
11	〃			〃				
12								
13	まとめ試験			〃				
14								